

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床心理学
担 当 教 員	岡島 泰三
科 目 名 (中 項 目)	コミュニケーション
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床心理学の持つ患者に対する知識やその関わり方を学習する。また、ストレスなどの知識を習得することによって、心と体のメカニズムに精通することを目標とする。
到 達 目 標	治療者と患者との関係性を説明できる。患者との関係の取り方を説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する 2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する 2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する 2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する 2、実務上の業績(臨床経験等) 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

1 項 目	臨床心理学とは？
学習目標・ポイント	臨床心理学の成り立ちを知る
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
2 項 目	ストレス
学習目標・ポイント	ストレスや疲労について学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
3 項 目	葛藤
学習目標・ポイント	葛藤について学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
4 項 目	防衛規制
学習目標・ポイント	防衛規制について学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
5 項 目	『パッチ・アダムス』(前)
学習目標・ポイント	患者との関係やユーモアを学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
6 項 目	『パッチ・アダムス』(後)
学習目標・ポイント	患者との関係やユーモアを学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
7 項 目	患者との関係を考える(1)
学習目標・ポイント	精神分析を通じた患者との関係を学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
8 項 目	患者との関係を考える(2)
学習目標・ポイント	クライアント中心療法を通じた患者との関係を学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
9 項 目	学習心理学(1)
学習目標・ポイント	古典的条件付けを学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
10 項 目	学習心理学(2)
学習目標・ポイント	オペラント条件付けを学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
11 項 目	社会心理学(1)
学習目標・ポイント	対人関係を学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
12 項 目	社会心理学(2)
学習目標・ポイント	集団を学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
13 項 目	社会心理学(3)
学習目標・ポイント	援助を学ぶ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
14 項 目	心理検査
学習目標・ポイント	アセスメント法や自分について知る
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	
15 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	まとめ
使用する材料	配付資料 PC プロジェクター
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	栄養学
担 当 教 員	久木 久美子
科 目 名 (中 項 目)	健康科学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	本講義は、栄養の基礎知識としてエネルギー及び五大栄養素の働きと含有食品について理解し、それらの知識を活かし、ライフステージ(高齢期、スポーツ時)における食事を中心とした栄養管理や病態(肥満、高血圧など)に応じた栄養管理について説明できるようになることを目的とする。さらに、東洋医学と関連の深い食養生として薬膳についても説明できるようになることも目的とする。
到 達 目 標	①栄養の基礎(エネルギー、五大栄養素)について説明できる。 ②高齢期およびスポーツ時の栄養管理について説明できる ③症状別(肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、貧血、骨粗鬆症、貧血)の栄養管理について説明できる。 ④薬膳の基本について説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 成績の評価項目及びその割合:単位認定試験50%、確認テスト40%、レポート課題10%合わせて100%で評価を行う。 ※単位認定試験、確認テスト:6割以上を合格とする。合格基準に満たない場合は、再試験対象となる。 ※レポート課題:内容を点検し返却する。なお、正当な理由がなく指定された期限までに提出がない場合は、成績評価を辞退したものと見なすので注意すること。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 準備物:3色ほどの色つきペン、レジユメ・配付資料を綴じるA4サイズのファイル、ノート(書くことが多いため)
教育・実務業績	(1400文字以内) 1985年 栄養士免許取得 1987年 管理栄養士登録証取得 2014年 奈良女子大学大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻 博士(学術)取得 1、担当科目における教育上の業績 1985年9月～現在に至る 栄養士・管理栄養士養成課程専門学校・短大・大学ならびに介護福祉士、鍼灸師、柔道整復師等の医療・福祉系の専門学校において非常勤講師として勤務 調理学、食品学、栄養学、スポーツ栄養学、臨床栄養学等を担当する 2007年4月～現在に至る 大阪国際大学短期大学部 栄養学科(2021年に名称変更)専任教員2016年より教授 栄養士基礎科目、食べ物と健康分野を担当する

1 項 目	オリエンテーション、1.栄養の基本(五大栄養素、体内での働き、糖質について)
学習目標・ポイント	五大栄養素の種類と働き、糖質を多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
2 項 目	1.栄養の基本(たんぱく質について)
学習目標・ポイント	たんぱく質を多く含む食品、たんぱく質・Caを多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
3 項 目	1.栄養の基本(脂質、ビタミンA(カロテン)について)
学習目標・ポイント	脂質を多く含む食品、緑黄色野菜・淡色野菜、食物繊維を多く含む食品が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
4 項 目	1.栄養の基本(食物繊維[不溶性、水溶性]について)2.症状別栄養(便秘について)
学習目標・ポイント	不溶性・水溶性食物繊維の働きと含有食品、便秘の種類別栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表、その他
備考	
5 項 目	1.栄養の基本(エネルギーについて)、2.症状別栄養(肥満・やせについて)
学習目標・ポイント	エネルギー供給栄養素について説明できる、肥満とその原因について説明できる
使用する材料	教科書
備考	
6 項 目	1.栄養の基本(脂質について)
学習目標・ポイント	脂肪、脂肪酸の特徴が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
7 項 目	1.栄養の基本(脂質について) 2.症状別栄養(脂質異常症について)
学習目標・ポイント	コレステロールの特徴が説明できる、脂質異常症予防のための栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
8 項 目	2.症状別栄養(脳卒中について、高血圧について)
学習目標・ポイント	脳卒中の種類と管理可能な危険因子について説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:動脈硬化について
備考	
9 項 目	1.栄養の基本(たんぱく質について)
学習目標・ポイント	アミノ酸の種類とたんぱく質の特徴が説明できる、良質たんぱく質について説明できる、
使用する材料	教科書
備考	
10 項 目	3.ライフサイクルと栄養(高齢期、スポーツ時)
学習目標・ポイント	高齢期の栄養管理について説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:アスリートのための栄養・食事ガイド
備考	
11 項 目	1.栄養の基本(ミネラル[Ca、P、Mg]について)、2.症状別栄養(骨粗鬆症について)
学習目標・ポイント	Caの体内での特徴、含有食品が説明できる、骨粗鬆症の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
12 項 目	1.栄養の基本(ミネラル[Fe、Na、K]について)、2.症状別栄養(貧血、高血圧について)
学習目標・ポイント	Fe、Na、Kの働きと含有食品について説明できる、貧血及び高血圧の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書
備考	
13 項 目	1.栄養の基本(ビタミン[脂溶性・水溶性]について)、2.症状別栄養(高尿酸血症について)
学習目標・ポイント	ビタミンの働きと含有食品が説明できる、高尿酸血症の栄養管理が説明できる
使用する材料	教科書、配付資料:アスリートのための栄養・食事ガイド
備考	
14 項 目	2.症状別栄養(糖尿病について)
学習目標・ポイント	糖尿病の治療のための食事について説明できる、合併症を防ぐための食事について具体的に説明
使用する材料	配付資料:糖尿病食事療法のための食品交換表
備考	
15 項 目	4.薬膳(薬膳の基本)
学習目標・ポイント	五味、五性の特徴と該当する食材を理解する
使用する材料	配付資料:薬膳の基本、食材分類
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	外国語
担 当 教 員	西田 定幸
科 目 名 (中 項 目)	外国語
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義・演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	鍼灸師として、日本国内あるいは外国で実際に外国の患者さんを治療する際に、①必要な会話表現、②鍼灸治療の説明、③身体各部位を初めとする医学英単語・語句の習得を目的とする。
到 達 目 標	①来院から治療終了、再診までの必要な最低限度の英会話ができる。②鍼灸治療について、英語で外国の患者さんに説明できる。③身体各部位・内臓・その他に関する英単語・語句が理解できる。④鍼灸に関する英文を読むことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験(100満点)の70%、小テスト20%、レポート等10%、を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 昭和61年度 文部省主催 高等学校英語教育指導者講座(S62/2/5～3/6)受講 昭和63年度 文部省主催 中学校及び高等学校英語担当教員海外研修 (S63/7/25～9/18) 数研出版株式会社 英語教科書 POLESTAR Reading Course 編集委員(~H15/3) 平成25年 11月 TOEIC 975点 平成26年 3月 2013年度第3回 実用英語技能検定 1級合格 2、実務上の業績(臨床経験等) 昭和53年4月より平成21年3月まで奈良県立高等学校にて、英語科の教諭・教頭として勤務し 英文読解・作文・文法・会話等、英語全般の指導に従事する。定年退職後は、大阪府・京都府 奈良県の私立高校の非常勤講師として、主に大学進学指導を担当する。

1 項 目	英語の基礎
学習目標・ポイント	会話や英文の構造の基礎について
使用する材料	教師作成資料
備考	
2 項 目	来院時の対応(1) ・鍼灸治療(1)について ・人体各部の名称(1)
学習目標・ポイント	(1)受付時の英語表現 ・(1)治療鍼の説明 ・(1)人体の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
3 項 目	来院時の対応(2) ・鍼灸治療(2)について ・人体各部の名称(2)
学習目標・ポイント	(2)電話受付時の英語表現 ・(2)他の治療との違い説明 ・(2)人体の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
4 項 目	来院時の対応(3) ・鍼灸治療(3)について ・人体各部の名称(3) 復習(1)
学習目標・ポイント	(3)治療前の英語表現 ・(3)鍼灸の効果の説明①
使用する材料	教師作成資料
備考	
5 項 目	来院時の対応(4) ・鍼灸治療(4)について ・人体各部の名称(4)
学習目標・ポイント	(4)問診時の英語表現 ・(4)鍼灸の効果の説明② ・(3)骨の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
6 項 目	来院時の対応(5) ・鍼灸治療(5)について ・人体各部の名称(5)
学習目標・ポイント	(5)診察時の英語表現 ・(5)鍼灸の作用の説明① ・(4)骨の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
7 項 目	来院時の対応(6) ・鍼灸治療(6)について ・人体各部の名称(6) 復習(2)
学習目標・ポイント	(6)検査時の英語表現 ・(6)鍼灸の作用の説明②
使用する材料	教師作成資料
備考	
8 項 目	来院時の対応(7) ・鍼灸治療(7)について ・人体各部の名称(7)
学習目標・ポイント	(7)鍼灸施術①の英語表現 ・(7)鍼灸の安全性の説明 ・(5)筋肉の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
9 項 目	来院時の対応(8) ・鍼灸治療(8)について ・人体各部の名称(8)
学習目標・ポイント	(8)鍼灸施術②の英語表現 ・(8)各種療法(鍼)の説明 ・(6)筋肉の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
10 項 目	来院時の対応(9) ・鍼灸治療(9)について ・人体各部の名称(9)
学習目標・ポイント	(9)鍼灸施術③の英語表現 ・(9)各種療法(灸)の説明 ・(7)筋肉の名称
使用する材料	教師作成資料
備考	
11 項 目	来院時の対応(10) ・鍼灸治療(10)について ・人体各部の名称(10) 復習(3)
学習目標・ポイント	(10)施術後の英語表現 ・(10)各種療法(パルス)の説明
使用する材料	教師作成資料
備考	
12 項 目	来院時の対応(11) ・鍼灸治療(11)について ・その他の医学用語(11)
学習目標・ポイント	(11)会計・保険の英語表現 ・(11)各種療法(指圧)の説明
使用する材料	教師作成資料
備考	
13 項 目	来院時の対応の復習① ・鍼灸治療について ・その他の医学用語(12)
学習目標・ポイント	来院時の対応(1)～(11)の復習 ・(12)スポーツ鍼灸 ・医学用語の理解・習得
使用する材料	教師作成資料
備考	
14 項 目	来院時の対応の復習② ・鍼灸治療について ・(1)～(12)の医学用語の復習
学習目標・ポイント	来院時の対応(1)～(11)の復習 ・(13)美容鍼灸 ・医学用語の理解・習得
使用する材料	教師作成資料
備考	
15 項 目	来院時の対応の補足① ・鍼灸治療の補足① ・(1)～(12)の医学用語の復習
学習目標・ポイント	来院時の対応(1)～(11)の補足 ・海外の鍼灸事情 ・医学用語の理解・習得
使用する材料	教師作成資料
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸科
開 講 科 目 名	解剖学(内臓Ⅰ)
担 当 教 員	西口 隆彦
科 目 名 (中 項 目)	からだの仕組みⅠ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	本校の目標は国家試験合格が目標ではあるが、内臓学においては与えられた短い時間数のなかで効率よく学習できるように模型を実際に配布触れさせ、次年度に実施される大阪大学での解剖実習
到 達 目 標	過去の国家試験に出題される問題よりやや難題が十分に解けることができる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。必要と認めた場合、小テストを実施する。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>昭和58年4月～平成4年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座助手として勤務 系統解剖学講義および実習を担当する</p> <p>平成4年4月～平成30年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座非常勤講師 筋学講義を担当する</p>

1	項目	脳神経
	学習目標・ポイント	用語の暗記
	使用する材料	模型
	備考	
2	項目	消化器総論
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	
	備考	
3	項目	口腔
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
4	項目	咽頭・食道
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
5	項目	胃・食道
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
6	項目	大腸
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	
	備考	
7	項目	肝臓
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
8	項目	胆路
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
9	項目	膵臓・腹膜
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
10	項目	鼻腔・副鼻腔
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
11	項目	喉頭
	学習目標・ポイント	模型
	使用する材料	基本構造を説明できる
	備考	
12	項目	気管・肺
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
13	項目	胸膜・縦隔
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	
	備考	
14	項目	腎臓
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
15	項目	膀胱・尿道
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(内臓Ⅱ)
担 当 教 員	西口 隆彦
科 目 名 (中 項 目)	からだの仕組みⅡ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	本校の目標は国家試験合格が大義ではあるが、内臓学においては与えられた短い時間数のなかで効率よく学習できるように模型を実際に触れさせ、次年度に実施される解剖実習に役立つ講義を行
到 達 目 標	国家試験に出題される問題よりやや難題が十分に解けることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。必要と認めた場合、小テストを実施する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	昭和58年4月～平成4年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座助手として勤務 系統解剖学講義および実習を担当する 平成4年4月～平成30年3月 大阪大学歯学部第2解剖学講座非常勤講師 筋学を担当する

1	項目	男性生殖器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
2	項目	男性生殖器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
3	項目	女性生殖器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
4	項目	女性生殖器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
5	項目	内分泌器（下垂体・松果体）
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
6	項目	内分泌器（甲状腺・上皮小体）
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	
	備考	
7	項目	内分泌器（副腎・膵臓）
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
8	項目	内分泌（性腺）
	学習目標・ポイント	基本構造と機能を説明できる
	使用する材料	
	備考	
9	項目	皮膚
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
10	項目	皮膚
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
11	項目	筋・関節
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	
	備考	
12	項目	視覚器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
13	項目	視覚器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
14	項目	聴覚器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	
15	項目	聴覚器
	学習目標・ポイント	基本構造を説明できる
	使用する材料	模型
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	植物生理 I
担 当 教 員	加藤 隆史
科 目 名 (中 項 目)	からだの働き I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	生理学の基礎、血液、呼吸、消化・吸収、栄養と代謝の各章を概説する。これら各項目において、 身体の生理機能の基本を理解する。
到 達 目 標	生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その意義・重要性を説明できる
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>2003年～2008年 松本歯科大学において生理学・解剖学、その他初期教育科目を担当 2008年～2016年 大阪大学大学院歯学研究科において肉眼解剖学・組織学の教育担当 2016年～現在 大阪大学大学院歯学研究科において生理学の教育担当 2008年～現在 平成医療専門学校の柔道整復師科(2008～2016)鍼灸師科(2016～現在) で生理学を担当 2003年以降現在に至るまで、生理学・睡眠に関する大学院研究教育を実施。</p>

1 項	目	生理学の基礎
学習目標・ポイント		ホメオスタシス、細胞の構造と機能
使用する材料		教科書p. 1～p. 7
備考		
2 項	目	生理学の基礎
学習目標・ポイント		物質代謝、体液の組成、物質移動
使用する材料		教科書p. 8～p. 13
備考		
3 項	目	血液の組成と働き
学習目標・ポイント		血球
使用する材料		教科書p. 16～p. 21
備考		
4 項	目	血液の組成と働き
学習目標・ポイント		血漿、止血
使用する材料		教科書p. 23～p. 26
備考		
5 項	目	血液の組成と働き
学習目標・ポイント		線維素溶解、血液型
使用する材料		教科書p. 26～p. 28
備考		
6 項	目	呼吸
学習目標・ポイント		呼吸器、換気のしくみ
使用する材料		教科書p. 54～p. 58
備考		
7 項	目	呼吸
学習目標・ポイント		ガス交換、呼吸ガスの運搬、呼吸調節
使用する材料		教科書p. 59～p. 66
備考		
8 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化器系の構造と機能、消化管の運動
使用する材料		教科書p. 59～p. 66
備考		
9 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化管の運動、排便、消化液
使用する材料		教科書p. 68～p. 73
備考		
10 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化管の運動、排便、消化液
使用する材料		教科書p. 74～p. 79
備考		
11 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		消化液、消化管ホルモン
使用する材料		教科書p. 80～p. 84
備考		
12 項	目	消化と吸収
学習目標・ポイント		吸収、肝臓の働き、摂食の調節
使用する材料		教科書p. 85～p. 89
備考		
13 項	目	代謝
学習目標・ポイント		栄養素、代謝
使用する材料		教科書p. 92～p. 96
備考		
14 項	目	代謝
学習目標・ポイント		各栄養素の働きと代謝
使用する材料		教科書p. 96～p. 100
備考		
15 項	目	代謝
学習目標・ポイント		各栄養素の働きと代謝
使用する材料		教科書p. 101～p. 105
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	運動科学
担 当 教 員	齋木 基
科 目 名 (中 項 目)	からだの働きⅡ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	日本スポーツ協会共通科目Ⅰ、JATI-ATIの必要単位科目に準じ、トレーニング、トレーナーの基本、基礎を学ぶ。
到 達 目 標	トレーニングに関わる解剖学、生理学を理解し、トレーナーとして指導する際の知識を得る。
成績評価方法及び基準	必要出席数「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	「学生のしおり」Ⅲ学内生活、3受講の心得について」に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	1989年3月 中学校教諭 1級免許状(保健体育) 取得 1989年3月 高等学校教諭 2級免許状(保健体育) 取得 1990年4月 高等学校教諭 1級免許状(保健体育) 取得 2008年3月 柔道整復師免許取得 2012年10月 柔道整復師専科教員取得 1993年3月 学会発表(口頭)「企業フィットネスに関する調査」 日本体育経営学会(現 日本体育・スポーツ経営学会)第16回大会

1	項目	トレーナーについて
	学習目標・ポイント	トレーナーの役割を理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
2	項目	スポーツ指導者について
	学習目標・ポイント	日本スポーツ協会の指導者、指導者の倫理、心構えについて理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
3	項目	スポーツの概念と歴史について
	学習目標・ポイント	スポーツの概念と歴史を理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
4	項目	スポーツ指導者に必要な医学的知識について
	学習目標・ポイント	身体に関する医学的知識を知り、理解する。
	使用する材料	プリント
	備考	
5	項目	発育発達
	学習目標・ポイント	子供の発育発達について理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
6	項目	トレーニング論
	学習目標・ポイント	トレーニング理論、トレーニングの処方を理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
7	項目	ジュニア期におけるスポーツについて
	学習目標・ポイント	ジュニア期のスポーツ、トレーニング指導、外傷について理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
8	項目	ピリオダイゼーション
	学習目標・ポイント	年間計画におけるトレーニングの時期について理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
9	項目	トレーニングの種類
	学習目標・ポイント	形態別にみたトレーニングの種類、部門に特化したトレーニングを理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
10	項目	トレーニングメニューについて
	学習目標・ポイント	トレーニングメニューの作成について理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
11	項目	止血法と三角巾の使い方
	学習目標・ポイント	止血の仕方、三角巾の使い方について理解する
	使用する材料	プリント
	備考	
12	項目	テーピング①
	学習目標・ポイント	ホワイトテープを使い、関節の固定方法を理解、実践する。
	使用する材料	プリント、アンダーラップ、ホワイトテープ
	備考	
13	項目	テーピング②
	学習目標・ポイント	伸縮テープを使い、運動促進のためのテーピングを理解、実践する。
	使用する材料	プリント、キネシオテープ
	備考	
14	項目	テーピング③
	学習目標・ポイント	伸縮テープを使い、運動促進のためのテーピングを理解、実践する。
	使用する材料	プリント、キネシオテープ
	備考	
15	項目	まとめ
	学習目標・ポイント	トレーニングについての理解を再確認する
	使用する材料	プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(骨)
担 当 教 員	迫 宏 典
科 目 名 (中 項 目)	解剖学 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学(骨学)に関する知識の定着を図り、解剖学に対する苦手意識を持たないように学生に興味を持たせる講義を目的とする
到 達 目 標	解剖学(骨)だけでなく、解剖学分野すべての範囲(神経、脈管、筋)などについても知識を関連付けて理解する。
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期単位認定試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する前期単位認定再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する前期単位認定追試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	基礎医学となる解剖学は臨床医学各論などを理解する上で重要な科目であり、基礎医学で躓くと応用的な知識が付きづらくなる。そのため、各授業コマに集中し、1年次で覚えきるつもりで取り組むこと
教育・実務業績	<p>[職歴]</p> <p>平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど)</p> <p>平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表]</p> <p>平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」</p> <p>平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」</p> <p>[研究歴]</p> <p>平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在)</p> <p>平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在)</p> <p>平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績]</p> <p>令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰</p>

1	項目	体表解剖(身体区分・関節・身体指標)①
	学習目標・ポイント	骨に関する知識の整理および骨学を学ぶ上で必要となる解剖学的用語を覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
2	項目	体表解剖(身体区分・関節・身体指標)②
	学習目標・ポイント	骨指標と関節の分類と構成を覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
3	項目	上肢の骨格①
	学習目標・ポイント	自由上肢の骨の構成、各骨の部位の名称について学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
4	項目	上肢の骨格②
	学習目標・ポイント	手根骨の位置や名称、手部の骨の構成名称について学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
5	項目	体幹の骨格①
	学習目標・ポイント	椎骨の種類と各椎骨の特徴について学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
6	項目	体幹の骨格②
	学習目標・ポイント	胸郭を構成する骨について各部の名称などについて学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
7	項目	体幹の骨格③
	学習目標・ポイント	骨盤の構成、各部位の名称などについて学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
8	項目	下肢の骨格①
	学習目標・ポイント	大腿骨、腓骨、脛骨について各部位の名称などを学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
9	項目	下肢の骨格②
	学習目標・ポイント	足根骨など足部の骨について学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
10	項目	頭部の骨格①
	学習目標・ポイント	頭部を構成する骨について名称など学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
11	項目	頭部の骨格②
	学習目標・ポイント	頭部を構成する骨について名称など学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
12	項目	頭部の骨格③
	学習目標・ポイント	頭部を構成する骨について名称など学習する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
13	項目	関節の分類と構成について
	学習目標・ポイント	全身の関節と関節構造を理解する。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
14	項目	前期範囲の復習
	学習目標・ポイント	前期範囲を網羅的に理解する。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
15	項目	口頭試問
	学習目標・ポイント	全身の骨格指標を覚えていること。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(筋)
担 当 教 員	上野 暁生
科 目 名 (中 項 目)	解剖学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	筋学の基礎学力を身につける。全身の主要な筋の起始、停止、作用を理解する。 各学生ごとに自分自身の勉強方法を確立する。
到 達 目 標	主要な筋の起始、停止、作用を理解する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験、授業内での小テスト、出席を平常点とし総合的に判断する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項	目	人体の構造
学習目標・ポイント		スムーズに授業に入れるよう導入、解剖学の概要を説明
使用する材料		教科書・配布プリント
備考		
2 項	目	筋(総論)
学習目標・ポイント		筋について基本的なことを学ぶ
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
3 項	目	上肢帯
学習目標・ポイント		上肢の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
4 項	目	上腕、前腕部
学習目標・ポイント		上腕、前腕部の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
5 項	目	上肢帯、上腕、前腕部の復習
学習目標・ポイント		上肢帯、上腕、前腕部の復習を行う
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
6 項	目	体幹前面
学習目標・ポイント		体幹前面の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
7 項	目	頭頸部
学習目標・ポイント		頭頸部の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
8 項	目	体幹後面
学習目標・ポイント		体幹後面の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
9 項	目	体幹前面、頭頸部、体幹後面の復習
学習目標・ポイント		体幹前面、頭頸部、体幹後面の復習を行う
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
10 項	目	下肢帯
学習目標・ポイント		下肢帯の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
11 項	目	大腿部
学習目標・ポイント		大腿部の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
12 項	目	下腿部
学習目標・ポイント		下腿部の筋を理解する。
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
13 項	目	下肢帯、大腿部、下腿部の復習
学習目標・ポイント		下肢帯、大腿部、下腿部の復習を行う
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
14 項	目	総復習①
学習目標・ポイント		臨床や国家試験で必要な知識のまとめ及び再確認
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		
15 項	目	総復習②
学習目標・ポイント		今まで学んだことの定着、期末テスト対策
使用する材料		教科書・配布プリント・小テスト
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(脈管)
担 当 教 員	芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	解剖学Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	血管の構造や動脈静脈の流れを覚えるようにする。胎児循環についても学習する
到 達 目 標	臨床医学や東洋医学臨床論、経穴などでも必要となってくるのでしっかりと血管の走行と名前、特徴をわかるようにする
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会</p> <p>研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生</p> <p>臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院 にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる</p> <p>担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技Ⅰ担当 2015年度～2016年度:基礎実技Ⅱ担当 2017年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者</p>

1 項	目	血管の構造
学習目標・ポイント		血管の構造、特徴について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	心臓について
学習目標・ポイント		心臓の構造、特殊心筋系などについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	胸部の動脈
学習目標・ポイント		心臓から出た動脈の走行と分岐について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	腹部の動脈
学習目標・ポイント		腹部の動脈の分岐と名称について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	大腿部の動脈
学習目標・ポイント		血管裂孔などの構造、大腿部の走行について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	下肢、上肢の動脈
学習目標・ポイント		下肢と上肢の動脈の走行について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	頭頸部の動脈
学習目標・ポイント		ウイリスの動脈輪などについて学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	頭部の静脈
学習目標・ポイント		頭部の静脈について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	上肢、下肢の静脈
学習目標・ポイント		上肢と下肢の静脈について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	腹部の静脈
学習目標・ポイント		腹部の静脈の流れ門脈について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	胸部の静脈
学習目標・ポイント		胸部の静脈の走行について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	胎児循環
学習目標・ポイント		胎児循環について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	リンパ系
学習目標・ポイント		リンパ節や脾臓について学習する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	脈管系のまとめ
学習目標・ポイント		問題演習
使用する材料		プリント
備考		
15 項	目	後期の総復習
学習目標・ポイント		脈管系のまとめ 問題演習
使用する材料		プリント
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	解剖学(神経)
担 当 教 員	内野容子
科 目 名 (中 項 目)	解剖学Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	神経系の基本構造や名称を学び、構造と機能を総合的に理解するための基礎学力を身につける。
到 達 目 標	神経系疾患を理解する上で必要な事項について理解を深める。 乳業の内容をより深く理解するため自宅学習を行う習慣を身につける。
成績評価方法及び基準	必要出席数【「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】】に準ずる。 後期末試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1	項目	神経の構成
	学習目標・ポイント	前期で学んだ神経の機能の復習も行い、総合的理解をめざす。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
2	項目	中枢神経系1
	学習目標・ポイント	脊髄の区分、内部構造について学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
3	項目	中枢神経系2
	学習目標・ポイント	大脳皮質の区分、大脳辺縁系について学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
4	項目	中枢神経系3
	学習目標・ポイント	大脳皮質の機能局在について学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
5	項目	中枢神経系4
	学習目標・ポイント	大脳基底核、間脳、脳幹の構造と名称、機能について学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
6	項目	中枢神経系5
	学習目標・ポイント	小脳、髄膜、脳脊髄液の構造と名称、機能について学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
7	項目	中枢神経系6
	学習目標・ポイント	今までの復習(確認プリントの記入を行う)
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	穴埋め形式のプリントを使用し、知識の再確認を行う。
8	項目	末梢神経系1
	学習目標・ポイント	脳神経1 第Ⅰ～第Ⅳ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
9	項目	末梢神経系1
	学習目標・ポイント	脳神経2 第Ⅴ～第Ⅷ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
10	項目	末梢神経系3
	学習目標・ポイント	脳神経3 第Ⅸ～第Ⅻ脳神経について走行と働きについて学ぶ。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
11	項目	末梢神経系4
	学習目標・ポイント	自律神経について理解を深める。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
12	項目	末梢神経系5
	学習目標・ポイント	自律神経について理解を深める。二重支配、拮抗支配について。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
13	項目	末梢神経系6
	学習目標・ポイント	脊髄神経1 腕神経叢について理解を深める。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
14	項目	末梢神経系7 腰神経叢について理解を深める。
	学習目標・ポイント	脊髄神経2
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	
15	項目	総復習
	学習目標・ポイント	今までの中枢神経、末梢神経について復習する。
	使用する材料	教科書・配布プリント・PJ
	備考	今までのすべてのプリントを持ってくること。

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	動物生理 I
担 当 教 員	内野容子
科 目 名 (中 項 目)	生理学 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	神経・筋の各章を概説し、これら各項目において身体の正常な生理機能の基本を学ぶ。 解剖学と同様に基礎科目であり、この知識を基に2,3年生で各疾患についての病態理解へ必要な知識を身につける。
到 達 目 標	①動物生理学の範囲について教科書を読み内容を理解することができる。 ②身体の正常な生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その機能の意義・重要性を説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 前期末試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		A. ニューロンの構造と働き
使用する材料		教科書 p165～
備考		配布プリント
2 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料		教科書 p167～
備考		配布プリント
3 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料		教科書 p167～
備考		配布プリント
4 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		C. シナプス伝達
使用する材料		教科書 p172～
備考		配布プリント
5 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		C. シナプス伝達
使用する材料		教科書 p172～
備考		配布プリント
6 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		D. 中枢神経系の分類と機能 E. 反射
使用する材料		教科書 p178～
備考		配布プリント
7 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		G. 脳幹 H. 小脳
使用する材料		教科書 p184～
備考		配布プリント
8 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		I. 視床 J. 視床下部
使用する材料		教科書 p186～
備考		配布プリント
9 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		K. 大脳
使用する材料		教科書 p189～
備考		配布プリント
10 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		M. 末梢神経系
使用する材料		教科書 p198～
備考		配布プリント
11 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		N. 自律神経系
使用する材料		教科書 p201～
備考		配布プリント
12 項	目	第10章 神経
学習目標・ポイント		N. 自律神経系
使用する材料		教科書 p201～
備考		配布プリント
13 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		A. 骨格筋の構造と働き
使用する材料		教科書 p218～
備考		配布プリント
14 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		B. 筋の収縮の仕組み
使用する材料		教科書 p221～
備考		配布プリント
15 項	目	第11章 筋
学習目標・ポイント		C. 筋収縮のエネルギー D. 心筋と平滑筋
使用する材料		教科書 p223～
備考		配布プリント

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	動物生理Ⅱ
担 当 教 員	内野容子
科 目 名 (中 項 目)	生理学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	運動・体温・排泄・感覚の各章を概説し、これら各項目において身体の正常な生理機能の基本を学ぶ。 解剖学と同様に基礎科目であり、この知識を基に2.3年生で各疾患についての病態理解へ必要な知
到 達 目 標	①動物生理学の範囲について教科書を読み内容を理解することができる。 ②身体の正常な生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その機能の意義・重要性を説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 後期末試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		A. 骨格筋の神経支配
使用する材料		教科書 p228～
備考		配布プリント
2 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
3 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
4 項	目	第12章 運動
学習目標・ポイント		B. 運動の調節 C. 錐体路系と錐体外路系
使用する材料		教科書 p232～
備考		配布プリント
5 項	目	第6章 体温
学習目標・ポイント		A. 体温調節 B. 体熱の産生と放散
使用する材料		教科書 p108～
備考		配布プリント
6 項	目	第6章 体温
学習目標・ポイント		C. 発汗とその調節 D. 体温調節の障害
使用する材料		教科書 p114～
備考		配布プリント
7 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		A. 腎臓の働き B. 腎循環
使用する材料		教科書 p118～
備考		配布プリント
8 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		C. 尿の生成 D. 腎臓と体液の調節
使用する材料		教科書 p120～
備考		配布プリント
9 項	目	第7章 排泄
学習目標・ポイント		E. 蓄尿と排尿
使用する材料		教科書 p127～
備考		配布プリント
10 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		A. 感覚の分類と一般的性質 B. 体性感覚
使用する材料		教科書 p250～
備考		配布プリント
11 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		C. 内臓感覚 D. 痛覚
使用する材料		教科書 p257～
備考		配布プリント
12 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		E. 味覚と嗅覚 F. 聴覚
使用する材料		教科書 p264～
備考		配布プリント
13 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		G. 平衡感覚
使用する材料		教科書 p269～
備考		配布プリント
14 項	目	第13章 感覚
学習目標・ポイント		H. 視覚
使用する材料		教科書 p270～
備考		配布プリント
15 項	目	復習
学習目標・ポイント		範囲内の復習
使用する材料		教科書
備考		配布プリント

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	植物生理Ⅱ
担 当 教 員	加藤 隆史
科 目 名 (中 項 目)	生理学Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	内分泌、生殖、循環、生体防御などの各章を概説する。これら各項目において、身体の生理機能の基本を理解する。
到 達 目 標	生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その意義・重要性を説明できる
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】</p> <p>必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】</p> <p>『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>2003年～2008年 松本歯科大学において生理学・解剖学、その他初期教育科目を担当 2008年～2016年 大阪大学大学院歯学研究科において肉眼解剖学・組織学の教育担当 2016年～現在 大阪大学大学院歯学研究科において生理学の教育担当 2008年～現在 平成医療専門学校の柔道整復師科(2008～2016)鍼灸師科(2016～現在) で生理学を担当 大学院教育の一環として2003年以降現在に至るまで、生理学・睡眠に関する研究を実施。</p>

1 項	目	循環
学習目標・ポイント		心臓血管系
使用する材料		教科書p. 28～p. 32
備考		
2 項	目	循環
学習目標・ポイント		心機能
使用する材料		教科書p. 33～p. 38
備考		
3 項	目	循環
学習目標・ポイント		血液循環・血圧
使用する材料		教科書p. 39～p. 43
備考		
4 項	目	循環
学習目標・ポイント		血圧・循環調節・リンパ
使用する材料		教科書p. 43～p. 47
備考		
5 項	目	循環
学習目標・ポイント		血圧・循環調節・リンパ
使用する材料		教科書p. 47～p. 52
備考		
6 項	目	内分泌
学習目標・ポイント		ホルモンの特徴
使用する材料		教科書p. 130～p. 134
備考		
7 項	目	内分泌
学習目標・ポイント		ホルモンの種類とその働き
使用する材料		教科書p. 135～p. 139
備考		
8 項	目	内分泌
学習目標・ポイント		ホルモンの種類とその働き
使用する材料		教科書p. 139～p. 145
備考		
9 項	目	内分泌
学習目標・ポイント		ホルモンの種類とその働き
使用する材料		教科書p. 146～p. 151
備考		
10 項	目	生殖・成長と老化
学習目標・ポイント		生殖
使用する材料		教科書p. 152～p. 156
備考		
11 項	目	生殖・成長と老化
学習目標・ポイント		妊娠と出産 成長 老化
使用する材料		教科書p. 157～p. 162
備考		
12 項	目	生体防御
学習目標・ポイント		生体の生体防御機構
使用する材料		教科書p. 278～p. 282
備考		
13 項	目	生体防御
学習目標・ポイント		生体の生体防御機構
使用する材料		教科書p. 283～p. 286
備考		
14 項	目	身体活動の協調
学習目標・ポイント		生体の適応 恒常性維持
使用する材料		教科書p. 288～p. 293
備考		
15 項	目	身体活動の協調
学習目標・ポイント		バイオリズム
使用する材料		教科書p. 294～p. 296
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(生理)
担 当 教 員	浜田さとみ
科 目 名 (中 項 目)	生理学Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	1年次に学んだ生理学の各項を復習する。 人体の恒常性を保つ仕組み、神経、運動、感覚について理解を深める。
到 達 目 標	はり師きゅう師国家試験の出題頻度の高い項目およびその知識を身につけ、 過去問題で正答を導き出すことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	浜田さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1 項 目	循環
学習目標・ポイント	血液の組成とその働き、血液凝固のしくみ、心臓の構造と働き
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
2 項 目	循環
学習目標・ポイント	血管系の構造と働き、血圧、循環調節
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
3 項 目	循環
学習目標・ポイント	(循環続き)循環の調節、リンパ系 (呼吸器導入・調節)
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
4 項 目	呼吸
学習目標・ポイント	呼吸器、換気とガス交換、呼吸運動と呼吸調節
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
5 項 目	消化と吸収
学習目標・ポイント	消化管運動と消化液の働き
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
6 項 目	消化と吸収
学習目標・ポイント	消化液の働き、吸収の仕組み(代謝導入・栄養素)
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
7 項 目	代謝
学習目標・ポイント	栄養素とエネルギー代謝、三大栄養素の働きと代謝
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
8 項 目	体温
学習目標・ポイント	体温調節
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
9 項 目	排泄
学習目標・ポイント	尿生成、腎臓による体液調節
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
10 項 目	排泄
学習目標・ポイント	腎臓による体液調節、蓄尿と排尿
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
11 項 目	筋
学習目標・ポイント	骨格筋の構造と働き、筋の収縮の仕組み、心筋と平滑筋
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
12 項 目	運動
学習目標・ポイント	骨格筋の神経支配、運動の調節
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
13 項 目	運動
学習目標・ポイント	運動の調節、錐体路系と錐体外路
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
14 項 目	感覚
学習目標・ポイント	特殊感覚
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	
15 項 目	生理学基礎
学習目標・ポイント	生理機能の特徴、細胞の構造と働き、物質代謝、体液の組成と働き、物質移動
使用する材料	教科書、配布プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論 I
担 当 教 員	大家 香織
科 目 名 (中 項 目)	病理学概論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	病理学について概説する。炎症、退行性病変、進行性病変、循環障害において、人体を構成する細胞・組織・臓器の変化を概説する。
到 達 目 標	病理学とは何かを理解する。人体を構成する細胞・組織・臓器が、各種の病因によってどのように変化するかを理解し、説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験80%、レポート20%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 スマートフォンなどを使用した写真撮影を禁止する。
教育・実務業績	1、病理診断業務(2015年～現在、組織診断、術中迅速診断、細胞診、病理解剖) 2、大阪大学歯学部附属病院検査部助教 検査学講義、病理学実習担当(2016年～現在)

1 項 目	第1章 病理学とは
学習目標・ポイント	病理学について、概要が把握できる。
使用する材料	テキスト
備考	
2 項 目	細胞・組織の構造
学習目標・ポイント	細胞、組織の構造を理解する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
3 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	炎症に関与する細胞は何か理解する。細胞や組織の形態の変化に注目する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
4 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	炎症に関与する細胞は何か理解する。細胞や組織の形態の変化に注目する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
5 項 目	第7章 炎症
学習目標・ポイント	炎症について、説明できる。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
6 項 目	第5章 退行性変化
学習目標・ポイント	細胞の形態変化に注目する。種々の変化を認識する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
7 項 目	第5章 退行性変化
学習目標・ポイント	退行性変化を説明する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
8 項 目	第6章 進行性変化
学習目標・ポイント	細胞の形態変化に注目する。創傷治癒の際に形成される肉芽組織を理解する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
9 項 目	第6章 進行性変化
学習目標・ポイント	進行性変化を説明する。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
10 項 目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント	循環系、充血・うっ血、虚血
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
11 項 目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント	出血、止血、塞栓、梗塞
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
12 項 目	第4章 循環障害
学習目標・ポイント	水腫、脱水、ショック
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
13 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
14 項 目	第4～7章
学習目標・ポイント	主要な項目を解説できる
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
15 項 目	第1、4～7章
学習目標・ポイント	問題文を読み、正誤の判断ができる。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論 I
担 当 教 員	福田 康夫
科 目 名 (中 項 目)	病理学概論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	病理学総論の講義を通じて、ヒトの各種疾患の種類と成り立ちを理解する。また、国家試験問題に対処できるだけの知識を身に付ける。講義は医歯薬出版の病理学概論の教科書に準じて進め、必要な部分は随時補足説明を行う。
到 達 目 標	ヒトに生じる各種疾患を病理学的観点から説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1、担当科目における教育上の業績 (どのような職務に就いて、どのような分野・科目の教育を行ったのか) 2003年より平成医療学園において病理学概論の講義を行ってきた。 また2004年から大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきている。 また2004年から大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきている。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 1983年8月 大阪大学歯学部附属病院医員 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月 大阪大学歯学部附属病院講師 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月 大阪大学歯学部附属病院講師 上記経歴の全てにおいて、口腔病変の病理診断にたずさわってきた。

1	項目	第1章 病理学とはどのような学問か 第2章 疾病についての基本的考え方
	学習目標・ポイント	病理学の役割を理解する
	使用する材料	
	備考	
2	項目	第2章 疾病についての基本的考え方 第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
3	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
4	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
5	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
6	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
7	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
8	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
9	項目	第3章 病因
	学習目標・ポイント	病気の原因にどのようなものがあるか理解する
	使用する材料	
	備考	
10	項目	第4章 循環障害
	学習目標・ポイント	循環障害による疾病を理解する
	使用する材料	
	備考	
11	項目	第4章 循環障害
	学習目標・ポイント	循環障害による疾病を理解する
	使用する材料	
	備考	
12	項目	第4章 循環障害
	学習目標・ポイント	循環障害による疾病を理解する
	使用する材料	
	備考	
13	項目	第5章 退行性病変
	学習目標・ポイント	傷害時の細胞の反応を理解する
	使用する材料	
	備考	
14	項目	第5章 退行性病変
	学習目標・ポイント	傷害時の細胞の反応を理解する
	使用する材料	
	備考	
15	項目	第5章 退行性病変
	学習目標・ポイント	傷害時の細胞の反応を理解する
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論Ⅱ
担 当 教 員	大家 香織
科 目 名 (中 項 目)	病理学概論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	腫瘍、免疫、先天異常、各種病因について概説する。
到 達 目 標	腫瘍、免疫、先天異常、各種病因について理解し、説明できる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験80%、レポート20%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 スマートフォン等を使用しての写真撮影を禁止する。</p>
教育・実務業績	<p>1、病理診断業務(2015年～現在、組織診断、術中迅速診断、細胞診、病理解剖) 2、大阪大学歯学部附属病院検査部助教 検査学講義、病理学実習担当(2016年～現在)</p>

1 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍の定義、良性・悪性とは
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
2 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	細胞形態の違い
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
3 項 目	第8章 腫瘍
学習目標・ポイント	腫瘍のリスク因子
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
4 項 目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント	免疫に関与する細胞について
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
5 項 目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント	アレルギー、免疫不全
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
6 項 目	第9章 免疫・アレルギー
学習目標・ポイント	免疫機構の図示
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
7 項 目	第10章 先天異常
学習目標・ポイント	
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
8 項 目	第2章、3章 病因
学習目標・ポイント	
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
9 項 目	第3章 病因
学習目標・ポイント	
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
10 項 目	第3章 病因
学習目標・ポイント	
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
11 項 目	第2、3、8、9、10章
学習目標・ポイント	重要用語を解説できる
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
12 項 目	第2、3、8、9、10章
学習目標・ポイント	後期まとめ
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
13 項 目	第1、4～7章
学習目標・ポイント	前期復習
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
14 項 目	第1～10章
学習目標・ポイント	問題文を読み、正誤の判断ができる。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	
15 項 目	第1～10章
学習目標・ポイント	問題文を読み、正誤の判断ができる。
使用する材料	テキスト、配布プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	病理学概論Ⅱ
担 当 教 員	福田 康夫
科 目 名 (中 項 目)	病理学概論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	病理学総論の講義を通じて、ヒトの各種疾患の種類と成り立ちを理解する。また、国家試験問題に対処できるだけの知識を身に付ける。講義は医歯薬出版の病理学概論の教科書に準じて進め、必要な部分は随時補足説明を行う。
到 達 目 標	ヒトに生じる各種疾患を病理学的観点から説明できる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1、担当科目における教育上の業績 (どのような職務に就いて、どのような分野・科目の教育を行ったのか) 2003年より平成医療学園において病理学概論の講義を行ってきた。 また2004年から大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきている。 また2004年から大阪大学歯学部において検査診断学の講義を行ってきている。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 1983年8月 大阪大学歯学部附属病院医員 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月 大阪大学歯学部附属病院講師 1991年6月 大阪大学歯学部附属病院助手 2007年4月 大阪大学歯学部附属病院助教 2008年11月 大阪大学歯学部附属病院講師 上記経歴の全てにおいて、口腔病変の病理診断にたずさわってきた。

1	項目	第6章 進行性病変
	学習目標・ポイント	障害に対する生体の積極的な反応を理解する
	使用する材料	
	備考	
2	項目	第6章 進行性病変
	学習目標・ポイント	障害に対する生体の積極的な反応を理解する・臓器移植について理解する
	使用する材料	
	備考	
3	項目	第6章 進行性病変
	学習目標・ポイント	創の治り方および異物がどう処理されるか理解する
	使用する材料	
	備考	
4	項目	第7章 炎症
	学習目標・ポイント	炎症とはどのような反応か理解する
	使用する材料	
	備考	
5	項目	第7章 炎症
	学習目標・ポイント	各種の炎症について理解する
	使用する材料	
	備考	
6	項目	第7章 炎症
	学習目標・ポイント	結核などの特異性炎について理解する
	使用する材料	
	備考	
7	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	腫瘍とはどのような病変か理解する
	使用する材料	
	備考	
8	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	腫瘍の組織学的特徴について理解する
	使用する材料	
	備考	
9	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	各種の腫瘍についてその特徴を理解する
	使用する材料	
	備考	
10	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	腫瘍がどのように広がっていくのか理解する
	使用する材料	
	備考	
11	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	腫瘍が生体に及ぼす影響および腫瘍の発生原因について理解する
	使用する材料	
	備考	
12	項目	第8章 腫瘍
	学習目標・ポイント	腫瘍発生の原因・腫瘍の治療方法・代表的な良性腫瘍、悪性腫瘍について理解する
	使用する材料	
	備考	
13	項目	第9章 免疫異常・アレルギー
	学習目標・ポイント	免疫の基礎およびアレルギー反応について理解する
	使用する材料	
	備考	
14	項目	第9章 免疫異常・アレルギー
	学習目標・ポイント	免疫不全および自己免疫疾患について理解する
	使用する材料	
	備考	
15	項目	第10章 先天性異常
	学習目標・ポイント	代謝異常や奇形などの各種先天異常について理解する
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学総論 I
担 当 教 員	西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学総論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床医学総論はいわゆる診断学として位置づけられているもので、患者の診察から診断までの思考過程を会得することが目的である。鍼灸師は、その診察的特徴からプライマリケアとしての役割を担うため、より患者の側にたった目線からの確な鑑別診断を行い、患者や家族への心理社会的側面への配慮、予防医学的ケアを東西医学の知識の元で実践できるような知識の教授を行う。
到 達 目 標	治療者-患者的対応について理解できる。医療面接について理解できる。現代医学的診察技法の手法と意義を理解し説明できる。バイタルサインの意味を理解し異常について分かる。全身診察の手法と意義を理解できる。局所の診察の手法と意義について理解できる。一般臨床検査の項目と数値の意味を理解できる。各症候の分類や症状と疾患との関係について理解できる。物理療法や神経ブロックなどの治療法について知っている。心理療法について知っている。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10. 試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験25%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講

1 項 目	第1章 第2章
学習目標・ポイント	・医療面接とは何かを知っている ・POSを理解している ・身体診察の手法の概要を理解している
使用する材料	教科書
備考	
2 項 目	第3章 バイタルサイン:発熱、脈拍、不整脈、血圧、呼吸
学習目標・ポイント	・バイタルサイン ・熱型 ・頻脈、徐脈を呈する代表疾患。 ・アダムスストークス症候群・血圧の測定方法および高血圧分類
使用する材料	教科書
備考	
3 項 目	第3章 第4章 全身の診察
学習目標・ポイント	・疾患の特徴的な顔貌、体型 ・JCS、GCS ・肥満とやせ、るいそう
使用する材料	教科書
備考	
4 項 目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格
学習目標・ポイント	異常歩行について
使用する材料	教科書
備考	
5 項 目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格姿勢、歩行、皮膚・粘膜
学習目標・ポイント	浮腫、発疹について
使用する材料	教科書
備考	
6 項 目	第5章 局所の診察:頭部・顔面・頸部の観察、目耳鼻の診察
学習目標・ポイント	・眼瞼下垂 ・伝音性難聴と感音性難聴
使用する材料	教科書
備考	
7 項 目	第5章 局所の診察:目耳鼻の診察、口舌歯咽頭喉頭の診察
学習目標・ポイント	・口臭 ・コプリック斑 ・ジフテリアにおける咽頭部の症状 ・舌下神経麻痺、片麻痺における舌の偏位の所見 ・イチゴ舌 ・ハンター舌炎
使用する材料	教科書
備考	
8 項 目	第5章 局所の診察:頸部、胸部、乳房
学習目標・ポイント	・圧痛・疼痛を伴うリンパ節腫脹、伴わないリンパ節腫脹 ・甲状腺腫 ・バセドウ病と橋本病のちがい ・胸郭異常
使用する材料	教科書
備考	
9 項 目	第5章 局所の診察:肺・胸膜
学習目標・ポイント	・胸部打診、肺肝境界、正常呼吸音の種類 ・気胸と胸水の打診・聴診・声音振とう ・副雑音(う音・胸膜摩擦音)の特徴
使用する材料	教科書
備考	
10 項 目	第5章 局所の診察:心臓
学習目標・ポイント	・心尖拍動 ・心音の聴診部位 ・僧帽弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症における心音の違い ・心雑音について理解している
使用する材料	教科書
備考	
11 項 目	第5章 局所の診察:腹部
学習目標・ポイント	・腹膜炎、虫垂炎、急性胆のう炎に見られる触診の徴候 ・機械性イレウスと麻痺性イレウスの蠕動運動とグル音の違い
使用する材料	教科書
備考	
12 項 目	第5章 局所の診察:腹部
学習目標・ポイント	・腹水
使用する材料	教科書
備考	
13 項 目	第5章 局所の診察:背部、四肢
学習目標・ポイント	・四肢の変形
使用する材料	教科書
備考	
14 項 目	第6章 神経系の診察:知覚検査、反射検査、反射検査(深部反射、病的反射、錐体路障害)
学習目標・ポイント	・錐体路障害、下位運動ニューロン障害の違い ・錐体路障害、錐体外路障害の違い
使用する材料	教科書
備考	
15 項 目	第6章 神経系の診察:脳神経系検査、髄膜刺激症状
学習目標・ポイント	・髄膜刺激症状
使用する材料	教科書
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学総論Ⅱ
担 当 教 員	西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学総論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	本科目は診断学のため、広い臨床医学的知識が必要であることから、他の科目(臨床医学各論、解剖学、生理学、リハビリテーション医学など)のリンクした、横断的知識を整理し、理解できることを目的とする。また暗記知識を整理し、4択問題の解き方を理解させる。
到 達 目 標	本科目がどのような科目が理解できる。出題されやすい項目を理解している。視診、聴診、打診、触診に関する知識と、意義を理解している。バイタルに関する知識と、意義を理解している。運動機能検査に関する知識と、意義を理解している。GPRについて理解している。おもな症状の診察について
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験25%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講

1 項 目	第7章 運動機能検査:運動麻痺、筋肉の異常
学習目標・ポイント	・神経原性筋萎縮と筋原性筋萎縮の違い
使用する材料	教科書
備考	
2 項 目	第7章 運動機能検査:不随意運動、協調運動障害
学習目標・ポイント	・不随意運動(各振戦の違い、バリスムス、アテトーゼ、ジストニー、ミオクローヌス)・脊髄性失調と小脳性失調の違い、ロンベルグ試験の意義
使用する材料	教科書
備考	
3 項 目	第7章 運動機能検査:徒手による整形外科的検査法
学習目標・ポイント	徒手検査の目的と方法
使用する材料	教科書
備考	
4 項 目	第8章 その他の診察 第9章 臨床検査法:救急時の診察、女性の診察、小児の診察、高齢者の診察、一般検査
学習目標・ポイント	・CPRにおけるBLSの内容、胸骨圧迫式心臓マッサージの方法
使用する材料	教科書
備考	
5 項 目	第9章 臨床検査法:一般検査
学習目標・ポイント	・多尿 ・無尿 ・尿比重 ・黄疸と(肝細胞性黄疸、完全閉塞性黄疸、溶血性黄疸、Gilbert病) 赤沈
使用する材料	教科書
備考	
6 項 目	第9章 臨床検査法:血液性化学検査
学習目標・ポイント	・血液性化学検査
使用する材料	教科書
備考	
7 項 目	第9章 臨床検査法:生理学的検査、画像診断の概要
学習目標・ポイント	・生理機能検査や画像診断の種類
使用する材料	教科書
備考	
8 項 目	第10章 おもな症状の診察:頭痛～めまい
学習目標・ポイント	・一次性頭痛の種類とそれぞれの特徴 ・めまいとめまい感のちがいと特徴 ・メニエール病と突発性難聴の特徴 ・伝音性難聴と感音性難聴の違い
使用する材料	教科書
備考	
9 項 目	第10章 おもな症状の診察:耳鳴り、難聴～便秘
学習目標・ポイント	・動悸の要因を理解している ・単純性便秘(直腸性・弛緩性)と痙攣性便秘と器質性便秘の特徴の
使用する材料	教科書
備考	
10 項 目	第10章 おもな症状の診察:下痢～浮腫
学習目標・ポイント	・蓄尿障害 ・尿閉 ・乏尿・無尿 ・浸透圧利尿(等張性利尿)
使用する材料	教科書
備考	
11 項 目	第10章 おもな症状の診察:肩こり～運動麻痺
学習目標・ポイント	・硬結について ・MPS ・線維筋痛症 ・胸郭出口症候群 ・脊髄症性脊髄症 ・非特異的腰痛 ・椎間関節性腰痛 ・肩甲上神経、腋窩神経 ・RSD、肩手症候群
使用する材料	教科書
備考	
12 項 目	第10章 おもな症状の診察:食欲不振～発疹
学習目標・ポイント	・月経困難症 ・蝶形紅斑、くも状血管腫、手掌紅斑 ・皮膚筋炎、アジソン病、ベーチェット病、尋常性白斑、全身性硬化症の皮膚症状
使用する材料	教科書
備考	
13 項 目	第10章 おもな症状の診察:ショック～意識障害
学習目標・ポイント	・ショックの分類と原因、ウォームショック ・貧血の原因、症状、特徴 ・反回神経麻痺で起こる症状
使用する材料	教科書
備考	
14 項 目	不定愁訴、治療学、物理療法
学習目標・ポイント	・対症療法 ・薬物療法 ・神経ブロック ・物理療法
使用する材料	教科書
備考	
15 項 目	治療学:心理療法
学習目標・ポイント	・知能検査、人格検査の種類
使用する材料	教科書
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学各論 I
担 当 教 員	多田羅 勝広
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学各論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	近年国家試験で出題が増加している科目で合否に直結する科目である。2年生の間に基礎的な疾患の知識を身につけ適宜問題演習を組み込んでいくことで知識の定着を図る。
到 達 目 標	疾患に対する基本的な知識の定着を目指し、3年での国家試験対策にスムーズに対応できることを
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と中間試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成29年度 宝塚医療大学において鍼灸師科、柔道整復師科で非常勤講師として勤務 国家試験対策講義として一般臨床医学を担当 平成29年4月～令和4年3月 平成医療学園専門学校において鍼灸師科で非常勤講師として勤務 一般臨床医学各論を担当 2、実務上の業績(臨床経験等) 平成26年7月～現在 たたら鍼灸整骨院

1 項 目	感染症
学習目標・ポイント	感染症の総論と各論について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	感染症各論、消化器疾患(1)
学習目標・ポイント	性感染症、食道疾患について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	消化器疾患(2)
学習目標・ポイント	胃腸疾患について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	肝・胆・膵臓疾患(1)
学習目標・ポイント	肝炎、肝硬変について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	肝・胆・膵臓疾患(2)
学習目標・ポイント	肝癌や胆嚢炎、膵癌について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	呼吸器疾患(1)
学習目標・ポイント	感染性呼吸器疾患について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	呼吸器疾患(2)
学習目標・ポイント	COPDや拘束性肺疾患、肺癌などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	中間試験
学習目標・ポイント	
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	腎疾患(1)
学習目標・ポイント	糸球体疾患、ネフローゼなどについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	腎疾患(2)
学習目標・ポイント	尿路感染症について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	腎疾患(3)
学習目標・ポイント	腫瘍、前立腺疾患について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
12 項 目	内分泌疾患(1)
学習目標・ポイント	生理学の内分泌の復習を取り入れながら疾患の学習をする
使用する材料	教科書、プリント
備考	
13 項 目	内分泌疾患(2)
学習目標・ポイント	生理学の内分泌の復習を取り入れながら疾患の学習をする
使用する材料	教科書、プリント
備考	
14 項 目	代謝疾患(1)
学習目標・ポイント	糖尿病などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
15 項 目	代謝疾患(2)
学習目標・ポイント	ビタミン欠乏などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学各論Ⅱ
担 当 教 員	多田羅 勝広
科 目 名 (中 項 目)	臨床医学各論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義内容の確認
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	近年国家試験で出題が増加している科目で合否に直結する科目である。2年生の間に基礎的な疾患の知識を身につけ適宜問題演習を組み込んでいくことで知識の定着を図る。
到 達 目 標	疾患に対する基本的な知識の定着を目指し、3年での国家試験対策にスムーズに対応できることを
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>1、担当科目における教育上の業績 平成29年度 宝塚医療大学において鍼灸師科、柔道整復師科で非常勤講師として勤務 国家試験対策講義として一般臨床医学を担当</p> <p>平成29年4月～令和4年3月 平成医療学園専門学校において鍼灸師科で非常勤講師として勤務 一般臨床医学各論を担当</p> <p>2、実務上の業績(臨床経験等) 平成26年7月～現在 たたら鍼灸整骨院</p>

1 項 目	循環器疾患(1)
学習目標・ポイント	心不全、弁膜症について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	(特筆事項)
2 項 目	循環器疾患(2)
学習目標・ポイント	狭心症、心筋梗塞などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	血液疾患(1)
学習目標・ポイント	貧血について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	血液疾患(2)
学習目標・ポイント	白血病、血友病などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	脳血管疾患
学習目標・ポイント	脳梗塞、脳出血などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	基底核疾患
学習目標・ポイント	パーキンソン病など基底核疾患について学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	認知症、筋疾患
学習目標・ポイント	認知症、重症筋無力症などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	中間試験
学習目標・ポイント	講義内容の確認
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	末梢神経疾患(1)
学習目標・ポイント	ギランバレー病などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	末梢神経疾患(2)
学習目標・ポイント	ベル麻痺などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	膠原病(1)
学習目標・ポイント	リウマチなどについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
12 項 目	膠原病(2)
学習目標・ポイント	ベーチェット病などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
13 項 目	小児科疾患、婦人科疾患
学習目標・ポイント	乳癌や子宮筋腫などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
14 項 目	婦人科疾患(2)、皮膚科疾患・眼科疾患
学習目標・ポイント	月経異常などについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	
15 項 目	耳鼻科疾患・神経科疾患、老人疾患
学習目標・ポイント	メニエール病、うつ病など精神科疾患、ロコモなどについて学習する
使用する材料	教科書、プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学各論Ⅲ
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	外科・整形
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教科書をベースに国家試験に対応した知識および臨床現場にて頻繁に遭遇する外傷・障害の知識
到 達 目 標	はり師・きゅう師国家試験に出題が予想される外科疾患・整形外科疾患・麻酔科学について理解を深め、国家試験過去問を確実に解けるようにする。また、臨床において頻繁に出会う疾患についても理
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期単位認定試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期単位認定再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期単位認定追試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	外科学・整形外科学は国家試験科目の臨床医学各論に含まれる内容である。国家試験科目の配点割合も大きく、重要な科目となる。また、東洋医学臨床論の運動器系疾患に関する問題と関わる部分も出てくるため、理解を深めておく必要がある。 外科学・整形外科学では運動器系疾患を対象とする科目であるため、解剖学(特に、筋学・骨学・脈管学・神経学)については予習および復習を行い、理解をした上で講義に挑むことを薦める。 本科目では、麻酔科学(総論)に関する内容も含むため、生理学についても予習・復習を行うことを
教育・実務業績	[職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1	項目	第13章 その他の領域 B. 一般外科 損傷概論(熱傷/凍瘡と凍傷)
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p288-、配布資料
	備考	
2	項目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[骨折・脱臼・捻挫](総論)
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
	備考	
3	項目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[骨折・脱臼・捻挫](上肢・下肢)
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
	備考	
4	項目	第8章 整形外科疾患 C. 代謝性骨疾患・骨腫瘍
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p133-、配布資料
	備考	
5	項目	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p124-、配布資料
	備考	
6	項目	第8章 整形外科疾患 D. 筋・腱疾患
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p141-、配布資料
	備考	
7	項目	第8章 整形外科疾患 E. 形態異常
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p147-、配布資料
	備考	
8	項目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患①
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p157-、配布資料
	備考	
9	項目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患②
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p157-、配布資料
	備考	
10	項目	第8章 整形外科疾患 G. 脊髄損傷
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p171-、配布資料
	備考	
11	項目	第8章 整形外科疾患 I. その他の整形外科疾患
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p186-、配布資料
	備考	
12	項目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[スポーツ外傷・障害]①
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
	備考	
13	項目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[スポーツ外傷・障害]②
	学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
	使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
	備考	
14	項目	国家試験問題演習① 総復習
	学習目標・ポイント	国家試験問題に対応できること、知識の定着を目標とする。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	国家試験問題演習② 総復習
	学習目標・ポイント	国家試験問題に対応できること、知識の定着を目標とする。
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学 I
担 当 教 員	鍵 隆
科 目 名 (中 項 目)	リハビリテーション医学 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教科書を中心に、リハビリテーション医学を理解する。また、国家試験にも対応できるように対策を行
到 達 目 標	基本的なリハビリテーション医学を理解し、臨床的な対応もイメージできるようにする。国家試験レベルの知識を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験80%、小テスト20%、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』受講の心得に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当 実務上の業績(臨床経験等) 1、大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2、医療法人 前田整形外科勤務 約20年 3、同法人関連整骨院 院長として勤務

1 項 目	A.リハビリテーションと障害
学習目標・ポイント	1. リハビリ基本理念 2. 障害のとらえかた 3. リハビリテーションの分野
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
2 項 目	B.リハビリテーション概念
学習目標・ポイント	1. リハビリ医学の対象 2. チームアプローチ 3. 地域リハビリ
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
3 項 目	C.障害の評価
学習目標・ポイント	1. 機能評価/ROM
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
4 項 目	C.障害の評価
学習目標・ポイント	MMT,2. 活動の評価 3. 参加の評価 4. 合併症
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
5 項 目	C.障害の評価
学習目標・ポイント	3. 参加の評価 4. 合併症 5. 運動麻痺
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
6 項 目	C.障害の評価
学習目標・ポイント	6. 運動発達 7. 失行失認 8. 心理 9. 嚥下
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
7 項 目	D.医学的リハビリテーション
学習目標・ポイント	1. 理学療法/運動療法
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
8 項 目	D.医学的リハビリテーション
学習目標・ポイント	1.物理療法 2. 作業療法
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
9 項 目	D.医学的リハビリテーション
学習目標・ポイント	3. 言語療法4. 装具義肢 5. 看護 6. 嚥下 7. SW 8. リハ工学
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
10 項 目	2-A.脳卒中
学習目標・ポイント	障害・合併症
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
11 項 目	2-A.脳卒中
学習目標・ポイント	急性期/回復期
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
12 項 目	2-B. 脊髄損傷
学習目標・ポイント	障害 合併症 評価 急性期/回復期
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
13 項 目	2-C.切断・D. 小児
学習目標・ポイント	障害 合併症 評価 急性期と回復期
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
14 項 目	2-E.骨関節疾患・2-F. 関節リウマチ
学習目標・ポイント	障害 合併症 評価 運動療法
使用する材料	教科書・配付資料
備考	
15 項 目	G. 末梢神経障害 H. パーキンソン I. 呼吸器 J.心疾患
学習目標・ポイント	障害 合併症 評価
使用する材料	教科書・配付資料
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(リハビリ)
担 当 教 員	西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	リハビリテーション医学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	はり師きゆう師国家試験において、問題数変更に伴うリハビリテーション医学分野の知識の確認と理解を向上し、習熟できることを目的とする。
到 達 目 標	リハビリテーション医学分野における理念と方法・各疾患のリハビリテーションを解説することができる。学生に対して国家試験の対策とサポートをすることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 中間試験25%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講

1	項目	リハビリテーションと障害
	学習目標・ポイント	リハビリテーションの基本理念・ノーマライゼーション・IL
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項目	リハビリテーション医学と医療
	学習目標・ポイント	リハビリテーション医学の概念・チームアプローチ・進め方、地域ケア
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項目	障害の評価
	学習目標・ポイント	心身機能・身体構造の評価～摂食嚥下障害の評価
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項目	医学的リハビリテーション1
	学習目標・ポイント	理学療法、作業療法、言語聴覚療法
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項目	医学的リハビリテーション2
	学習目標・ポイント	補装具療法、リハビリテーション看護、ソーシャルワーク
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項目	脳卒中のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	脳卒中の評価、急性期・回復期のリハビリテーション、リスク管理
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項目	脊髄損傷のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	脊髄損傷による機能障害、急性期・回復期のリハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項目	切断のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	切断の分類・合併症・リハビリテーション、切断の特徴
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項目	小児のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	特徴、脳性麻痺のリハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項目	骨関節疾患のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	五十肩、頸腕障害、腰痛、変形性膝関節症、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項目	関節リウマチのリハビリテーション
	学習目標・ポイント	関節リウマチの特徴・評価・リハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項目	末梢神経障害のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	末梢神経障害の原因と特徴・評価・リハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項目	パーキンソン病のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	パーキンソン病の症状・評価・リハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項目	呼吸器疾患のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	呼吸器疾患の症状・評価・リハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	心疾患のリハビリテーション
	学習目標・ポイント	心疾患の症状・評価、リハビリテーション
	使用する材料	配布資料
	備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	衛生学・公衆衛生学 I
担 当 教 員	井田 直子
科 目 名 (中 項 目)	衛生学・公衆衛生学 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	公衆衛生学では集団レベルでの健康の増進と疾病の予防を考える。疾病構造の変化や少子高齢化により生活環境は急激に変化している。様々な環境・社会の変化が人々の健康に与える影響について理解する。また感染症や消毒に関する正確な知識を身につけ、パンデミックに直面するなかで医療従事者として適切に行動できる素養を身につける。また統計・疫学の考え方を学習する。
到 達 目 標	医療人として最低限必要な衛生学・公衆衛生学の知識を習得する。将来、社会状況が変化しても自ら情報を収集し、対処していける基礎学力を身につける。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	(1400文字以内) 1、担当科目における教育上の業績 平成21(2009)年度～令和3(2021)年度 平成医療学園にて衛生学・公衆衛生学講義を担当

1	項目	保健衛生行政1
	学習目標・ポイント	公衆衛生学の概要、国際保健
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
2	項目	保健衛生行政2
	学習目標・ポイント	地域保健(保健所・市町村保健センター)、医療提供体制
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
3	項目	食品と健康
	学習目標・ポイント	食生活と疾病、食事摂取基準、食品添加物、食中毒
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
4	項目	環境保健1
	学習目標・ポイント	騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など日常生活環境を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
5	項目	環境保健2
	学習目標・ポイント	有機塩素系化合物、有機金属汚染、放射線、地球温暖化などの環境破壊を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
6	項目	感染症と病原微生物1
	学習目標・ポイント	病原微生物の種類と疾病の理解
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
7	項目	感染症と病原微生物2
	学習目標・ポイント	院内感染、感染症法、各種新興感染症
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
8	項目	感染症と病原微生物3
	学習目標・ポイント	空気感染、母子垂直感染、人畜共通感染症、予防接種
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
9	項目	消毒法
	学習目標・ポイント	各種消毒法の解説と選び方
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
10	項目	人口統計
	学習目標・ポイント	人口静態統計と人口動態統計
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
11	項目	成人保健と人口動態統計
	学習目標・ポイント	死因別死亡率、年齢調整死亡率、生命表と平均余命
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
12	項目	母子保健と人口動態統計
	学習目標・ポイント	出生率、乳児死亡率、周産期死亡率、母子保健対策、疾病統計
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
13	項目	疫学
	学習目標・ポイント	記述疫学、分析疫学、介入疫学の特徴
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
14	項目	精神保健
	学習目標・ポイント	精神保健衛生と疾病統計、精神衛生保健法の概要、疾病の理解
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
15	項目	労働保険
	学習目標・ポイント	労働安全衛生法・労働者災害補償保険法の概要を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(衛生)
担 当 教 員	井田 直子
科 目 名 (中 項 目)	衛生学・公衆衛生学Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験対策として公衆衛生学・衛生学の概要を復習し重要なポイントを押さえ理解する。特に国家試験で問われる感染症・病原微生物・消毒の分野と、保健統計、少子高齢化問題、医療行政について
到 達 目 標	医療人として最低限必要な保健衛生に関する知識を確認する。医療系国家試験の過去問題を理解し正答することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成21(2009)年度～令和3(2021)年度 平成医療学園にて公衆衛生学講義を担当

1	項目	保健衛生行政1
	学習目標・ポイント	健康の定義、プライマリヘルスケア、疾病予防、健康日本21
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
2	項目	保健衛生行政2
	学習目標・ポイント	保健所及び市町村の業務、検診とスクリーニング、国民医療費、高齢者医療と介護
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
3	項目	食品と健康
	学習目標・ポイント	食生活と疾病、食事摂取基準、食品添加物、食中毒
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
4	項目	人口統計
	学習目標・ポイント	人口静態統計と人口動態統計
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
5	項目	成人・高齢者保健と人口動態統計
	学習目標・ポイント	死因別死亡率、年齢調整死亡率、生命表と平均余命
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
6	項目	母子保健と人口動態統計
	学習目標・ポイント	出生率、乳児死亡率、周産期死亡率、母子保健対策、疾病統計
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
7	項目	感染症と病原微生物1
	学習目標・ポイント	病原微生物、感染症法
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
8	項目	感染症と病原微生物2
	学習目標・ポイント	感染経路、日和見感染症、新興感染症、予防接種
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
9	項目	消毒法
	学習目標・ポイント	各種消毒法の解説と選び方
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
10	項目	環境保健1
	学習目標・ポイント	騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など日常生活環境を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
11	項目	環境保健2
	学習目標・ポイント	有機塩素系化合物、有機金属汚染、放射線、地球温暖化などの環境破壊を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
12	項目	疫学
	学習目標・ポイント	記述疫学、分析疫学、介入疫学の違いを理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
13	項目	精神保健
	学習目標・ポイント	精神保健衛生と疾病統計、精神衛生保健法の概要、疾病の理解
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
14	項目	労働保険
	学習目標・ポイント	労働安全衛生法・労働者災害補償保険法の概要を理解する
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
15	項目	学校保健 授業内試験
	学習目標・ポイント	学校保健の概要、確認試験
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(医療概論)
担 当 教 員	半田 勝則
科 目 名 (中 項 目)	医療概論
単 位 数 (時 間 数)	1(15)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	法治国家においては、法律に基づいて法律の範囲内で業務を行うことになる。あはき法はあはきに関して最低ラインの衛生と健康を担保出来る大切な指針であり、義務であることを認識する。
到 達 目 標	あはき法を主体とし、その他医事法規、衛生関係法規、社会福祉法規、社会保険関係法規、個人情報保護法等についてその概略を勉強することにより、日本におけるあはきの位置づけを理解し卒業
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成16年から令和3年にかけて平成医療学園専門学校にて関係法規の講義を行う。

1	項目	付録1 法と制度の沿革
	学習目標・ポイント	現在の医療制度において、あはきのおかれている状況を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	
2	項目	2章 1, 2, 3節 主な医療関係法規
	学習目標・ポイント	各医療関係法規の概要を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	
3	項目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規
	学習目標・ポイント	各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	
4	項目	2章 4節 主な医療関係法規 5節 薬事法規
	学習目標・ポイント	各医療関係法規及び薬事法規の概要を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	
5	項目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規
	学習目標・ポイント	地域保健法や健康増進法などの要点を理解する。
	使用する材料	
	備考	
6	項目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規
	学習目標・ポイント	地域保健法や健康増進法などの要点を理解する。
	使用する材料	
	備考	
7	項目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規
	学習目標・ポイント	主に感染に関する法規の概要を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	
8	項目	2章 6節 その他の主な医療・衛生法規
	学習目標・ポイント	主に感染に関する法規の概要を理解する。
	使用する材料	テキスト、プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(関係法規)
担 当 教 員	半田 勝則
科 目 名 (中 項 目)	関係法規
単 位 数 (時 間 数)	1(15)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	法治国家においては、法律に基づいて法律の範囲内で業務を行うことになる。あはき法はあはきに関して最低ラインの衛生と健康を担保出来る大切な指針であり、義務であることを認識する。
到 達 目 標	あはき法を主体とし、その他医事法規、衛生関係法規、社会福祉法規、社会保険関係法規、個人情報保護法等についてその概略を勉強することにより、日本におけるあはきの位置づけを理解し卒業
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成16年から令和3年にかけて平成医療学園専門学校にて関係法規の講義を行う。

1 項 目	付録1 法と制度の沿革
学習目標・ポイント	現在の医療制度において、あはきのおかれている状況を理解する。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
2 項 目	1章 1, 2, 4, 5, 6節 免許行為
学習目標・ポイント	何故、あはき業が行えるのかを理解する。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
3 項 目	1章 3節 施術上の制限
学習目標・ポイント	あはき業として行える範囲を理解する。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
4 項 目	1章 3節 施術上の制限
学習目標・ポイント	あはき業として行える範囲を理解する。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
5 項 目	1章 3, 7節 施術上の制限
学習目標・ポイント	施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
6 項 目	1章 3, 7節 施術上の制限
学習目標・ポイント	施術所の名称や広告の制限など実際にあはきを業として行う上での理解を得る。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
7 項 目	2章 7, 8節 主な社会福祉関係法規・社会保険関係法規
学習目標・ポイント	社会福祉、社会保険の概要を理解する。
使用する材料	テキスト、プリント
備考	
8 項 目	2章 9節 その他の関係法規・まとめ
学習目標・ポイント	あはき師には守秘義務があるが個人情報の取扱いの重要性を理解する。国家試験の過去問により総合的な理解を深める。
使用する材料	テキスト、プリント

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	経絡経穴概論 I
担 当 教 員	松岡 憲二
科 目 名 (中 項 目)	経絡経穴概論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	<p>【授業目的】一般に「ツボ＝穴」と呼ばれて親しまれている科目で、鍼灸治療を行う上で基本となります。その穴数は361穴あります。一穴一穴の名前(経穴名)、部位(取り方)、ツボとツボを結んで出来る気血の通り道(経絡名)および五要穴(主要穴)を覚えて頂くことになります。二年生の前期終了時には、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名と取穴部位が言える」という状態になるまで覚えて頂きます。</p> <p>【授業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 別ページに記しました授業計画をもとに、1年生後期は「経絡経穴概論 I : 15コマ」で学習します。 * ツボの名称(経穴名)、ツボの取り方(部位)、経穴間を結ぶ走行ルート(経絡名)および各経絡に存在する五要穴を説明します。 * 経脈(身体を縦に走る気血の通り道)は「14経脈」あります。1年生後期は体幹の前後正中を走行する督脈・任脈の2本と十二経脈の12本 [(1)～(12)] と称される [(1)手の太陰肺経～(6)手の太陽小腸経] までの8経脈について学習します。 * 残る6経脈「(7)足の太陽膀胱経～(12)足の厥陰肝経」と奇穴および奇経八脈については、2年生の前期授業にて学習する予定です。
到 達 目 標	二年生の前期終了時には、全経穴において、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名、取穴部位、五要穴を答えることが出来る」という状態まで暗記
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	<p>【講義科目共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※必要出席数および試験について・・・『「学生のしおり」【必要出席数】』に準ずる。 * 授業コマ数(15コマ)の1/3以上を欠席すると受験資格に関わり、単位取得が出来ないので注意して下さい。 ※ 評価方法は、単位認定試験と授業内評価を合算して100%で行います。 * 後期授業終了時において単位認定試験(50%)、経穴呼唱(25%)、中間試験(15%)、授業態度・課題プリント(10%)、の総合評価で算出します。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	<p>【授業における注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 受講の心得について・・・『「学生のしおり」 学内生活 』に準ずる。 * 無断で教室からの退席は禁止です。 * 出席確認時に着席されていない場合は、欠席または遅刻となる事があります。 * 水分の摂取は許可しますが、食事は禁止です。 * 授業で進む場所の経穴名は、事前に目を通して下さい。 * 復習は大切です。その日に学習した経穴名や取穴部位(取り方)は、その日に覚えるように努めましょう。
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>I. 職務の内容(どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたのか)</p> <p>【経歴】大学を卒業後、昭和51年4月、明治鍼灸柔道整復専門学校 鍼灸科に入学、昭和53年9月卒業。はり師・きゅう師免許取得後、同校の附属治療所勤務として就職、はり師きゅう師専科教員課程(昭和57年)、明治鍼灸教員養成施設(昭和62年)を終了し、平成25年3月定年退職に至るまで33年間専任教員として勤務。以後、同校および平成医療学園専門学校の非常勤講師を行う傍ら小さな治療院を開設して現在に至る。教員としての在任期間、「はり実技・きゅう実技・体表観察実技・取穴実技・局所解剖学・経絡経穴概論・鍼灸医学演習・経穴解剖学・鍼灸学特論・組織学実習」などの科目を担当。教員生活を通して、特に研究テーマとしたのは鍼灸医学の基礎とする経絡経穴である。昭和58年4月から昭和62年3月に至る4年間は 大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座の研究生として、以後数年は研修生として在籍し、経絡走行および経穴部における局所解剖構造の関連について研究し</p> <p>II. 担当科目における教育上の業績および実務上の業績</p> <p>全日本鍼灸学会経穴研究委員として、第54回全日本鍼灸学会学術大会(福岡)ワークショップ II において頭部から足部の各部所における「経絡走行と類似する解剖構造との関連」について報告し、全日本鍼灸学会学術雑誌に「経絡・経穴の解剖学的並びに臨床的検討」と題して掲載(2006.2.1)した。また刺鍼部位と局所の解剖構造について、共著「鍼灸師・柔整師のための局所解剖カラーアトラス」(南江堂)を出版した。</p> <p>また、東洋療法学校協会より教科書:新版「経絡経穴概論」の執筆委員の一人として依頼を頂き、図および解剖の個所を担当した。執筆図書(共著)としては以下に記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 教科書:旧版「経絡経穴概論」 東洋療法学校協会編 … 医道の日本社 * 教科書:新版「経絡経穴概論」 東洋療法学校協会編:初版(2009)～… 医道の日本社 * 『鍼灸師・柔整師のための局所解剖アトラス』 … 南江堂 * はり師・きゅう師国家試験問題解説集 … 医道の日本社 * 経穴ツボ暗記カード…アルテミア <p>その他、十数回にわたる学会発表・論文投稿、講演会講師などをさせて頂いた。</p>

1 項 目	シラバスの説明、総論(1) * 経脈・流注・経穴について
学習目標・ポイント	* 十二経脈の名称 * 十二経脈の流注の順番 * 暗唱すべき経穴(361穴)
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
2 項 目	総論(2) * 取穴法の基本
学習目標・ポイント	* 骨度法とは・・ * 同身寸法とは・・ * 奇経八脈の概念 * 督脈について
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
3 項 目	督脈① * 体表から触知出来る骨指標(棘突起・肩甲骨周辺の名称など)
学習目標・ポイント	* 督脈の経穴名と部位説明[長強～大椎]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
4 項 目	督脈②・任脈① * 体表から触知出来る指標(恥骨結合・臍・剣状突起など)
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明:[任脈:瘕門～齶交]、[任脈:会陰～神闕(臍)]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
5 項 目	任脈②・肺経① * 体表から触知出来る指標(鎖骨・胸骨・鳥口突起など)
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明:[任脈:水分～齶交][肺経:中府～雲門] * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
6 項 目	手の太陰肺経②・五要穴について * 体表から観察出来る横紋・骨指標
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明:[肺経:天府～少商] * 五要穴(原・郄・絡・募・兪) * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
7 項 目	手の陽明大腸経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明[商陽～肩髃] * 骨度寸法の応用
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
8 項 目	手の陽明大腸経② + 足の陽明胃経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒大腸経:[巨骨～迎香]、胃経:[承泣～頭維]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
9 項 目	足の陽明胃経②
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒胃経:[人迎～天枢]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
10 項 目	【中間試験】(1コマ～8コマまでの内容)
学習目標・ポイント	※中間試験 + 足の陽明胃経③ * 経穴名と部位説明⇒胃経:[天枢～梁丘]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布
11 項 目	足の陽明胃経④ * 体表から触知出来る指標(膝関節～足関節周辺)
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒胃経:[梁丘～厲兌]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布
12 項 目	足の太陰脾経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒脾経:[隱白～陰陵泉]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
13 項 目	足の太陰脾経②
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒脾経:[陰陵泉～腹哀]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
14 項 目	足の太陰脾経③・手の少陰心経
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒脾経:[食竇～大包] 心経:[極泉～少衝]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 次週、配布プリント印刷
15 項 目	手の太陽小腸経①
学習目標・ポイント	* 経穴名と部位説明⇒小腸経:[少沢～小海]
使用する材料	* 教科書「新版 経絡経穴概論」、配布(自作)プリント、スライドプロジェクター、チョーク
備考	* シラバスの印刷、今後覚えるべき経穴名一覧プリントおよび経穴暗唱カードの印刷配布 * 【経穴暗唱カード回収】・後期 単位認定試験概要説明

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	経絡経穴概論Ⅱ
担 当 教 員	松岡 憲二
科 目 名 (中 項 目)	経絡経穴概論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	一般に「ツボ＝穴」と呼ばれて親しまれている科目で、鍼灸治療を行う上で基本となります。その穴数は361穴あり、経絡名・経穴名・部位を覚えます。1年生の後期(15コマ)にて督脈・任脈および手の太陰肺経～手の太陽小腸経までの8経脈を終えています。2年生の前期(15コマ)において残る「足の太陽膀胱経～足の厥陰肝経」の6経脈について学習します。
到 達 目 標	2年生の前期終了時には、全経穴において、ツボの名前を聴くや「即座に所属経絡名と取穴部位を答えることが出来る。」という状態まで暗記。
成績評価方法及び基準	【講義科目共通事項】 ※ 必要出席数および試験について・・・『「学生のしおり」【必要出席数】』に準ずる。 * 授業コマ数(15コマ)の1/3以上を欠席すると受験資格に関わり、単位取得が出来ないので注意。 ※ 評価方法は、単位認定試験と授業内評価を合算して100%で行う。 * 前期授業終了時において単位認定試験(55%)を行う。評価は、これに中間試験(20%)および経穴呼唱(25%)を加えた総合評価とする。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【授業における注意事項】 ※ 受講の心得について・・・『「学生のしおり」 学内生活 』に準ずる。 * 無断で教室からの退出を禁止する。 * 出席確認時に着席されていない場合は、欠席または遅刻となる。 * 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 * 授業で進む場所の経穴名は、事前に目を通しておくこと。(理解がし易くなります) * 復習は大切。その日に学習した経穴名や取穴法(部位・取り方)は、その日に覚えること。
教育・実務業績	I. 職務の内容(どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたのか) 【経歴】大卒を卒業後、昭和51年4月、明治鍼灸柔道整復専門学校 鍼灸科に入学、昭和53年9月卒業。はり師・きゅう師免許取得後、同校の附属治療所勤務として就職、はり師きゅう師専科教員課程(昭和57年)、明治鍼灸教員養成施設(昭和62年)を終了し、平成25年3月定年退職に至るまで33年間専任教員として勤務。以後、同校および平成医療学園専門学校の非常勤講師を行う傍ら小さな治療院を開業して現在に至る。教員としての在任期間、「はり実技・きゅう実技・体表観察実技・取穴実技・局所解剖学・経絡経穴概論・鍼灸医学演習・経穴解剖学・鍼灸学特論・組織学実習」などの科目を担当。教員生活を通して、特に研究テーマとしたのは鍼灸医学の基礎とする経絡経穴である。昭和58年4月から昭和62年3月に至る4年間は 大阪大学歯学部口腔解剖学第二講座の研究生として、以後数年は研修生として在籍し、経絡走行および経穴部における局所解剖構造の関連について研究した。 II. 担当科目における教育上の業績および実務上の業績 全日本鍼灸学会経穴研究委員として、第54回全日本鍼灸学会学術大会(福岡)ワークショップⅡにおいて頭部から足部の各部所における「経絡走行と類似する解剖構造との関連」について報告し、全日本鍼灸学会学術雑誌に「経絡・経穴の解剖学的並びに臨床的検討」と題して掲載(2006.2.1)した。また刺鍼部位と局所の解剖構造について、共著「鍼灸師・柔整師のための局所解剖カラーアトラス」(南江堂)を出版した。 また、東洋療法学校協会より教科書:新版「経絡経穴概論」の執筆委員の一人として依頼を頂き、図および解剖の個所を担当した。執筆図書(共著)としては以下に記載。 * 教科書:旧版「経絡経穴概論」 東洋療法学校協会編・・・医道の日本社 * 教科書:新版「経絡経穴概論」 東洋療法学校協会編:初版(2009)～・・・医道の日本社 * 『鍼灸師・柔整師のための局所解剖アトラス』・・・南江堂 * はり師・きゅう師国家試験問題解説集・・・医道の日本社 * 経穴ツボ暗記カード・・・アルテミア その他、何回にわたる学会発表・論文投稿(別紙)、講演会講師などをさせて頂いた。

1 項 目	足の太陽膀胱経 ① * 足の太陽膀胱経の概要
学習目標・ポイント	*「睛明～曲差～天柱」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
2 項 目	足の太陽膀胱経 ②
学習目標・ポイント	* 背部:膀胱経(一行線・二行線上)の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
3 項 目	足の太陽膀胱経 ③
学習目標・ポイント	* 腰部から仙骨部「主に八髎穴」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
4 項 目	足の太陽膀胱経 ④
学習目標・ポイント	* 大腿後部から下腿後部「承扶穴～承山穴」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
5 項 目	足の太陽膀胱経 ⑤
学習目標・ポイント	* 下腿後部から足部「飛揚穴～至陰」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
6 項 目	五腧(行)穴について
学習目標・ポイント	五腧(行)穴「井・榮・兪・経・合」の意味と主治(役割)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
7 項 目	足の少陰腎経 ①
学習目標・ポイント	*「湧泉～陰谷」の経穴名と各部位(取り方)の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
8 項 目	足の少陰腎経 ②
学習目標・ポイント	*「横骨～兪府」の経穴名と各部位の説明と「胸腹部全経穴」の総復習
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
9 項 目	手の厥陰心包経 + 中間試験 ①(範囲: 1コマ～8コマ)
学習目標・ポイント	*「天池～中衝」の経穴名と各部位の説明 + 中間試験 [40分]
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
10 項 目	手の少陽三焦経 ①
学習目標・ポイント	*「関衝～肩髃」の経穴名と各部位の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
11 項 目	手の少陽三焦経 ②
学習目標・ポイント	*「天髎～糸竹空」の経穴名と各部位の説明 + 足の少陽胆経 ①
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
12 項 目	足の少陽胆経 ②
学習目標・ポイント	*「瞳子髎～風池」の経穴名と各部位の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
13 項 目	足の少陽胆経 ③ + 前期末試験概要説明
学習目標・ポイント	*「肩髃～環跳」の経穴名と各部位の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
14 項 目	足の少陽胆経 ④
学習目標・ポイント	*「風市～足竅陰」の経穴名と各部位の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷
15 項 目	足の厥陰肝経
学習目標・ポイント	*「大敦～期門」の経穴名と各部位の説明
使用する材料	※ 教科書「新版:経絡経穴概論」・自作配布プリント・スライドプロジェクター
備考	※ 配布プリントの印刷

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	はりきゅう理論Ⅰ
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 (中 項 目)	はりきゅう理論Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸治療の概要を学ぶことを目的とする。鍼は鍼の種類、手技、刺鍼について、灸は艾の種類、施灸の種類について主に学習する。また、鍼灸治療についての刺激量、適応と限界、リスク管理について
到 達 目 標	鍼灸治療の概要、道具、リスク管理について説明できる。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 11試験について【必要出席数】に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	第1章 概論
	学習目標・ポイント	鍼灸施術の定義、鍼灸治療の特徴、鍼灸治療の定義と特徴を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
2	項目	第2章 鍼の基礎知識
	学習目標・ポイント	鍼と鍼管、古代九鍼、毫鍼各部の名称、長さ、太さ、材質、特徴、について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
3	項目	第3章 刺鍼の方式と術式
	学習目標・ポイント	刺鍼の方式と前揉、押手、刺手、切皮、刺入について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
4	項目	第4章 特殊鍼法
	学習目標・ポイント	小児鍼、皮内鍼、灸頭鍼、低周波鍼通電など特殊な鍼法について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
5	項目	鍼の小テスト／鍼の臨床効果
	学習目標・ポイント	第2～4章までの確認／鍼の効果の紹介、鍼療法の復習、鍼の効果を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
6	項目	第5章 灸の基礎知識
	学習目標・ポイント	もぐさの品質と種類、線香、それぞれの製造法について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
7	項目	第6章 灸術の種類
	学習目標・ポイント	有痕灸、無痕灸など灸の種類を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
8	項目	灸の小テスト／灸の臨床効果
	学習目標・ポイント	第5～6章までの確認 灸の効果を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
9	項目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	鍼療法の過誤と副作用を理解し、リスク管理を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
10	項目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	灸療法の過誤と副作用を理解し、リスク管理を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
11	項目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	感染症対策(施術者と患者の消毒)の重要性について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
12	項目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	感染症対策(器具の消毒と感染症の基礎知識)の重要性について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
13	項目	第7章 鍼灸の臨床応用
	学習目標・ポイント	刺激量と感受性を考慮し、鍼灸刺激量の調整について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
14	項目	鍼灸の臨床応用
	学習目標・ポイント	鍼灸療法の適応症と禁忌を理解し、臨床に応用する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
15	項目	リスク管理と臨床応用小テスト／臨床での医療事故
	学習目標・ポイント	臨床応用とリスク管理の復習、医療事故を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(はりきゅう)
担 当 教 員	芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	はりきゅう理論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師に必要な痛みの基礎・治効理論についての知識を習得する。国家試験対策に基づき国家試験に向けて知識を習得する。
到 達 目 標	鍼灸師としての痛みの知識を獲得し、国家試験はもちろんのこと臨床現場においてもその知識が発揮できるようになる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 11試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2012年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2013年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2014年度:全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2014年度～2019年度:基礎実技Ⅰ担当 2014年度～2016年度:基礎実技Ⅱ担当 2014年度～2021年度:基礎実技Ⅲ・Ⅳ 2016年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2014年度～2021年度:臨床実習 2020年度～2021年度:治療実習前評価担当 2018年度～2021年度:臨床実習担当者 2015年度～2018年度・2020年度年度:国対はりきゅう理論 担当 2021年度:国対経穴</p>

1	項目	はりの基礎
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
2	項目	はりの基礎
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
3	項目	はりの効果、副作用について
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
4	項目	はりの治効理論
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
5	項目	はりの治効理論
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
6	項目	きゅうの基礎
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
7	項目	きゅうの基礎
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
8	項目	きゅうの効果、副作用について
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
9	項目	きゅうの治効理論
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
10	項目	きゅうの治効理論
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
11	項目	はりきゅうのまとめ
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
12	項目	はりきゅうのまとめ
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
13	項目	はりきゅうのまとめ
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
14	項目	はりきゅうのまとめ
	学習目標・ポイント	国家試験対策、臨床現場での知識について
	使用する材料	はりきゅう理論教科書
	備考	
15	項目	痛みの基礎、診断、治療について
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	痛みの学習スライド
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論 I
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学概論 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	東洋医学の歴史と概論の理解 東洋医学の思想(陰陽論・五行論)の理解 東洋医学的な人体の見方(生理物質と病理)の理解
到 達 目 標	気虚・気滞・気逆・気陥・気脱・血虚・血瘀・血熱・津液の不足・湿水飲痰の病態についてマスターし、 症状や舌脈所見について理解する。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1	項目	東洋医学の沿革
	学習目標・ポイント	東洋医学・漢方・鍼灸の歴史
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	歴史は日本と中国を比較しながら、時代の変化とともに発展した鍼灸について学ぶ。
2	項目	東洋医学の沿革
	学習目標・ポイント	東洋医学・漢方・鍼灸の歴史
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	歴史は日本と中国を比較しながら、時代の変化とともに発展した鍼灸について学ぶ。
3	項目	陰陽学説(第1章 2節の人体の見方を加えながらおこなう)
	学習目標・ポイント	陰陽論の概念・陰陽互根・制約・消長・転化・陰陽の医学的応用
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
4	項目	五行学説
	学習目標・ポイント	五行論の概念・五行・相生と相克・五行の色体表・五行の医学的応用
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
5	項目	五行学説
	学習目標・ポイント	五行論の概念・五行・相生と相克・五行の色体表・五行の医学的応用
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	基本的な枠組み・ものさしとしての考え方を理解する。
6	項目	東洋医学的治療
	学習目標・ポイント	治療原則・古代九鍼(満城漢墓出土の金鍼・銀鍼)馬王堆漢墓医書・治療法(異法方宜論)
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	治療原則は2年でも学ぶので、概論のみ説明する。
7	項目	生植物質(精・気・血・津液) 精
	学習目標・ポイント	先天の精と後天の精・精の働きと病理・病態
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	精虚は腎虚でも学ぶので、病態を軽めにあとの部分を厚くする。
8	項目	生植物質(気の生理)
	学習目標・ポイント	原気・宗気・営気・衛気について・気的作用・気機
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	
9	項目	生植物質(血の生理)
	学習目標・ポイント	血の化生・血的作用
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	
10	項目	生植物質(津液の生理)と生植物質の相互関係
	学習目標・ポイント	津液の化生・津液的作用・津液の代謝・精と生植物質の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	生植物質の相互関係はとても難しいので、この内容を11～13でも繰り返すこと。
11	項目	気の病理
	学習目標・ポイント	気虚・気陥・気脱・気鬱・気滞・気逆・(精と気・気と血・気と津液も目を通す)
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	生理の部分を思い出しながら、病態を理解できるようにする。
12	項目	血の病理
	学習目標・ポイント	血虚・血瘀・血熱・(精と血・気と血・血と津液)
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	
13	項目	津液の病理
	学習目標・ポイント	津液不足と湿・水・飲・痰・(津液と精・気と津液・血と津液)
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	
14	項目	神
	学習目標・ポイント	五神・五志・七情・神と生植物質の関係・神の病理
	使用する材料	東洋医学概論・プリント
	備考	今まで習った生植物質との関係とつながるように工夫する。
15	項目	蔵象
	学習目標・ポイント	五臓・六腑・奇恒の腑・蔵象学説の要点
	使用する材料	
	備考	後期の蔵象がスムーズに運ぶように、蔵象の概論を説明する。

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅱ
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学概論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	概念を理解する
到 達 目 標	臓腑の生理学と病理学を理解できる。 病気の原因ははどんな種類があり、どんな症状がでるかを理解する。 経絡の概要を理解する。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年～ はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『「家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1 項 目	蔵象
学習目標・ポイント	蔵象学説とは
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	前期の復習と共に始める。早く進めば、肝系統に入っていく。
2 項 目	肝系統
学習目標・ポイント	肝系統とは・肝胆の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	疏泄・蔵血・昇発・条達・関連領域・胆の生理
3 項 目	肝系統
学習目標・ポイント	肝系統とは・肝胆の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	肝鬱気滞・肝血虚・肝陰虚・肝火上炎・肝陽上亢・肝胆湿熱
4 項 目	心系統
学習目標・ポイント	心系統とは・心小腸の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	主血と神志、生理特性と関連領域・小腸の生理
5 項 目	心系統
学習目標・ポイント	心系統とは・小腸の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	心気虚・心陽虚・心血虚・心陰虚・心火亢盛・心血瘀阻小腸実熱
6 項 目	脾系統
学習目標・ポイント	脾系統とは・脾胃の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	運化・統血・昇清・喜燥惡質
7 項 目	脾系統
学習目標・ポイント	脾系統とは・脾胃の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	脾気虚・脾陽虚・脾虚湿性・食滯胃脘・胃火上炎・胃陰虚・脾胃湿熱
8 項 目	肺系統
学習目標・ポイント	肺系統とは・肺大腸の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	宣発・肅降・主気・華蓋・嬌臟
9 項 目	肺系統
学習目標・ポイント	肺系統とは・肺大腸の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	肺気虚・肺陰虚・風寒犯肺風熱犯肺・痰湿阻肺・糟粕の伝化・大腸湿熱
10 項 目	腎系統
学習目標・ポイント	腎系統とは・腎膀胱の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	蔵精・主水・納気・封蔵・陰陽の根本・膀胱の生理
11 項 目	腎系統
学習目標・ポイント	腎系統とは・腎膀胱の生理・病理・病証
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	腎精不足・腎気虚・腎陽虚・腎陰虚・膀胱湿熱・
12 項 目	三焦
学習目標・ポイント	三焦の生理作用・部位・機能面でみる三焦
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	このコマで余った時間を利用して、蔵象のまとめを行う。
13 項 目	三焦
学習目標・ポイント	三焦の生理作用・部位・機能面でみる三焦
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	このコマで余った時間を利用して、蔵象のまとめを行う。
14 項 目	病因
学習目標・ポイント	
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	六淫とその特色、疫癘、
15 項 目	病因
学習目標・ポイント	六淫とその特色、疫癘、七情とその特色、飲食勞倦・房事過度・疫癘
使用する材料	東洋医学概論教科書・プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅲ
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学概論Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	1年で習った生理学・病理学を統合して、様々な病証を理解する。
到 達 目 標	臓腑病証(心肝血虚・心肝火旺・肺脾気虚・心脾両虚・肺腎気虚・痰湿阻肺・肺腎陰虚・肝腎精血不足・肝腎陰虚・肝脾不和・肝火犯肺・心腎陰虚・心腎不交・心腎陽虚・脾腎陽虚)と経絡病証と奇経八脈病証の病機を理解し、症状や舌脈所見を覚える。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価(小テスト+出席)を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年～ はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1	項目	病因の復習と病機 1年次の復習と2年で学習する内容を説明する。
	学習目標・ポイント	病因・病位・病性・伝変・波及・内生五邪
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	1年の時に学習した病因がまだ完璧ではないので、復習をかねて再強化する。
2	項目	五臓の相互関係①
	学習目標・ポイント	心・脾・肝
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	心血虚・肝血虚・心肝血虚・心肝火旺
3	項目	五臓の相互関係②
	学習目標・ポイント	心・肺・脾
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	心気虚・肺気虚・心血虚・肺脾気虚・心脾両虚・
4	項目	五臓の相互関係③
	学習目標・ポイント	肺・脾・腎
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	脾気虚・腎気虚・肺腎気虚・痰湿阻肺・肺腎陰虚
5	項目	五臓の相互関係④
	学習目標・ポイント	脾・肝・腎
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	脾の弱りから腎精不足・肝血虚・脾気虚へ。肝腎精血不足・肝腎陰虚
6	項目	五臓の相互関係⑤
	学習目標・ポイント	肺・脾・肝
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	肝脾不和・肝火犯肺
7	項目	五臓の相互関係⑥
	学習目標・ポイント	心・脾・腎
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	心腎相交・心腎陰虚・心腎不交・心腎陽虚・脾腎陽虚
8	項目	六腑の協調関係・P273～280の気血津液病証と臟腑弁証
	学習目標・ポイント	六腑の生理・病理
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	後期で行う弁証の部分も見ておく
9	項目	全身の気機
	学習目標・ポイント	気機を中心に、今までの臟腑の関係をまとめる。
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	気機と五臓が結びつくようにする。
10	項目	経絡病証
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	教科書・プリント
	備考	
11	項目	四診(望診)
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	使用する材料	有神・無神・仮神、五色、形、態、舌(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
	備考	
12	項目	四診(望診)
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	使用する材料	有神・無神・仮神、五色、形、態、舌(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
	備考	
13	項目	四診(望診)
	学習目標・ポイント	舌診(正常舌・舌神・舌色・舌形・舌態・舌苔(苔色・苔質))
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
14	項目	四診(聞診)
	学習目標・ポイント	声診、五音、五声、呼吸、発語、異常音、気味)
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
15	項目	四診(聞診)
	学習目標・ポイント	声診、五音、五声、呼吸、発語、異常音、気味)
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学概論Ⅳ
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学概論Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	* 東洋医学独特の診断法を学び、治療に結び付けられるようになることを目標とする。 * 弁証論治
到 達 目 標	問診、脈診、腹診によって得た情報から、証を立てて、治療ができるようにする。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
成績評価方法及び基準	
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年～ はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1	項目	四診(問診)
	学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
2	項目	四診(問診)
	学習目標・ポイント	主訴、寒熱、飲食、睡眠、二便、情志・その他(五官・頭部・汗・疼痛・月経など)
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
3	項目	四診(切診)
	学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診) 祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
4	項目	四診(切診)
	学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診) 祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
5	項目	四診(切診)
	学習目標・ポイント	脈診(寸口診法・脈状診) 祖脈、平脈、六部定位脈診、按診、腹診 四診合参
	使用する材料	東洋医学概論の教科書、プリント、パワーポイント(スライド)
	備考	
6	項目	弁証
	学習目標・ポイント	八綱病証
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	表裏間熱虚実陰陽
7	項目	弁証
	学習目標・ポイント	経絡弁証・六淫弁証・六経弁証
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
8	項目	弁証
	学習目標・ポイント	衛気営血弁証・三焦弁証
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
9	項目	標本・主客・論治 治則
	学習目標・ポイント	扶正祛邪・治病求本・標本同治・陰陽の調整・正治と反治
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
10	項目	論治 治法
	学習目標・ポイント	治法八法・生理事物質の病証に帯する治法・臓腑病証に対する治法・外感病に対する治法
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
11	項目	鍼灸の補瀉と取穴の補瀉
	学習目標・ポイント	鍼と灸の手法の補瀉と六十九難
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
12	項目	選穴の原則
	学習目標・ポイント	局所取穴・遠隔取穴・循経取穴・特定穴
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	前コマの六十九難の取穴の補瀉を少し確認する
13	項目	刺法
	学習目標・ポイント	九刺・十二刺・五刺
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
14	項目	弁証論治の進め方と証の決定
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	
15	項目	弁証論治の進め方と証の決定
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	東洋医学概論の教科書・プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	触察解剖
担 当 教 員	濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	生体観察
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	触診によって、体表から観察できる構造の位置を探し出すことと構造の特徴に気づくことを目的とす
到 達 目 標	取穴に必要なランドマークを体表から確認し、触診できる知識と技術を習得する。
成績評価方法及び基準	①出席日数 各3点、授業態度3点 × 授業回数15回(90点) 加点方式 ②筆記試験および実技試験 ①+②÷2+10点=成績
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1 項 目	授業の説明および注意事項、体表解剖(総論)
学習目標・ポイント	評価方法の説明、触診について
使用する材料	
備考	
2 項 目	触察解剖(頭顔面部)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
3 項 目	触察解剖(体幹前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
4 項 目	触察解剖(体幹前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
5 項 目	触察解剖(体幹後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
6 項 目	触察解剖(体幹後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
7 項 目	触察解剖(上肢前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
8 項 目	触察解剖(上肢前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
9 項 目	触察解剖(上肢後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
10 項 目	触察解剖(上肢後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
11 項 目	触察解剖(下肢前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
12 項 目	触察解剖(下肢前面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
13 項 目	触察解剖(下肢後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
14 項 目	触察解剖(下肢後面)
学習目標・ポイント	身体刺鍼の際、的確に目的の筋や指標となる骨の触知が行えるようにする。
使用する材料	水性マーカー、タックシール
備考	軽装になれるように用意しておく
15 項 目	評価(筆記・実技)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	(各論・リハ)演習
担 当 教 員	西浦 絵美/迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	はりきゅうの適応判断
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代医学における鍼灸治療適応疾患に関する知識を養う。
到 達 目 標	臨床において患者の主訴が鍼灸適応であるのか、判断できる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦 絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 迫 宏典 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在に至る) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員

1	項目	頭痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	頭痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
2	項目	顔面痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	顔面痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
3	項目	顔面麻痺の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	顔面麻痺での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
4	項目	歯痛・眼精疲労の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	歯痛・眼精疲労での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
5	項目	鼻閉・鼻汁・脱毛症の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	鼻閉・鼻汁・脱毛症での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
6	項目	耳鳴・難聴の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	耳鳴・難聴での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
7	項目	咳嗽・喘息・胸痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	咳嗽・喘息・胸痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
8	項目	腹痛・悪心と嘔吐の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	腹痛・悪心と嘔吐での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
9	項目	便秘と下痢・月経異常の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	便秘と下痢・月経異常での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
10	項目	肩こり・頸肩腕痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	肩こり・頸肩腕痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
11	項目	肩関節痛・上肢痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	肩関節痛・上肢痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
12	項目	腰下肢痛・膝痛の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	腰下肢痛・膝痛での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
13	項目	運動麻痺の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	運動麻痺での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
14	項目	疲労・倦怠感の鍼灸適応
	学習目標・ポイント	疲労・倦怠感での鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	
15	項目	老年・高齢者に対する鍼灸適応
	学習目標・ポイント	老年・高齢者に対する鍼灸が適応と場合と治療について
	使用する材料	プリント・教科書(東洋医学臨床論)
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(病理)
担 当 教 員	内野容子
科 目 名 (中 項 目)	病態生理学
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	2年次に学習した内容をもう一度復習し、国家試験に合格できる知識を養う。
到 達 目 標	各病態の定義や分類を知り、その代表疾患について理解する。 国家試験に出題されている重要項目についての知識を得る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価で試験を行い100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項	目	腫瘍 1.腫瘍の一般
学習目標・ポイント		良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて理解する 組織学的悪性度の評価について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	腫瘍 1.腫瘍の一般
学習目標・ポイント		発癌因子について、転移の種類について、腫瘍マーカーについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	腫瘍 2.腫瘍の各論 3.癌の影響
学習目標・ポイント		腫瘍の各論、癌の生体に及ぼす影響について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	炎症 1.炎症の一般
学習目標・ポイント		炎症の仕組みについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	炎症 2.炎症担当細胞
学習目標・ポイント		炎症に関わる各細胞の働きについて理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	炎症3.炎症の分類
学習目標・ポイント		各炎症分類と代表疾患を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	免疫異常・アレルギー 1.液性免疫と細胞性免疫 2.アレルギー
学習目標・ポイント		
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	病因 1.内因
学習目標・ポイント		素因(年齢、性、体質、遺伝)、内分泌について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	病因 2.外因
学習目標・ポイント		栄養の不足と過剰、物理的病因について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	病因 2.外因 先天性異常 1.総論
学習目標・ポイント		化学的病因、生物的要因について理解する 遺伝子異常、染色体異常、環境因子による異常を理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	先天性異常 循環障害 1.充血とうっ血 2.貧血と虚血
学習目標・ポイント		遺伝子異常、染色体異常、環境因子による異常を理解する 先天性自己免疫疾患、後天性自己免疫疾患について理解する 充血とうっ血の違いについて理解する 神経性貧血と閉塞性貧血、圧迫性貧血について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	循環障害 3.出血 4.塞栓症
学習目標・ポイント		出血の種類について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	循環障害 5.梗塞 6.浮腫・水腫
学習目標・ポイント		貧血性梗塞と出血性梗塞について理解する 浮腫・水腫の原因について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	退行性病変 萎縮・変性・壊死と死 評価試験
学習目標・ポイント		萎縮の分類と代表疾患を理解する 変性の分類と代表疾患を理解する 壊死と死、アポトーシスの違いを理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	進行性病変 肥大と増殖、再生、化生、移植、創傷治癒、異物の処理
学習目標・ポイント		肥大と増殖の違いについて理解する 再生能力による分類を理解する 化生について理解する 移植の種類と拒絶反応について理解する 創傷治癒の過程、異物の処理方法について理解する
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅰ
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床論Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師が臨床上遭遇しやすい疾患の病態、徒手検査法を理解する。その他以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療適応か否か、注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。
到 達 目 標	後期授業終了時には西洋医学的な病態、徒手検査が理解出来ている。 自ら疾患に対する、徒手検査を考えることが出来る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛①
学習目標・ポイント	頸、肩周囲の骨、筋肉の理解。頸椎神経根症、胸郭出口症候群の病態、症状、理学検査を理解する。頸椎症
使用する材料	プリント・教科書
備考	
2 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛②
学習目標・ポイント	頸、肩周囲の骨、筋肉の理解。肩こり、五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎の病態、症状、理学検査を理解する。肩こり、五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎
使用する材料	プリント・教科書
備考	
3 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛③
学習目標・ポイント	頸、肩周囲の骨、筋肉の理解。肩こり、五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎の病態、症状、理学検査を理解する。肩こり、五十肩、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎
使用する材料	プリント・教科書
備考	
4 項 目	肩関節痛、上肢痛①
学習目標・ポイント	上肢の神経走行を理解する。絞扼性神経障害について理解できる。上肢のスポーツ障害の概要を知る。胸郭出口症候群、正中神経麻痺、尺骨神経麻痺、橈骨神経麻痺、テニス肘、野球肩
使用する材料	プリント・教科書
備考	
5 項 目	肩関節痛、上肢痛②
学習目標・ポイント	上肢の神経走行を理解する。絞扼性神経障害について理解できる。上肢のスポーツ障害の概要を知る。胸郭出口症候群、正中神経麻痺、尺骨神経麻痺、橈骨神経麻痺、テニス肘、野球肩
使用する材料	プリント・教科書
備考	
6 項 目	肩関節痛、上肢痛③
学習目標・ポイント	上肢の神経走行を理解する。絞扼性神経障害について理解できる。上肢のスポーツ障害の概要を知る。胸郭出口症候群、正中神経麻痺、尺骨神経麻痺、橈骨神経麻痺、テニス肘、野球肩
使用する材料	プリント・教科書
備考	
7 項 目	腰痛、腰下肢痛①
学習目標・ポイント	腰椎の形態、周囲の筋肉の理解、腰痛、腰下肢痛の鑑別ができ、病態、症状、理学検査を理解する。筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、変形性脊椎症、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア
使用する材料	プリント・教科書
備考	
8 項 目	腰痛、腰下肢痛②
学習目標・ポイント	腰椎の形態、周囲の筋肉の理解、腰痛、腰下肢痛の鑑別ができ、病態、症状、理学検査を理解する。筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、変形性脊椎症、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア
使用する材料	プリント・教科書
備考	
9 項 目	腰痛、腰下肢痛③
学習目標・ポイント	腰椎の形態、周囲の筋肉の理解、腰痛、腰下肢痛の鑑別ができ、病態、症状、理学検査を理解する。筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、変形性脊椎症、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア
使用する材料	プリント・教科書
備考	
10 項 目	下肢痛①
学習目標・ポイント	脛骨神経麻痺、腓骨神経麻痺、足根管症候群、シンスプリント、アキレス腱炎、コンパートメント症候群、モートン病、足底筋膜炎
使用する材料	プリント・教科書
備考	
11 項 目	膝痛①
学習目標・ポイント	膝周囲の骨、筋肉、靭帯の理解、膝痛の鑑別、病態、症状、理学検査を理解する。変形性膝関節症、腸脛靭帯炎、膝蓋靭帯炎、鷲足炎
使用する材料	プリント・教科書
備考	
12 項 目	膝痛②
学習目標・ポイント	膝周囲の骨、筋肉、靭帯の理解、膝痛の鑑別、病態、症状、理学検査を理解する。変形性膝関節症、腸脛靭帯炎、膝蓋靭帯炎、鷲足炎
使用する材料	プリント・教科書
備考	
13 項 目	頭痛①
学習目標・ポイント	頭痛の鑑別ができ、病態、症状を理解する。筋収縮性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛
使用する材料	プリント・教科書
備考	
14 項 目	頭痛②
学習目標・ポイント	頭痛の鑑別ができ、病態、症状を理解する。筋収縮性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛
使用する材料	プリント・教科書
備考	
15 項 目	まとめ
学習目標・ポイント	単位認定試験に向けて確認を行う
使用する材料	プリント・教科書
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅱ
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師が临床上遭遇しやすい疾患の病態、徒手検査法、配穴を理解する。その他以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療適応か否か、注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。 ・前期は1年次に学習した病態、徒手検査に加えて配穴に重点を置く。
到 達 目 標	前期授業終了時には西洋医学的な病態、徒手検査、配穴が理解出来ている。 自ら疾患に対する、徒手検査、治療法(配穴)を考えることが出来る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のおしおりにI教務(授業)10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験70%、小テスト30%を合わせて100%として評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のおしおりにⅢ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1	項目	前年度の復習
	学習目標・ポイント	前年度の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
2	項目	運動器疾患①
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
3	項目	運動器疾患②
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
4	項目	運動器疾患③
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
5	項目	運動器疾患④
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
6	項目	運動器疾患⑤
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
7	項目	頭痛
	学習目標・ポイント	頭痛の鑑別ができ、病態、症状を理解し治療法を考えられる。筋収縮性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
8	項目	顔面痛、顔面神経麻痺
	学習目標・ポイント	顔面痛、顔面神経麻痺の鑑別ができ、病態、症状を理解し治療法を考えられる。三叉神経痛、末梢性顔面神経麻痺、中枢性顔面神経麻痺
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
9	項目	めまい、耳鳴り、難聴
	学習目標・ポイント	内耳の血流障害について理解できる。病態を把握し治療方針を考えられる。メニエール病、突発性難聴、良性発作性頭位めまい症
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
10	項目	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛
	学習目標・ポイント	病態、症状を理解し治療方針を考えられる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
11	項目	咳嗽、喘息、胸痛
	学習目標・ポイント	喘息、胸痛の病態、症状を理解する。また重篤症状、刺入深度についても理解する。気胸、喘息、肋
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
12	項目	腹痛、悪心嘔吐、便秘、下痢
	学習目標・ポイント	腹部の疾患を理解し鑑別できる。胃炎、胃痙攣、GERD、便秘の3分類と治療、過敏性腸症候群
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
13	項目	月経異常、更年期障害
	学習目標・ポイント	女性疾患全般の理解ができる。子宮内膜症の理解 PMS、月経過多の鍼灸治療
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
14	項目	排尿障害
	学習目標・ポイント	排尿異常の機序を理解、排尿障害の疾患を理解、鑑別を行え、治療方針を考えられる。慢性前立腺炎
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
15	項目	まとめ
	学習目標・ポイント	単位認定試験に向けて確認を行う
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅲ
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床論Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師が临床上遭遇しやすい疾患の東洋医学的な病態、配穴を理解する。その他以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療適応か否か、注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。
到 達 目 標	後期授業終了時には東洋医学的な病態(弁証論治)配穴が理解出来ている。 疾患に対し自らに弁証論治を行い、治療法(配穴)を考えることが出来る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
2	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
3	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
4	項目	肩こり
	学習目標・ポイント	肩こりの東洋医学的分類を理解し鑑別できる。風寒邪、肝血虚、寒飲、気滞血瘀
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
5	項目	腰痛
	学習目標・ポイント	腰痛の3つの東洋医学的タイプの症状を理解し治療ができる。気滞血瘀、寒湿邪、腎気虚、腎陽虚、
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
6	項目	頭痛①
	学習目標・ポイント	頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。外感性の頭痛、肝火上炎、肝陽上亢
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
7	項目	頭痛②
	学習目標・ポイント	頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。気血両虚、痰濁、腎虚、瘀血
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
8	項目	痺証①(関節痛)
	学習目標・ポイント	痺証について理解できる。痺証の分類ができる。行痺、着痺、痛痺、熱痺
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
9	項目	痺証②
	学習目標・ポイント	痺証について理解できる。痺証型か否か鑑別できる。肝腎陰虚、腎陽虚、骨痺
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
10	項目	悪心、嘔吐
	学習目標・ポイント	東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。気虚便秘、血虚便秘、胃熱による便秘、気滞便秘、肝脾不和、脾腎陽虚
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
11	項目	食欲不振
	学習目標・ポイント	食欲不振の東洋医学的分類を理解し鑑別できる。胃陰虚、脾胃湿熱
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
12	項目	便秘
	学習目標・ポイント	便秘の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。熱秘、氣秘、虚秘、冷秘
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
13	項目	下痢
	学習目標・ポイント	下痢の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。外邪、傷食、肝鬱、脾胃虚弱、
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
14	項目	月経異常
	学習目標・ポイント	奇形八脈についての理解。月経異常の分類を理解し鑑別出来る。経早、経遅、経乱
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
15	項目	まとめ
	学習目標・ポイント	単位認定試験に向けて確認を行う
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(東概)
担 当 教 員	上野 暁生
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床論Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	国家試験で過去に出てきた東洋医学概論の出題ポイントを暗記する。
到 達 目 標	前期授業終了時には過去の国家試験 東洋医学概論の分野で8割以上の問題が正解出来る。 前期単位認定試験の試験結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
成績評価方法及び基準	
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。 東洋医学概論、経絡経穴概論の教科書を必ず持参。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1	項目	東洋医学の基礎(東洋医学の特色、陰陽五行論)
	学習目標・ポイント	陰陽、五行論の問題演習・解説、五行色体表を覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
2	項目	気血津液の生理、病証
	学習目標・ポイント	気血津液の問題演習・解説、気血津液の病証を覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
3	項目	六臓六腑、五臓病証
	学習目標・ポイント	蔵象を確実に覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
4	項目	臟腑経絡論, 経脈病証, 奇形八脈病証, 六経病証
	学習目標・ポイント	経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。臟腑経絡論, 経脈病証, 奇形八脈病証, 六経病証の問題演習・解説、気血津液の病証を覚える。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
5	項目	病因論(内因、外因、不内外因)
	学習目標・ポイント	内因、外因、不内外因の特徴を理解。内因、外因、不内外因の問題演習・解説。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
6	項目	病理と病証(八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①)
	学習目標・ポイント	八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
7	項目	病理と病証(八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①)
	学習目標・ポイント	八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
8	項目	病理と病証(五臓六腑の病理病証②、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証)
	学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
9	項目	病理と病証(五臓六腑の病理病証②、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証)
	学習目標・ポイント	五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
10	項目	東洋医学的診察法と証の立て方(四診法)
	学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
11	項目	東洋医学的診察法と証の立て方(四診法)
	学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
12	項目	東洋医学的診察法と証の立て方(四診法)
	学習目標・ポイント	四診によって得られる情報から、治療法が浮かぶようにする。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
13	項目	治療法
	学習目標・ポイント	刺法、治療原則を理解する。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
14	項目	治療法
	学習目標・ポイント	刺法、治療原則を理解する。
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	
15	項目	総復習
	学習目標・ポイント	前期にて行った範囲を過去問、合同模試、実力試験の問題を使用し、復習を行う
	使用する材料	教科書、プリント
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(経穴)
担 当 教 員	芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床応用 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	はり師・きゅう師国家試験の過去問を中心に演習を進め、必要に応じて講義を行う。 第29回はり師・きゅう師国家試験から問題数の改変に伴い、経絡経穴概論の問題数も増えたため、出題傾向を抑え、点数を取れるようにする。
到 達 目 標	経絡経穴概論の正答率が70%以上獲得できるようにする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で60%、小テスト40%、単位認定試験と小テストを合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	<p>明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2012年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2013年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2014年度:全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経歴 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学附属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2014年度～2019年度:基礎実技Ⅰ担当 2014年度～2016年度:基礎実技Ⅱ担当 2014年度～2021年度:基礎実技Ⅲ・Ⅳ 2016年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2014年度～2021年度:臨床実習 2020年度～2021年度:治療実習前評価担当 2018年度～2021年度:臨床実習担当者 2015年度～2018年度・2020年度年度:国対はりきゅう理論 担当 2021年度:国対経穴</p>

1	項目	正経十二経脈、要穴、奇経八脈について
	学習目標・ポイント	正経十二経脈、要穴、奇経八脈の要点を把握する
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
2	項目	取穴について
	学習目標・ポイント	要穴を中心とした取穴部位を把握する
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
3	項目	1～2コマで実施した内容の小テスト、過去問
	学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	小テスト: 10パーセント評価
4	項目	督脈、任脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経について
	学習目標・ポイント	督脈、任脈、手の太陰肺経、手の陽明大腸経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
5	項目	足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経、手の太陽小腸経について
	学習目標・ポイント	足の陽明胃経、足の太陰脾経、手の少陰心経、手の太陽小腸経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
6	項目	4～5コマで実施した内容の小テスト、過去問
	学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	小テスト: 10パーセント評価
7	項目	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経について
	学習目標・ポイント	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経、手の厥陰心包経、手の少陽三焦経の経穴・取穴・解剖学的部位を
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
8	項目	足の少陽胆経、足の厥陰肝経、要穴
	学習目標・ポイント	足の少陽胆経、足の厥陰肝経の経穴・取穴・解剖学的部位を把握する。また1～6の総復習を実施す
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
9	項目	7～8コマで実施した内容の小テスト、過去問
	学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	小テスト: 10パーセント評価
10	項目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
	学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。(過去問を中心に)
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
11	項目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
	学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。(過去問を中心に)
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
12	項目	要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について
	学習目標・ポイント	過去問を中心に要穴、組合せ穴、奇穴、経穴の研究について復習をする。
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
13	項目	10～12コマで実施した内容の小テスト、過去問
	学習目標・ポイント	小テストにて把握できているか確認をする
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	小テスト: 10パーセント評価
14	項目	確認問題
	学習目標・ポイント	1～12コマで実施した内容の確認問題を解くことで自身の苦手項目を把握する
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
15	項目	過去問のまとめ
	学習目標・ポイント	前期単位認定試験に向け、ランダムに選んだ過去問を解くことで実力を図る。
	使用する材料	授業プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(東臨)
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	東洋医学臨床応用Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験対策として、国家試験に多く出題される東臨の基礎知識や理論に関して、過去問題によく出題される内容を過去問を中心に解説していく。
到 達 目 標	国試対策授業のため、国試によく出題される問題を中心に8～9割を取れるようにする。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1 項 目	頭痛
学習目標・ポイント	頭痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
2 項 目	顔面痛、顔面麻痺
学習目標・ポイント	顔面痛、顔面麻痺に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
3 項 目	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛症
学習目標・ポイント	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛症に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
4 項 目	めまい、耳鳴りと難聴
学習目標・ポイント	めまい、耳鳴りと難聴に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
5 項 目	咳嗽、喘息、胸痛
学習目標・ポイント	咳嗽、喘息、胸痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
6 項 目	腹痛、悪心と嘔吐、便秘と下痢
学習目標・ポイント	腹痛、悪心と嘔吐、便秘と下痢に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
7 項 目	月経異常、排尿障害、インポテンツ
学習目標・ポイント	月経異常、排尿障害、インポテンツに関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
8 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛
学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
9 項 目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛
学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
10 項 目	上肢痛
学習目標・ポイント	上肢痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
11 項 目	腰下肢痛、膝痛
学習目標・ポイント	腰下肢痛、膝痛に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
12 項 目	運動麻痺
学習目標・ポイント	運動麻痺に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
13 項 目	スポーツ障害、老年医学
学習目標・ポイント	スポーツ障害、老年医学に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
14 項 目	のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠
学習目標・ポイント	のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠に関する病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
使用する材料	プリント・教科書
備考	
15 項 目	確認問題
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	(解剖・生理)演習
担 当 教 員	佐原 俊作／濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	社会鍼灸学
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学・生理学を復習する。各単元ごとの穴埋めで概略を理解し、過去問を解くことでアウトプットできるようにする。
到 達 目 標	国家試験の解剖・生理の問題を7割以上解けるようになる。
成績評価方法及び基準	授業内評価で行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	前期の科目で行えなかった分野を中心に、講義、問題解説を行う。 【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	佐原 俊作 担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 濱田さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1 項 目	消化器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
2 項 目	消化器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理の教科書、プリント、過去問
備考	
3 項 目	運動器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
4 項 目	人体の構成、生理学基礎
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理、解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
5 項 目	循環器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
6 項 目	循環器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
7 項 目	感覚器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖学の教科書、プリント、過去問
備考	
8 項 目	感覚
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
9 項 目	泌尿・生殖器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖学の教科書、プリント、過去問
備考	
10 項 目	泌尿・生殖器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理学の教科書、プリント、過去問
備考	
11 項 目	呼吸器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
12 項 目	呼吸器系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理、解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
13 項 目	神経系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖の教科書、プリント、過去問
備考	
14 項 目	神経系
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	生理の教科書、プリント、過去問
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	各単元の概要を理解し、過去問を解けるようにする。
使用する材料	解剖、生理の教科書、配布資料
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技 I
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 (中 項 目)	基礎実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	1.医療人として相応しい態度を身に付ける。 2.鍼の安全性に対する正しい知識を身につける。 3.鍼の基本的な手技(刺鍼の一連の流れ)を学ぶ。
到 達 目 標	1.相応しい態度とは、清潔な身嗜み、言葉使い、授業態度を身に付ける。 2.感染防止や有害事象に対するリスク管理に対する正しい知識を身につける。 3.①片手挿管及び直刺・斜刺・横刺が正確にできる。 ②一連の流れに従って刺鍼練習台に衛生的な刺鍼ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 11試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1 項 目	鍼灸用具についてと実技授業の心構え
学習目標・ポイント	授業時の服装、実技前の準備と実技終了時の片付け
使用する材料	プリント(授業中の注意事項、実技室使用の注意事項)
備考	
2 項 目	管鍼法:両手挿管法と片手挿管法①
学習目標・ポイント	鍼の起源について:管鍼法と撚鍼法の違いを理解し、管鍼法の基本手技を学ぶ
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
3 項 目	管鍼法:片手挿管法②
学習目標・ポイント	片手挿管法の一連の流れを理解する:押手、切皮弾入
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
4 項 目	刺鍼の一連の流れ①
学習目標・ポイント	前揉法~押手~弾入・切皮~抜鍼~後揉法~片手挿管
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
5 項 目	刺鍼の一連の流れ②
学習目標・ポイント	刺入:送り込み刺法・旋撚刺法
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
6 項 目	刺鍼の一連の流れ③
学習目標・ポイント	刺鍼の角度:直刺・斜刺・横刺
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
7 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	①単刺術②雀啄術③間歇術④屋漏術⑤振戦術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
8 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑥置鍼術⑦旋撚術⑧回旋術⑨乱鍼術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
9 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑩副刺激術⑪示指打法⑫随鍼術⑬内調術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	M4:浅刺-呼吸時-坐位の刺鍼
10 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑭細指術⑮管散術⑯鍼尖転移法⑰刺鍼転向法
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
11 項 目	実技チェック
学習目標・ポイント	片手挿管、刺入法(送り込み刺法・旋撚刺法)
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
12 項 目	手指の消毒と刺鍼部の消毒
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
13 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
14 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸6-3(3本/人)
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅱ
担 当 教 員	芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	基礎実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	灸治療の基礎を身につけ、患者に対し、安心・安全な施術ができるようにする。
到 達 目 標	灸治療の基礎とも言える艾炷の作成(米粒大の大きさ・形・スムーズさ)、患者への配慮について、を学び臨床基礎の基盤を構成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	<p>明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 2015年度:日本統合医療学会 最優秀論文賞 学会発表 2012年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2013年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2014年度:全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2014年度～2019年度・2021年度:基礎実技Ⅰ担当 2014年度～2016年度・2021年度:基礎実技Ⅱ担当 2014年度～2021年度:基礎実技Ⅲ・Ⅳ 2016年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2014年度～2021年度:臨床実習 2020年度～2021年度:治療実習前評価担当 2018年度～2021年度:臨床実習担当者 2015年度～2018年度・2020年度年度:国対はりきゅう理論 担当 2021年度:国対経穴</p>

1	項目	自己紹介・灸実技の準備物、物品確認
	学習目標・ポイント	実技をするにあたり準備物の確認をする
	使用する材料	実技バッグ、定規、油性ペン
	備考	
2	項目	艾の作成について
	学習目標・ポイント	米粒大の大きさ形を作成する。また灸点の置き方を学び、艾炷を板対し垂直に置く方法を取得する
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	
3	項目	艾の作成について
	学習目標・ポイント	半米粒大の大きさ・形を作成する。また灸点の置き方を学び、艾炷を板対し垂直に置く方法を取得する
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	
4	項目	板に対し透熱灸を行う
	学習目標・ポイント	米粒大の艾炷を板の上に垂直に置き、線香の取り扱いを学び、施灸の基礎を取得する
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
5	項目	板に対し8分灸を行う
	学習目標・ポイント	米粒大の艾炷を板の上に垂直に置き、8分灸の方法を学び、人体施灸ができる基礎を取得する
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
6	項目	艾炷の大きさ・形の確認
	学習目標・ポイント	2～5コマまでに実施してきた艾炷の作成に対し、指定された大きさ・形ができているか確認
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす ※時間に余裕がある場合7コマ目の内容を実施する
7	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
8	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
9	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
10	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
11	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
12	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
13	項目	施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	施灸シートに対し5分間で30壮以上の施灸を実施、8分灸の練習
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
14	項目	①試験について説明 ②施灸シート(タイムトライアル用:5分で30壮以上)
	学習目標・ポイント	試験内容について配布プリントを用いて説明、その後13コマ目を実施した内容を行う
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	施灸シートの配布、課題で2シートこなす
15	項目	期末試験の実施
	学習目標・ポイント	①施灸シート(米粒大:5分間、30壮以上)、②8分灸
	使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、灸点棒、墨
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅲ
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 (中 項 目)	基礎実技Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	1.医療人して相応しい態度を身に付ける。 2.人体に対して安全かつ衛生的に刺鍼ができる知識技術を習得する。
到 達 目 標	1.相応しい態度は、清潔な身嗜み、言葉使い、授業態度を身に付ける。 2.安全な刺鍼深度を知り、人体の各部位に対し、思い通りの深さ・角度に刺鍼できる
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 11試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこ 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	クリーンニードルテクニック、刺鍼転向法
	学習目標・ポイント	鍼:足三里・三陰交
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
2	項目	下腿部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
3	項目	大腿部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
4	項目	腰部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
5	項目	上肢の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
6	項目	背部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
7	項目	頸肩部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
8	項目	肩背部への刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
9	項目	仙骨部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
10	項目	頭・顔面部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1(2本/人)、1寸-01(5本/人)
	備考	
11	項目	腹部の刺鍼
	学習目標・ポイント	安全に施術ができる
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
12	項目	総復習1
	学習目標・ポイント	1~11コマの総復習
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
13	項目	総復習2
	学習目標・ポイント	1~11コマの総復習
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
14	項目	総復習2
	学習目標・ポイント	試験対策
	使用する材料	DS鍼:寸3-1または寸3-3(6本/人)
	備考	
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅳ
担 当 教 員	芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	基礎実技Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	人体への施灸が衛生的かつ安心・安全に行えるようにする。
到 達 目 標	人体への施灸に対し、衛生的かつ安心・安全を保ち適切に施灸が行えるようにする。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	<p>明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院 にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技Ⅰ担当 2015年度～2016年度:基礎実技Ⅱ担当 2017年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者</p>

1	項目	自身の下腿に対する施灸
	学習目標・ポイント	自身の下腿に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
2	項目	大腿部に対する施灸
	学習目標・ポイント	大腿部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
3	項目	腰部に対する施灸
	学習目標・ポイント	腰部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
4	項目	大腿後面・殿部に対する施灸
	学習目標・ポイント	大腿後面・殿部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
5	項目	仙骨部に対する施灸
	学習目標・ポイント	仙骨部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
6	項目	腹部に対する施灸
	学習目標・ポイント	腹部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
7	項目	上肢に対する施灸
	学習目標・ポイント	上肢の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
8	項目	背部に対する施灸
	学習目標・ポイント	背部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
9	項目	肩背部に対する施灸
	学習目標・ポイント	肩背部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
10	項目	頸部に対する施灸
	学習目標・ポイント	頸部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
11	項目	肩部に対する施灸
	学習目標・ポイント	肩部の経穴に対し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
12	項目	指定した経穴に対する施灸
	学習目標・ポイント	取穴を考慮し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
13	項目	指定した経穴に対する施灸
	学習目標・ポイント	取穴を考慮し、衛生的で安全性を考慮した施術ができる
	使用する材料	実技セット
	備考	
14	項目	総復習
	学習目標・ポイント	総復習を行う
	使用する材料	実技セット
	備考	
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技 I
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	臨床実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。出席状況を受講態度を平常点とする。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験にて徒手検査、はりきゅう実技を評価し60点以上を合格、59点未満を不合格とす
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	実技マニュアル、はりきゅう道具持参
教育・実務業績	<p>[職歴]</p> <p>平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など)</p> <p>平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表]</p> <p>平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」</p> <p>平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」</p> <p>[研究歴]</p> <p>平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在)</p> <p>平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在)</p> <p>平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績]</p> <p>令和3年 大阪府私学教育功労者表彰</p>

1 項 目	ガイダンス、頸部(頸椎症:外傷性頸部症候群・頸椎捻挫)
学習目標・ポイント	病態把握について必要な反射、触覚、筋力、関節可動域の概要を説明する。 疾患、検査(反射)、治療部位
使用する材料	プリント
備考	打鍵器、寸3-1番
2 項 目	頸部(頸椎症:頸椎椎間板ヘルニア)
学習目標・ポイント	疾患、検査(反射、筋力)、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
3 項 目	頸部(頸椎症:頸椎症性神経根症)
学習目標・ポイント	疾患、検査(触覚)、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
4 項 目	頸部(頸椎症:頸椎症性脊髄症)
学習目標・ポイント	疾患、検査(神経根の検査)、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
5 項 目	胸郭出口症候群
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
6 項 目	胸郭出口症候群
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
7 項 目	胸郭出口症候群
学習目標・ポイント	検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
8 項 目	胸郭出口症候群
学習目標・ポイント	検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
9 項 目	肩痛(腱板損傷)
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
10 項 目	肩痛(腱板損傷)
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
11 項 目	肩痛(石灰沈着性腱板炎)
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
12 項 目	肩痛(上腕二頭筋長頭腱炎)
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
13 項 目	小テスト
学習目標・ポイント	検査法・治療部位の確認テスト、
使用する材料	
備考	
14 項 目	肩こり
学習目標・ポイント	疾患(肩の骨・筋肉)、検査(TPの検出方法・触診)、治療部位(TPの刺鍼法)
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番6本
15 項 目	総復習(頸部、胸郭部、肩部)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技Ⅱ
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	臨床実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	腰下肢の疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。出席状況を受講態度を平常点とする。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験にて徒手検査、はりきゅう実技を評価し60点以上を合格、59点未満を不合格とす
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	実技マニュアル、はりきゅう道具持参 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1	項目	授業の概要説明
	学習目標・ポイント	他の臨床実技の授業との関連性、徒手検査の意義を知る。
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
2	項目	腰下肢(変形性腰椎症)
	学習目標・ポイント	疾患(変形性腰椎症)、検査(EHL・FHL・踵歩き・爪先歩き)、治療部位(腰部の通電)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本
3	項目	腰下肢(腰椎椎間板ヘルニア)
	学習目標・ポイント	疾患(腰椎ヘルニア)、検査(バビンスキー・チャッドック・膝足クローヌス)、治療部位(灸頭鍼)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、灸(灸頭鍼用もぐさ)
4	項目	腰下肢(腰部脊柱管狭窄症)
	学習目標・ポイント	疾患(脊柱管狭窄症)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、メジャー
5	項目	腰下肢(分離すべり)
	学習目標・ポイント	疾患(分離すべり症)、腰下肢の治療復習
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番8本
6	項目	腰下肢(梨状筋)
	学習目標・ポイント	疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、メジャー
7	項目	腰下肢(梨状筋)
	学習目標・ポイント	疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、メジャー
8	項目	腰下肢(坐骨神経)
	学習目標・ポイント	疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、メジャー
9	項目	腰下肢(坐骨神経)
	学習目標・ポイント	疾患(陰部神経・梨状筋)、検査(下肢長)、治療部位(陰部神経・梨状筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	寸6・3番6本、メジャー
10	項目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
	学習目標・ポイント	疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
11	項目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
	学習目標・ポイント	疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
12	項目	腰下肢(筋筋膜性腰痛)
	学習目標・ポイント	疾患(筋筋膜性腰痛)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
13	項目	腰下肢(圧迫骨折)
	学習目標・ポイント	疾患(圧迫骨折)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
14	項目	腰下肢(圧迫骨折)
	学習目標・ポイント	疾患(圧迫骨折)、筋の触診、治療部位(腰部の筋)
	使用する材料	寸3-1.寸3-3、寸6-3、実技マニュアル
	備考	
15	項目	腰下肢の総まとめ
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技Ⅲ
担 当 教 員	上野 暁生
科 目 名 (中 項 目)	臨床実技Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	膝、上肢末梢神経障害の徒手検査、治療を理解し行えるようにする。
到 達 目 標	膝、上肢末梢神経障害の徒手検査、治療を理解し行えるようにする。
成績評価方法及び基準	9月末に行う時間外の実技試験(臨床実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)の結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1	項目	膝の病態把握、検査、治療の確認
	学習目標・ポイント	腰下肢に必要な問診、検査、治療について確認する。
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本
2	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(膝部の骨・筋肉)、検査(膝蓋骨圧迫負荷テストほか)、治療部位(膝周囲の経穴への鍼)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本
3	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(膝部の神経・血管)、検査(マックマレーテストほか)、治療部位(膝周囲の経穴への灸)
	使用する材料	プリント
	備考	灸
4	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(変形性膝関節症)、検査(大腿周径、膝蓋骨圧迫負荷テストほか)、治療部位(関節裂隙部への)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本、メジャー
5	項目	膝の病態把握、検査、治療の確認
	学習目標・ポイント	腰下肢に必要な問診、検査、治療について確認する。
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本
6	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(膝部の骨・筋肉)、検査(膝蓋骨圧迫負荷テストほか)、治療部位(膝周囲の経穴への鍼)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本
7	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(膝部の神経・血管)、検査(マックマレーテストほか)、治療部位(膝周囲の経穴への灸)
	使用する材料	プリント
	備考	灸
8	項目	膝
	学習目標・ポイント	疾患(変形性膝関節症)、検査(大腿周径、膝蓋骨圧迫負荷テストほか)、治療部位(関節裂隙部への)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本、メジャー
9	項目	上肢末梢神経障害
	学習目標・ポイント	検査(フローマン、ファーレン、パーフェクトo、チネルサイン ギヨン管、肘部管、手根管ほか)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・3番6本
10	項目	上肢末梢神経障害
	学習目標・ポイント	検査(フローマン、ファーレン、パーフェクトo、チネルサイン ギヨン管、肘部管、手根管ほか)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・3番6本
11	項目	上肢末梢神経障害
	学習目標・ポイント	検査(フローマン、ファーレン、パーフェクトo、チネルサイン ギヨン管、肘部管、手根管ほか)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・3番6本
12	項目	上肢MMT
	学習目標・ポイント	検査(上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋)
	使用する材料	プリント
	備考	
13	項目	上肢MMT
	学習目標・ポイント	検査(上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋)
	使用する材料	プリント
	備考	
14	項目	下肢MMT
	学習目標・ポイント	検査(長母趾伸筋、長母趾屈筋、踵歩き、つま先歩き)
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・1番6本
15	項目	総復習
	学習目標・ポイント	徒手検査 治療部位の復習
	使用する材料	プリント
	備考	寸3・01番6本(セイリン社製)

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	取穴実技
担 当 教 員	濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	臨床実技Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	<ul style="list-style-type: none"> * 身体各部において、体表より触知出来る解剖学的指標(骨・筋・脈管 etc)を確認する。 * マーカーにて指標を描写、経穴部にシールを貼付するなど、視覚に訴えながら学習する。 * 解剖学的指標を基に、十四経脈(督脈・任脈・正経十二経)の流注を理解し、確認する。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> * マーカーにて骨・筋・腱・関節 etcの形状を描く、または確認することが出来る。 * 十四経絡上の主要なる経穴を取穴法(部位)に基づき、正確に取穴することが出来る。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。 ※ 単位認定試験の配分 [1回目:25%・2回目:30%・3回目:35%]と授業内評価[授業態</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>濱田さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍</p> <p>【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。</p>

1 項 目	導入・手の太陰肺経・手の陽明大腸の前腕部
学習目標・ポイント	前腕部の要穴の取穴、解剖学的指標
使用する材料	
備考	
2 項 目	督脈・小腸経の一部(肩甲骨周辺)
学習目標・ポイント	肩甲骨及び棘突起
使用する材料	
備考	
3 項 目	足陽明胃経・足太陰脾経の下肢
学習目標・ポイント	* 下肢の解剖学的指標 * 胃経(脾関～厲兌)・脾経(隠白～衝門)の取穴実技
使用する材料	
備考	
4 項 目	任脈・手の太陰肺経一部
学習目標・ポイント	* 下腹部・上腹部・胸骨部・頸部の解剖学的指標(前正中線上) * 任脈・肺経(中府・雲門)の取穴実技 * 実技試験①の説明
使用する材料	
備考	
5 項 目	実技評価①(評価1回目) * 1～4コマまでの内容で取穴実技評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
6 項 目	手の少陰神経・手の厥陰心包経・手の太陽小腸経
学習目標・ポイント	* 上肢(前面・尺側面)の解剖学的指標 * 心経・心包経の取穴実技 * 小腸経(少沢～小海)の取穴実技
使用する材料	
備考	
7 項 目	足太陽膀胱経1(背部腰部臀部)
学習目標・ポイント	* (背部・腰部・臀部)の解剖学的指標の触知 * 膀胱経一行線・二行線の取穴実技
使用する材料	
備考	
8 項 目	足太陽膀胱経2足少陰腎経1
学習目標・ポイント	* 下腿部後面・足部の解剖学的指標の触知 * 膀胱経(委中～至陰)・腎経(湧泉～陰谷)の取穴実技
使用する材料	
備考	
9 項 目	足陽明胃経2・足太陰脾経2・足少陰腎経2
学習目標・ポイント	* 上腹部・下腹部の解剖学的指標 * 任脈を確認後、胃経・脾経・腎経の取穴実技(腹部)
使用する材料	
備考	
10 項 目	実技評価②(評価2回目) * 6～9コマまでの内容で取穴実技評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
11 項 目	足陽明胃3・足太陰脾3・足少陰腎3胸部
学習目標・ポイント	* 胸部(胸骨・肋骨・鎖骨)の解剖学的指標・任脈を確認後、胃経・脾経・腎経における『胸部』の取穴
使用する材料	
備考	
12 項 目	顔面部・頸部
学習目標・ポイント	* 顔面部・頸部の解剖学的指標・顔面・頸部にある経穴の取穴実技
使用する材料	
備考	
13 項 目	手の少陽三焦経・足厥陰肝経
学習目標・ポイント	* 上肢(後面)・側腹部(第11・12肋骨尖端)・三焦経(関衝～肩髃)・肝経(大敦～陰包)の取穴実技
使用する材料	
備考	
14 項 目	足少陽胆経下肢
学習目標・ポイント	* 足の少陽胆経の取穴実技(膝陽関～足竅陰) * 実技試験③の範囲・方法の概要説明
使用する材料	
備考	
15 項 目	実技評価③(評価3回目) 11～14コマまでの内容で取穴実技評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技 I
担 当 教 員	酒井 良和
科 目 名 (中 項 目)	応用実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代医学的考え方において鍼灸治療の適不適についての鑑別の判断とともに、主要症候の適応となるものに対する治療ができ、東洋医学的考え方においては、主要症候における証分類に従って治
到 達 目 標	主要症候に対する現代医学的・東洋医学的からの鑑別方法の理解と治療が行える。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験(授業内評価)で100%の評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>担当科目における教育上の業績(1400文字以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 <p>実務上の業績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等)処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 <p>研究実績</p> <p>証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号</p>

1	項目	咳嗽
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
2	項目	喘息
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
3	項目	胸痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
4	項目	腹痛1
	学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本/人 灸点紙 2枚/人
	備考	
5	項目	腹痛2
	学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
6	項目	悪心・嘔吐
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 1本/人
	備考	
7	項目	肥満・食欲不振
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 50mm20号 6本/人 バイオネックス0.6 1本/人
	備考	
8	項目	便秘1
	学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm20号 6本/人 40mm16号 1本/人
	備考	
9	項目	便秘2
	学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本/人
	備考	
10	項目	下痢1
	学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本/人
	備考	
11	項目	下痢2
	学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙 4枚/人
	備考	
12	項目	排尿障害
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
	備考	
13	項目	勃起障害
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 50mm20号 2本/人 40mm16号 1本/人
	備考	
14	項目	評価1 実技
	学習目標・ポイント	実技試験の内容は実技で行った各主要症候の中から実施
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本/人
	備考	
15	項目	評価2 実技
	学習目標・ポイント	実技試験の内容は実技で行った各主要症候の中から実施
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本/人
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅱ
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	応用実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	四診を用いて1時間の自費治療ができるようになる。
到 達 目 標	東洋医学的診断をおこない、施術ができる。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年～ はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1 項 目	虚証の治療①(気血両虚中心)
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	
2 項 目	1コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
3 項 目	1コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
4 項 目	虚証の治療②(腎精不足中心)
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	
5 項 目	4コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
6 項 目	4コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
7 項 目	実証の治療①(肝鬱気滞・肝火上炎中心)
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	
8 項 目	7コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
9 項 目	7コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
10 項 目	実証の治療②(痰湿中心)
学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	
11 項 目	10コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
12 項 目	10コマ目で学んだことを基に実際に施術する
学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
13 項 目	総復習
学習目標・ポイント	
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
14 項 目	評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅲ
担 当 教 員	酒井 良和
科 目 名 (中 項 目)	応用実技Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	現代医学的考え方において鍼灸治療の適不適についての鑑別の判断とともに、主要症候の適応となるものに対する治療ができ、東洋医学的考え方においては、主要症候における証分類に従って治
到 達 目 標	主要症候に対する現代医学的・東洋医学的からの鑑別方法の理解と治療が行える。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当 実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等)処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1	項目	月経異常1
	学習目標・ポイント	現代医学的な理解(含定義)と鑑別方法および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm20号 5本/人 パルス1台/2人
	備考	
2	項目	月経異常2
	学習目標・ポイント	東洋医学的な理解(含定義)と弁証および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙4枚/人
	備考	
3	項目	肩こり
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
4	項目	頸肩腕痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 8本/人
	備考	
5	項目	肩関節痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本/人
	備考	
6	項目	上肢痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
7	項目	腰下肢痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 2本/人・40mm20号 4本/人・50mm20号 2本/人
	備考	
8	項目	膝痛
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人
	備考	
9	項目	運動麻痺
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人・40mm20号 2本/人 パルス1台/2人
	備考	
10	項目	高血圧症
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 6本/人
	備考	
11	項目	低血圧症
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本/人
	備考	
12	項目	発熱
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 7本/人
	備考	
13	項目	評価1
	学習目標・ポイント	評価の内容は実技で行った各主要症候の中から実施
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本/人
	備考	
14	項目	評価2
	学習目標・ポイント	評価の内容は実技で行った各主要症候の中から実施
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 3本/人
	備考	
15	項目	のぼせと冷え
	学習目標・ポイント	現代医学的・東洋医学的な理解(含定義)と鑑別方法(含弁証)および治療を習得する
	使用する材料	DS鍼 40mm16号 9本/人 灸点紙 1枚/人
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅳ
担 当 教 員	木場宜子
科 目 名 (中 項 目)	応用実技Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部 昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	自分で組み立てて治療ができる。
到 達 目 標	東洋医学的治療を自分の施術のひとつにする。
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年～ はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1	項目	腱鞘炎の治療説明①
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
2	項目	1コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
3	項目	1コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
4	項目	不妊の治療説明①
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
5	項目	4コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
6	項目	4コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
7	項目	不眠の治療説明①
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
8	項目	7コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
9	項目	7コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
10	項目	整形分野の治療説明①
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
11	項目	10コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
12	項目	10コマ目の施術&患者役で体験する
	学習目標・ポイント	腱鞘炎の治療を鍼灸ではどうするか
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
13	項目	総復習
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
14	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	総合実技 I (西洋医学)
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	総合実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	西洋医学的病態把握および治療計画を実施できる。
到 達 目 標	3年次の治療実習にて西洋医学的病態把握および治療計画を実施できる。
成績評価方法及び基準	2月中旬に行う時間外の実技試験(総合実技 I、II)の結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】</p> <p>『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>〔職歴〕</p> <p>平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など)</p> <p>平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど)</p> <p>〔学会発表〕</p> <p>平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」</p> <p>平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」</p> <p>〔研究歴〕</p> <p>平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在)</p> <p>平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在)</p> <p>平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>〔業 績〕</p> <p>令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰</p>

1	項 目	症例に基づく病態把握の実施(総論)
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
2	項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)①
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
3	項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)②
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
4	項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)③
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
5	項 目	症例に基づく病態把握の実施(上肢)④
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
6	項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)①
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
7	項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)②
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
8	項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)③
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
9	項 目	症例に基づく病態把握の実施(下肢)④
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
10	項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)①
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
11	項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)②
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
12	項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)③
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
13	項 目	症例に基づく病態把握の実施(体幹)④
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
14	項 目	症例に基づく病態把握の実施(その他)
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	
15	項 目	症例に基づく病態把握の実施(まとめ)
	学習目標・ポイント	西洋医学的病態把握の方法および鍼灸実技を学ぶ。
	使用する材料	配布プリント、経絡経穴概論教科書
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	総合実技Ⅱ(東洋医学)
担 当 教 員	上野 暁生
科 目 名 (中 項 目)	総合実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	問診、四診、弁証論治、治療が自ら計画立て、行えるようにする。
到 達 目 標	3年次の治療実習にて問診、四診、弁証論治、治療が自ら計画立て、行えるようにする。
成績評価方法及び基準	2月中旬に行う時間外の実技試験(総合実技Ⅰ、Ⅱ)の結果、出席状況、授業態度などを総合的に勘案し評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1	項目	病態把握について(東洋医学的な問診について)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
2	項目	病態把握に基づいた治療(気、血、津液弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
3	項目	病態把握について(気、血、津液弁証)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
4	項目	病態把握に基づいた治療(肝の弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
5	項目	病態把握について(肝の弁証)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
6	項目	病態把握に基づいた治療(心の弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
7	項目	病態把握について(脾の弁証)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
8	項目	病態把握に基づいた治療(脾の弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
9	項目	病態把握について(肺の弁証)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
10	項目	病態把握に基づいた治療(肺の弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
11	項目	病態把握について(腎の弁証)
	学習目標・ポイント	東洋医学的病態把握をするために身につけるべき項目を把握し学習する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
12	項目	病態把握に基づいた治療(腎の弁証)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
13	項目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臟腑弁証の復習)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
14	項目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臟腑弁証の復習)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	
15	項目	病態把握に基づいた治療(気血津液、臟腑弁証の復習)
	学習目標・ポイント	西洋・東洋医学的病態把握に対するはりきゅう実技を学び習得する。
	使用する材料	配布プリント、東洋医学臨床論教科書、経絡経穴概論教科書
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅴ
担 当 教 員	竹本晋史
科 目 名 (中 項 目)	総合実技Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床家としてモデルには自信向上の為に鍼灸施術を受けて頂くという謙虚な姿勢を持ち、相互向上の意識を持てるようにする。鍼を自由に扱えるようになる。
到 達 目 標	疼痛、苦痛の評価が出来るようになる。 患者本位の考えが持てるようになる。 解剖学を理解し正確に施術できるようになる。
成績評価方法及び基準	平常点 10% 試験 90%
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	臨床で多く遭遇する疾患に対する施術法を学びます。 解剖学をベースとした筋肉への施術が基本です。 “痛む場所を治療する人はしばしば途方に暮れる”を考えましょう。
教 育 ・ 実 務 業 績	平成12年 竹本鍼灸整骨院開設 平成19年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 専科教員 平成24年4月～平成医療学園専門学校 柔道整復師科 学科長 平成29年9月～柔道整復認定実技審査員 令和3年4月～平成医療学園専門学校 教務部長 平成17年～現在 筋骨格画像研究会会長 平成17年～現在 鍼灸柔整新聞(旧日本鍼灸マッサージ新聞) 柔道整復と超音波画像観察装置連載(年2回) 平成18年4月 超音波による骨・筋・関節の観察(南山堂)執筆協力 平成20年9月 運動器の超音波(南山堂)執筆協力 平成26年3月 東洋療法教員養成学科卒業 平成26年4月～鍼灸科3年応用実技Ⅲ授業担当

1	項目	はじめに
	学習目標・ポイント	臨床家としてのスタート・ゴールの目標を立てる。
	使用する材料	1寸3分
	備考	
2	項目	基礎手技の理解
	学習目標・ポイント	基本鍼灸術(直刺・斜刺・横刺)の理解と実践・施鍼の角度別効果を知り、実践技術を持つ
	使用する材料	0～5番寸6・寸3×人数分及び衛生用具
	備考	
3	項目	スポーツ鍼灸術を考察する
	学習目標・ポイント	スポーツ障害の臨床意義・鍼灸術に当てはめ把握する(置鍼・単刺・パルス)
	使用する材料	1寸6分 3番 パルス
	備考	
4	項目	頸椎捻挫および頸椎症
	学習目標・ポイント	頸部のスポーツ障害・頸椎マニピュレーションと筋硬結
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・タオル)
	備考	
5	項目	頸椎症と肩関節痛
	学習目標・ポイント	頸部のスポーツ障害・頸椎マニピュレーションと筋硬結
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・タオル)
	備考	
6	項目	運動性肩関節痛
	学習目標・ポイント	肩のスポーツ障害・繰り返し損傷、慢性疼痛等症例検討
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
7	項目	運動性肘関節痛
	学習目標・ポイント	肘のスポーツ障害・亜急性損傷、スポーツ外傷を理解する
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
8	項目	その他臨床で遭遇する上肢の痛み
	学習目標・ポイント	手部のスポーツ障害・機能解剖、慢性疼痛症例検討
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
9	項目	腰椎捻挫および腰痛症①
	学習目標・ポイント	腰部のスポーツ障害・腰部筋膜リリースと筋硬結腰部ヘルニア・脊柱間狭窄・分離症など
	使用する材料	資料3 施術道具一式(クーリング・ジェルパルス・)
	備考	
10	項目	腰椎捻挫および腰痛症②
	学習目標・ポイント	腰部のスポーツ障害・腰部筋膜リリースと筋硬結腰部ヘルニア・脊柱間狭窄・分離症など
	使用する材料	資料3 施術道具一式(クーリング・ジェルパルス・)
	備考	
11	項目	運動性膝関節痛
	学習目標・ポイント	運動性膝関節傷害・過度使用・衝撃などによる膜の歪み
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
12	項目	その他臨床で遭遇する下肢の痛み
	学習目標・ポイント	足部の機能的傷害・血行障害・動脈硬化・成長痛変形など
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
13	項目	スポーツ障害と超音波観察
	学習目標・ポイント	損傷部位の観察と鍼灸治療・損傷部位を観察し治療後の評価をする
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・超音波含む)
	備考	
14	項目	鍼灸治療術まとめ
	学習目標・ポイント	総合臨床術復習とまとめ・臨床家になるための注意と実技審査のポイント
	使用する材料	資料3 施術道具一式(パルス・柔整道具含む)
	備考	
15	項目	実技審査・評価
	学習目標・ポイント	臨床報告と実践・施術を想定させ、臨床能力を判定・評価する
	使用する材料	資料4 施術道具一式(柔整道具は使わない)
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習 I
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	臨床実習 I
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	3年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	治療見学実習を通じ、臨床の基礎学力向上を図る。
到 達 目 標	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする レポート100%で評価を行う等。
成績評価方法及び基準	
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学年内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I 、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰

16 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
17 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
18 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
19 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
20 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
21 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
22 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	
23 項 目	治療見学実習について
学習目標・ポイント	多数の治療見学実習を通じて、患者の診方、治療方法を学び、自身の臨床に活かせるようにする
使用する材料	臨床実習簿
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅱ
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	臨床実習Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床実習を通じ、衛生的で安全な臨床環境を整える方法、医療面接の導入、治療方法など 実際の臨床現場で必要な知識を養う。
到 達 目 標	臨床現場での衛生・安全を考慮した臨床現場の環境を整え、コミュニケーションの取り方を 学び、習得する。
成績評価方法及び基準	レポート100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺 激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激 の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	衛生操作・基礎実技の復習
学習目標・ポイント	臨床現場での衛生操作、基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習、治療見学実習をして臨床に生かせる術を学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
2 項 目	衛生操作・基礎実技の復習
学習目標・ポイント	臨床現場での衛生操作、基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習、治療見学実習をして臨床に生かせる術を学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
3 項 目	医療面接・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接の技法を学び、実際の治療現場で活かせるコミュニケーションの量り方を学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
4 項 目	医療面接・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接の技法を学び、実際の治療現場で活かせるコミュニケーションの量り方を学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
5 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
6 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
7 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
8 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
9 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
10 項 目	医療面接・カルテの書き方・取穴実技・基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習・治療見学実習
学習目標・ポイント	医療面接を行った上でカルテの書き方を学ぶ。その他前回同様
使用する材料	臨床実習簿
備考	
11 項 目	鍼通電療法について
学習目標・ポイント	鍼通電療法を実施することで得られる効果とは、また病態に合わせた治療方法について学ぶ
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
12 項 目	頭皮鍼鍼通電療法
学習目標・ポイント	どのような病態に対し効果が得られるのか、また病態に合わせた治療方法について学ぶ
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
13 項 目	灸頭鍼①
学習目標・ポイント	灸頭鍼の艾炷の作成方法、治療方法を学ぶ
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
14 項 目	灸頭鍼②
学習目標・ポイント	灸頭鍼の艾炷の作成方法、治療方法を学ぶ
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
15 項 目	耳ツボ・美容鍼について
学習目標・ポイント	美容×痛み治療について、また美容鍼・耳ツボを学ぶ
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	

16 項 目	スポーツ鍼灸①
学習目標・ポイント	コミュニケーションの方法と実践、触察について
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
17 項 目	スポーツ鍼灸②
学習目標・ポイント	コミュニケーションの方法と実践、触察について
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
18 項 目	スポーツ鍼灸③
学習目標・ポイント	触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
19 項 目	スポーツ鍼灸②
学習目標・ポイント	触察の実践・鍼灸によるコンディショニング
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
20 項 目	美容鍼灸①
学習目標・ポイント	美容の基本的知識の習得
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
21 項 目	美容鍼灸②
学習目標・ポイント	美容の基本的知識の習得
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
22 項 目	美容鍼灸③
学習目標・ポイント	鍼灸治療と美容の関わりについて
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	
23 項 目	美容鍼灸④
学習目標・ポイント	鍼灸治療と美容の関わりについて
使用する材料	配布プリント、臨床実習簿、実技バッグ
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅲ
担 当 教 員	上野 暁生
科 目 名 (中 項 目)	臨床実習Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	対学生で患者担い、主観的・客観的な観点から鍼灸治療の導入～治療終了までを体験し、臨床能力向上を意図とする
到 達 目 標	患者体験、また婦人科系疾患、末梢神経障害などの概要・鍼灸治療について学び、習得する。
成績評価方法及び基準	レポートで授業態度等で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。
教育・実務業績	上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
	使用する材料	
	備考	
2	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
	使用する材料	
	備考	
3	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
	使用する材料	
	備考	
4	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
	使用する材料	
	備考	
5	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
	使用する材料	
	備考	
6	項目	末梢神経障害について
	学習目標・ポイント	上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
7	項目	末梢神経障害について
	学習目標・ポイント	下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
8	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
9	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
10	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
11	項目	医療面接の復習
	学習目標・ポイント	医療面接の技法、コミュニケーションの図り方について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
12	項目	痛みについて
	学習目標・ポイント	痛みとは何かを理解し、評価方法、診断、治療方法について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
13	項目	病態把握について
	学習目標・ポイント	病態把握をするために必要な知識・勉強方法について
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
14	項目	病態把握検討技法について
	学習目標・ポイント	ある痛みを対象にどのように病態把握をしていくのかを学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
15	項目	病態把握検討技法について
	学習目標・ポイント	ある痛みを対象にどのように病態把握をしていくのかを学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	

16 項 目	模擬臨床実習について
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
17 項 目	模擬臨床実習について
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
18 項 目	模擬臨床実習について
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
19 項 目	模擬臨床実習について
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
20 項 目	模擬臨床実習について
学習目標・ポイント	鍼灸師科3年生の臨床実習を対象に患者役を担うことで、客観的視点を養う
使用する材料	
備考	
21 項 目	末梢神経障害について
学習目標・ポイント	上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
22 項 目	末梢神経障害について
学習目標・ポイント	下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	
23 項 目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実習Ⅳ
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	臨床実習Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	1(45)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	対学生で患者・鍼灸師役をそれぞれ担い、主観的・客観的な観点から鍼灸治療の導入～治療終了までを体験し、臨床能力向上を意図とする
到 達 目 標	臨床能力向上を目的とし、医療面接・徒手検査・病態把握・取穴実技・はりきゅう実技が基準値を超えるようにする。
成績評価方法及び基準	レポート100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰

1	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
	使用する材料	実技バッグ
	備考	
2	項目	カルテ書きについて
	学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
	使用する材料	カルテ、実技バッグ
	備考	
3	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
	使用する材料	実技バッグ
	備考	
4	項目	カルテ書きについて
	学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
	使用する材料	カルテ、実技バッグ
	備考	
5	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
	使用する材料	実技バッグ
	備考	
6	項目	カルテ書きについて
	学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
	使用する材料	カルテ、実技バッグ
	備考	
7	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
	使用する材料	実技バッグ
	備考	
8	項目	カルテ書きについて
	学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
	使用する材料	カルテ、実技バッグ
	備考	
9	項目	模擬臨床実習について
	学習目標・ポイント	鍼灸師科2年生を対象に鍼灸師役を担うことで、(模擬)臨床経験を重ね。臨床能力を養う
	使用する材料	実技バッグ
	備考	
10	項目	カルテ書きについて
	学習目標・ポイント	実際に診た患者を対象にカルテの書き方を学ぶ(現病歴・現症・病態把握・治療方法など)
	使用する材料	カルテ、実技バッグ
	備考	
11	項目	末梢神経障害について
	学習目標・ポイント	上肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
12	項目	末梢神経障害について
	学習目標・ポイント	下肢の末梢神経障害の概要・治療方法について学ぶ
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
13	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
14	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	
15	項目	婦人科系疾患に対する鍼灸治療について
	学習目標・ポイント	婦人科系疾患の概要、コミュニケーションの量り方について、鍼灸実技を学び、習得する
	使用する材料	臨床実習簿、実技バッグ
	備考	

16 項	目	高齢者に対する鍼灸治療①
学習目標・ポイント		高齢化社会における鍼灸師の役割について
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
17 項	目	高齢者に対する鍼灸治療②
学習目標・ポイント		高齢化社会に於ける鍼灸師の役割について、鍼灸実践
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
18 項	目	泌尿器疾患に対する鍼灸治療①
学習目標・ポイント		泌尿器疾患に対する鍼灸治療について(基礎)
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
19 項	目	泌尿器疾患に対する鍼灸治療②
学習目標・ポイント		泌尿器疾患に対する鍼灸治療について(応用)
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
20 項	目	身体触察と治療的応用①
学習目標・ポイント		身体の触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
21 項	目	身体触察と治療的応用②
学習目標・ポイント		身体の触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
22 項	目	身体触察と治療的応用③
学習目標・ポイント		身体の触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		
23 項	目	身体触察と治療的応用④
学習目標・ポイント		身体の触察技術および治療的応用について学ぶ
使用する材料		臨床実習簿、実技バッグ
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	救急救命
担 当 教 員	濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	総合領域 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	救急救命:救急救命:応急処置の方法を学び、その重要性について理解する。
到 達 目 標	救急救命:治療家として、あらゆる状況・場面において人命尊重を第1に考え、速やかに対応できる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1	項目	オリエンテーション
	学習目標・ポイント	授業の概要説明
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命
2	項目	救命救急の必要性・理論・AED
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
3	項目	実技練習
	学習目標・ポイント	胸骨圧迫式心臓マッサージ・人工呼吸が出来る
	使用する材料	配布資料、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスーパー
	備考	救急救命(実技)
4	項目	実技練習
	学習目標・ポイント	AEDの使用法が分かる
	使用する材料	配布資料、練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスーパー
	備考	救急救命(実技)
5	項目	熱中症
	学習目標・ポイント	応急処置の重要性の理解
	使用する材料	配布資料
	備考	救急救命(座学)
6	項目	三角巾の使い方
	学習目標・ポイント	心臓刺激伝導系・運搬理論・止血法・効果判定
	使用する材料	配布資料、三角巾
	備考	救急救命(実技)
7	項目	実技評価
	学習目標・ポイント	効果判定
	使用する材料	練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスーパー・スキルレポーター
	備考	救急救命
8	項目	実技評価
	学習目標・ポイント	効果判定
	使用する材料	練習用AED、心肺蘇生練習用人形、消毒綿花・フェイスーパー・スキルレポーター
	備考	救急救命
9	項目	解剖演習
	学習目標・ポイント	1年次の解剖学の総復習を行う
	使用する材料	解剖学教科書
	備考	
10	項目	解剖演習
	学習目標・ポイント	1年次の解剖学の総復習を行う
	使用する材料	解剖学教科書
	備考	
11	項目	解剖演習
	学習目標・ポイント	1年次の解剖学の総復習を行う
	使用する材料	解剖学教科書
	備考	
12	項目	生理学演習
	学習目標・ポイント	1年次の生理学の総復習を行う
	使用する材料	生理学教科書
	備考	
13	項目	生理学演習
	学習目標・ポイント	1年次の生理学の総復習を行う
	使用する材料	生理学教科書
	備考	
14	項目	生理学演習
	学習目標・ポイント	1年次の生理学の総復習を行う
	使用する材料	生理学教科書
	備考	
15	項目	東洋医学概論演習
	学習目標・ポイント	1年次の東洋医学概論の総復習を行う。
	使用する材料	東洋医学概論教科書
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅵ
担 当 教 員	濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	総合領域Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	ニーズの高い美容鍼灸、スポーツ領域鍼灸での理論・施術法・注意点を学び 卒後幅広い領域の患者対応ができる臨床力を身につける。
到 達 目 標	美容鍼灸の施術の流れと手技を身につける。 筋腱移行部への刺鍼が出来る。
成績評価方法及び基準	①出席日数 各3点、授業態度3点 × 授業回数15回(90点) 加点方式 ②実技試験 ①+②÷2+10点=成績
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。 実技試験欠席(公欠省く)のものに関しては、再試は実施しない。 授業態度:授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	濱田さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍 【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。

1 項 目	ガイダンス
学習目標・ポイント	美容鍼とは、刺鍼練習セルフ
使用する材料	配布資料
備考	美容鍼灸
2 項 目	皮膚の構造について
学習目標・ポイント	顔評価、刺鍼練習
使用する材料	配布資料
備考	美容鍼灸
3 項 目	リスク管理
学習目標・ポイント	同意書、カウンセリング、顔評価、刺鍼練習
使用する材料	配布資料
備考	美容鍼灸
4 項 目	①ブレ施術、タオルワーク、頭部への施術
学習目標・ポイント	施術効果を高める導入、患者満足度につながるタオルワーク
使用する材料	バスタオルを余分に持参させる
備考	美容鍼灸
5 項 目	②ブレ施術、タオルワーク、頭部への施術
学習目標・ポイント	施術効果を高める導入、患者満足度につながるタオルワーク
使用する材料	バスタオルを余分に持参させる
備考	美容鍼灸
6 項 目	①東洋医学と美容
学習目標・ポイント	全身への治療法、練習
使用する材料	鍼
備考	美容鍼灸
7 項 目	②東洋医学と美容
学習目標・ポイント	全身への治療法、練習
使用する材料	鍼
備考	美容鍼灸
8 項 目	個別の肌悩み、くま、しわ 頭部への施術①
学習目標・ポイント	しみ、くまへの対応
使用する材料	鍼 パイオネックス
備考	美容鍼灸
9 項 目	個別の肌悩み、各種しわへの対応 頭部への施術②
学習目標・ポイント	
使用する材料	鍼 パイオネックス
備考	美容鍼灸
10 項 目	通し練習①
学習目標・ポイント	導入、頭部への施術、全身の施術
使用する材料	鍼 パイオネックス
備考	
11 項 目	通し練習②
学習目標・ポイント	導入、頭部への施術、全身の施術
使用する材料	鍼 パイオネックス
備考	
12 項 目	評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
13 項 目	スポーツ1 肉離れ
学習目標・ポイント	スポーツ鍼灸の目的 鍼通電
使用する材料	鍼
備考	
14 項 目	スポーツ2 足関節捻挫
学習目標・ポイント	足関節の構造
使用する材料	鍼
備考	
15 項 目	スポーツ3 局所別施術
学習目標・ポイント	足底アーチの構造 運動鍼
使用する材料	鍼
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技演習
担 当 教 員	佐原 俊作、西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	1.医療人として相応しい態度を身に付ける。 2.鍼灸の安全性に対する正しい知識を身につける。 3.鍼灸の基本的な手技を学ぶ。
到 達 目 標	安全かつ衛生的な鍼灸施術ができるようになる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 11試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術 西浦 絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講

1	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
2	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
3	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
4	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
5	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
6	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
7	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
8	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
9	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
10	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
11	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
12	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
13	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
14	項目	基礎実技Ⅰ・Ⅱの復習
	学習目標・ポイント	基礎実技で学んだ内容を身に付ける
	使用する材料	施術道具一式、基礎実技Ⅰ・Ⅱ授業資料
	備考	基礎実技Ⅰ・Ⅱ シラバス参照
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

16 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
17 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
18 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
19 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
20 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
21 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
22 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
23 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
24 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
25 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
26 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
27 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
28 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
29 項	目	基礎実技Ⅲ・Ⅳの復習
学習目標・ポイント		基礎実技で学んだ内容を身に付ける
使用する材料		施術道具一式、基礎実技Ⅲ・Ⅳ授業資料
備考		基礎実技Ⅲ・Ⅳ シラバス参照
30 項	目	評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎科目演習
担 当 教 員	上野・内野・迫
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	前期:解剖・生理・東概の小テスト・問題演習を行い理解を深める。 後期:解剖・生理・東臨・経穴の小テスト・問題演習を行い理解を深める。
到 達 目 標	解剖・生理・東概・東臨・経穴の1年次履修範囲の理解をする。
成績評価方法及び基準	授業内にて各先生が行う小テストの点数、各先生毎に配布される課題、出席率にて評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	氏名:内野 容子 【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部、顔面・舌の痛みや麻痺に対する鍼灸治療を行う。 氏名:上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習 氏名:迫 宏典 【職歴】 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) 【学会発表】 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」 【研究歴】 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) 【業 績】 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	東洋医学概論 演習①
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
2 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学①
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
3 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	ニューロンの構造および神経線維の伝導、シナプス伝達の仕組みについて理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
4 項 目	東洋医学概論 演習②
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
5 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学②
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
6 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	中枢神経(大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
7 項 目	東洋医学概論 演習③
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
8 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学③
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
9 項 目	動物生理Ⅰで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	末梢神経(自律神経・脳神経・脊髄神経)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
10 項 目	東洋医学概論 演習④
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
11 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学④
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
12 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
13 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
14 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑤
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
15 項 目	解剖、生理、東概で学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	解剖、生理、東概で学んだ内容について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用

16 項 目	東洋医学概論 演習 経絡経穴概論 演習①
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
17 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑥
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
18 項 目	動物生理Ⅱで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	運動調節(脊髄反射のメカニズム)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
19 項 目	東洋医学概論 演習 経絡経穴概論 演習②
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
20 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑦
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
21 項 目	動物生理Ⅱで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	運動調節(脳幹反射のメカニズム、錐体路・錐体外路系)について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
22 項 目	東洋医学概論 演習 経絡経穴概論 演習③
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
23 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑧
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
24 項 目	動物生理Ⅱで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	体温調節の仕組みについて理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
25 項 目	東洋医学概論 演習 経絡経穴概論 演習④
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
26 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑨
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
27 項 目	動物生理Ⅱで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	腎臓の働き、尿生成、体液の調節について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用
28 項 目	東洋医学概論 演習 経絡経穴概論 演習⑤
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、東洋医学概論の知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
29 項 目	解剖学演習 内臓学Ⅰ・骨学・筋学⑩(総まとめ; 評価試験)
学習目標・ポイント	国家試験問題を解き、出題傾向や問題難易度の把握、解剖学知識を確認する。
使用する材料	教科書、プリント(配布)
備考	
30 項 目	動物生理Ⅱで学んだ内容の演習問題を行う。
学習目標・ポイント	感覚の一般的性質、各種感覚について理解する。
使用する材料	プリント配布
備考	教科書、PC、PJを使用

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I C
担 当 教 員	迫 宏典 / 芦 沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸治療およびその他患者のケアに関わる技術の知識、技術の習得を目標とする。
到 達 目 標	・各講義内容(アロマ・レーザー鍼治療など)を理解し、実践できる。 ・鍼灸治療に使われる医療器具、その他備品について製造や構造について見識を深める。
成績評価方法及び基準	授業出席および授業態度、実力試験の成績から総合的に判断する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	患者のケアを目的としてできることを考えた場合、鍼灸治療はもちろんのこと、アロマテラピーなど付随するものはたくさんあります。鍼灸治療はできて当たり前(国家資格を持っている)の中で、その他のスペシャリティを持っておくことはとても大切です。また、一言に鍼灸治療と言っても治療技術もさまざまあり、知っていれば知っているほど患者を治すツールが増えていきます。授業を機に、貪欲に
教育・実務業績	<p>【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」</p> <p>[研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰</p> <p>【芦沼 由規】 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる</p> <p>担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技 I 担当 2015年度～2016年度:基礎実技 II 担当 2017年度～2019年度:臨床実技 I 担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者</p>

1	項目	アロマセラピー①
	学習目標・ポイント	精油の基礎知識、アロマセラピーのメカニズムを理解する。
	使用する材料	紙コップ、お湯、精油
	備考	
2	項目	アロマセラピー②
	学習目標・ポイント	精油の薬理作用、安全のための注意
	使用する材料	天然塩、チャック袋、精油
	備考	
3	項目	アロマセラピー③
	学習目標・ポイント	アロマセラピーの歴史
	使用する材料	無水エタノール、精製水、スプレー容器、精油
	備考	
4	項目	アロマセラピー④
	学習目標・ポイント	アロマセラピーと健康学
	使用する材料	
	備考	
5	項目	アロマセラピー⑤
	学習目標・ポイント	アロマセラピーに関する法律
	使用する材料	
	備考	
6	項目	アロマセラピー⑥
	学習目標・ポイント	アロマセラピーと環境香りテストと濃度計算
	使用する材料	植物油、点眼容器、精油
	備考	
7	項目	アロマセラピー⑦
	学習目標・ポイント	実習(吸入、バスソルト)
	使用する材料	
	備考	
8	項目	アロマセラピー⑧
	学習目標・ポイント	実習(ルームスプレー、マッサージオイル)
	使用する材料	
	備考	
9	項目	アロマハンドトリートメントについて⑨
	学習目標・ポイント	アロマハンドトリートメントの意義および活動範囲について知る。
	使用する材料	
	備考	
10	項目	アロマハンドトリートメントの準備と確認⑩
	学習目標・ポイント	アロマハンドトリートメントを実践するための準備ができる。
	使用する材料	
	備考	
11	項目	アロマハンドトリートメントの実践⑪
	学習目標・ポイント	トリートメントオイルの作成手順を知る。
	使用する材料	
	備考	
12	項目	アロマハンドトリートメントの実践⑫
	学習目標・ポイント	アロマハンドトリートメントを実践できる。
	使用する材料	
	備考	
13	項目	鍼灸物品の製造に関して①
	学習目標・ポイント	鍼の製造過程について説明し、鍼への関心を高める。
	使用する材料	
	備考	
14	項目	鍼灸物品の製造に関して②
	学習目標・ポイント	灸の製造過程について説明し、灸への関心を高める。
	使用する材料	
	備考	
15	項目	特殊な鍼灸治療技術
	学習目標・ポイント	レーザー治療について学び、さまざま治療方法があることを知る。
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I D
担 当 教 員	迫 宏典 / 芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・各期講義授業範囲の習熟度を確保する。実力試験では特に、習熟度を客観的に自己評価し、苦手分野の抽出および修正を目的とする。 ・実技授業(はり・きゅう・経営)では、鍼灸技術の向上だけでなく、治療院開業に向け経営について学
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・前期／後期における授業内容の理解を目的とする。 ・鍼灸治療への関心および学習への向上心を持ち、学業に集中できるようにする。
成績評価方法及び基準	授業出席および授業態度、実力試験の成績から総合的に判断する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	講義科目および実技科目の各期範囲までの習熟度を確保します。 現在までの習熟度を確保し、客観的に自己評価してください。苦手分野の抽出や修正を行ってください。
教育・実務業績	<p>【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」</p> <p>[研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰</p> <p>【芦沼 由規】 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学附属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技 I 担当 2015年度～2016年度:基礎実技 II 担当 2017年度～2019年度:臨床実技 I 担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者</p>

1 項 目	実技(はり実技)①
学習目標・ポイント	基礎実技(両手挿管・片手挿管、押手、刺手)の確認
使用する材料	鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ配布資料
備考	
2 項 目	実技(はり実技)②
学習目標・ポイント	基礎実技(刺入技術)の確認、人体へ刺入する練習
使用する材料	鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ配布資料
備考	
3 項 目	実技(はり実技)③・実技(きゅう実技)①
学習目標・ポイント	人体へ刺入する練習、基礎実技(艾炷作成)の確認
使用する材料	鍼灸道具一式・基礎実技Ⅰ・Ⅱ配布資料
備考	
4 項 目	実技(きゅう実技)②
学習目標・ポイント	基礎実技(艾炷作成)の確認、灸の種類紹介
使用する材料	鍼灸道具一式・基礎実技Ⅱ配布資料
備考	
5 項 目	実技(きゅう実技)③
学習目標・ポイント	人体へ施灸する練習
使用する材料	鍼灸道具一式・基礎実技Ⅱ配布資料
備考	
6 項 目	実技(治療院経営について)①
学習目標・ポイント	雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料	
備考	
7 項 目	実技(治療院経営について)②
学習目標・ポイント	雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料	
備考	
8 項 目	実技(治療院経営について)③
学習目標・ポイント	雅祭でのクラス取纏めや模擬店運営などから開業に向け、経営について学ぶ。
使用する材料	
備考	
9 項 目	実力試験①(前半)
学習目標・ポイント	前期授業範囲(解剖・生理) 60問
使用する材料	
備考	
10 項 目	実力試験①(後半)
学習目標・ポイント	前期授業範囲(東洋医学概論・はりきゅう理論) 60問
使用する材料	
備考	
11 項 目	実力試験②(前半)
学習目標・ポイント	後期授業範囲(解剖・生理・東洋医学概論) 60問
使用する材料	
備考	
12 項 目	実力試験②(後半)
学習目標・ポイント	後期授業範囲(経絡経穴概論・東洋医学臨床論・はりきゅう理論) 60問
使用する材料	
備考	
13 項 目	学術研究①
学習目標・ポイント	学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料	
備考	
14 項 目	学術研究②
学習目標・ポイント	学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料	
備考	
15 項 目	学術研究③
学習目標・ポイント	学術大会に参加し、エビデンスに基づく鍼灸治療の実際を知る。また、大会から鍼灸に対する探求心を育み、鍼灸について深く知る機会としたい。
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I E
担 当 教 員	迫 宏典 / 芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	基礎医学である解剖学(神経学・脈管学・内臓学)の知識を確認することを目的に、国家試験に向けて問題演習を行い、問題を解くことになれる。
到 達 目 標	・後期解剖学的知識の定着(神経学・脈管学・内臓学) ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	解剖学は基礎医学です。“基礎”ということは、すべての医学の基礎であり、すべての科目に関わります。国家試験では、解剖学としての出題数が11問と非常に少ないですが、他の科目では解剖学的知識を基礎として問題が問われることが多々あります。 前期・後期の段階で躓いたまま学校生活を続けられれば、最後につけが回ってきます。つまり、3年生で大変なことになります。苦手であっても理解しようとする努力は続けてください。
教育・実務業績	<p>【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」</p> <p>[研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰</p> <p>【芦沼 由規】 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会</p> <p>研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生</p> <p>臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる</p> <p>担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技 I 担当 2015年度～2016年度:基礎実技 II 担当 2017年度～2019年度:臨床実技 I 担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者</p>

1 項 目	解剖学(神経学)①
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	解剖学(神経学)②
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	解剖学(神経学)③
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	解剖学(神経学)④
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 神経学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	解剖学(神経学)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	解剖学(脈管学)①
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	解剖学(脈管学)②
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	解剖学(脈管学)③
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	解剖学(脈管学)④
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 脈管学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	解剖学(脈管学)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	解剖学(内臓)①
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
12 項 目	解剖学(内臓)②
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
13 項 目	解剖学(内臓)③
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
14 項 目	解剖学(内臓)④
学習目標・ポイント	後期内容(解剖学 内臓学)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
15 項 目	解剖学(内臓)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I F
担 当 教 員	迫 宏典 / 芦沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸治療に関わる東洋医学の基礎知識の定着を目的とする。
到 達 目 標	・前期／後期の東洋医学的知識の定着 ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	鍼灸に関わる東洋医学は、西洋医学という解剖・生理と同様に非常に大切な理論であり、治療の際に必ず必要となる基礎知識です。 国家試験の科目配点も非常に高い科目です。諦めずに頑張りましょう。
教 育 ・ 実 務 業 績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰 【芦沼 由規】 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技Ⅰ担当 2015年度～2016年度:基礎実技Ⅱ担当 2017年度～2019年度:臨床実技Ⅰ担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者

1 項 目	東洋医学概論①
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料 備 考	
2 項 目	東洋医学概論②
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料 備 考	
3 項 目	東洋医学概論③
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料 備 考	
4 項 目	東洋医学概論④
学習目標・ポイント	前期／後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料 備 考	
5 項 目	東洋医学概論⑤
学習目標・ポイント	前期／後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料 備 考	
6 項 目	東洋医学臨床論①
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
7 項 目	東洋医学臨床論②
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
8 項 目	東洋医学臨床論③
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
9 項 目	東洋医学臨床論④
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
10 項 目	東洋医学臨床論⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料 備 考	
11 項 目	経絡経穴概論①
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
12 項 目	経絡経穴概論②
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
13 項 目	経絡経穴概論③
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
14 項 目	経絡経穴概論④
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	
15 項 目	経絡経穴概論⑤
学習目標・ポイント	後期内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。(1年後期終了時点での範囲)
使用する材料 備 考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目 I G
担 当 教 員	迫 宏典 / 芦 沼 由規
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目 I
単 位 数 (時 間 数)	7(210)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	基礎医学である生理学の知識を確認することを目的に、国家試験に向けて問題演習を行い、問題を解くことになれる。また、理解する。
到 達 目 標	・後期生理学的知識の定着 ・国家試験過去問を解けること、また、理解できること ・鍼灸により関心を持てるようにすること。また、エビデンスに基づく治療ができること。
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期授業内試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期授業内再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	生理学は基礎医学です。“基礎”ということは、すべての医学の基礎であり、すべての科目に関わります。国家試験では、生理学としての出題数が11問と非常に少ないですが、他の科目では生理学的知識を基礎として問題が問われることが多々あります。特に、臨床医学各論など配点の高い科目で必要となります。 前期・後期の段階で躓いたまま学校生活を続ければ、最後につけが回ってきます。つまり、3年生で
教育・実務業績	【迫 宏典】 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I など) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技 I、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年度 大阪府私学教育功労者表彰 【芦 沼 由規】 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学専攻 外科系臨床鍼灸学講座(脳外科系所属) 慢性疼痛、線維筋痛症の患者を対象とした臨床研究 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 PTSD患者対象の臨床研究 学会発表 2013年度:慢性疼痛学会、全日本鍼灸学会、線維筋痛症学会、日本統合医療学会 2014年度:線維筋痛症学会、全日本鍼灸学会 2015年度:全日本鍼灸学会 2016年度:全日本鍼灸学会 2017年度:全日本鍼灸学会 2018年度:全日本鍼灸学会 研修生 2018年度:明治国際医療大学臨床指導生 臨床経験 明治国際医療大学附属鍼灸センター 明治国際医療大学付属病院(脳外科外来・病棟) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学寄附講座 平成医療学園附属鍼灸接骨院にて慢性疼痛患者を中心に治療に携わる 担当授業 2015年度～2019年度:基礎実技 I 担当 2015年度～2016年度:基礎実技 II 担当 2017年度～2019年度:臨床実技 I 担当 2015年度～2020年度:臨床実習 2020年度:治療実習前評価担当 2018年度～臨床実習担当者

1 項 目	生理学(植物生理)①
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	生理学(植物生理)②
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	生理学(植物生理)③
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	生理学(植物生理)④
学習目標・ポイント	後期内容(植物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	生理学(植物生理)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	生理学(動物生理)①
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	生理学(動物生理)②
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	生理学(動物生理)③
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	生理学(動物生理)④
学習目標・ポイント	後期内容(動物生理)の内容を復習し、国家試験過去問を解く。併せて解説を行い、苦手な部分の抽出および克服を目標とする。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	生理学(動物生理)⑤
学習目標・ポイント	後期内容および授業内容の習熟度を確認する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
11 項 目	基礎医学知識の確認(解剖・生理)
学習目標・ポイント	後期までの医学的知識について確認し、学習方法の確認、修正を目的とする。
使用する材料	
備考	
12 項 目	基礎医学知識の確認(解剖・生理)
学習目標・ポイント	後期までの医学的知識について確認し、学習方法の確認、修正を目的とする。
使用する材料	
備考	
13 項 目	鍼灸に関わる知識の集積①
学習目標・ポイント	鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使用する材料	
備考	
14 項 目	鍼灸に関わる知識の集積②
学習目標・ポイント	鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使用する材料	
備考	
15 項 目	鍼灸に関わる知識の集積③
学習目標・ポイント	鍼灸への興味を引き出し、エビデンスに基づく鍼灸研究および治療のあり方について学ぶ。
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡA
担 当 教 員	西浦絵美 / 佐原俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	生命徴候(バイタルサイン)の診察
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
2	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	全身の診察
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
3	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	局所の診察
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
4	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	神経系の診察
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
5	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	運動機能検査
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
6	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	臨床検査法
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
7	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	おもな症状の診察法
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
8	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	感染症
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
9	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	消化器疾患、肝・胆・膵疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
10	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	呼吸器疾患、腎・尿器疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
11	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	内分泌疾患、代謝栄養疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
12	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	整形外科疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
13	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	循環器疾患、血液・造血器疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
14	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	神経疾患
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	
15	項目	臨床医学演習
	学習目標・ポイント	リウマチ性疾患・膠原病
	使用する材料	臨床医学総論/臨床医学各論 教科書
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡB
担 当 教 員	西浦絵美 / 佐原俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	教員指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	① 自らの研究テーマを立案する・班員と意見交換ができる。 ② 文献等の検索、収集を実践できる。 ③ 情報を吟味し、必要なものを選択することができる。 ④ 適切な研究計画を作成することができる。 ⑤ 研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥ 目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章家することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 出席で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1 項 目	研究ガイダンス①
学習目標・ポイント	卒業論文作成までの流れを知る。研究テーマについて班員と意見交換を行い、様々な意見を知る。
使用する材料	
備考	研究班の発表、班長の決定を行う。
2 項 目	研究ガイダンス②
学習目標・ポイント	研究テーマについて意見交換を行い、様々な意見を知る。研究テーマ(概要)を決定する。
使用する材料	
備考	
3 項 目	研究テーマに関する情報収集①
学習目標・ポイント	問題提起から研究方針を絞る。
使用する材料	
備考	
4 項 目	研究方針・プロトコルの考案①
学習目標・ポイント	研究の実施に関する手順を知る。
使用する材料	
備考	
5 項 目	研究方針・プロトコルの考案②
学習目標・ポイント	研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料	
備考	
6 項 目	研究方針・プロトコルの考案③
学習目標・ポイント	研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料	
備考	
7 項 目	研究方針・プロトコルの考案④
学習目標・ポイント	研究方針から目的・方法を考える。
使用する材料	
備考	
8 項 目	研究の実施①
学習目標・ポイント	考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料	
備考	
9 項 目	研究の実施②
学習目標・ポイント	考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料	
備考	
10 項 目	研究の実施③
学習目標・ポイント	考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料	
備考	
11 項 目	研究の実施④
学習目標・ポイント	考えた目的・方法を元に研究を実施する。
使用する材料	
備考	
12 項 目	実験結果のまとめ
学習目標・ポイント	実験から得られたデータをまとめる。
使用する材料	
備考	
13 項 目	実験結果の考察
学習目標・ポイント	実験から得られたデータから考察できることを挙げる。また、班員同士で意見交換を行う。
使用する材料	
備考	
14 項 目	発表資料の作成①
学習目標・ポイント	抄録と発表資料を作成する。
使用する材料	
備考	
15 項 目	発表資料の作成②
学習目標・ポイント	抄録と発表資料を作成する。
使用する材料	
備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡC
担 当 教 員	西浦絵美 / 佐原俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	鍼灸臨床に関わるその他の医療知識を養う。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	アロマテラピー①
	学習目標・ポイント	精油の基礎知識、アロマテラピーのメカニズムを理解する。
	使用する材料	
	備考	
2	項目	アロマテラピー②
	学習目標・ポイント	精油の薬理作用、安全のための注意
	使用する材料	
	備考	
3	項目	アロマテラピー③
	学習目標・ポイント	アロマテラピーの歴史
	使用する材料	
	備考	
4	項目	アロマテラピー④
	学習目標・ポイント	アロマテラピーの健康学
	使用する材料	
	備考	
5	項目	アロマテラピー⑤
	学習目標・ポイント	アロマテラピーに関する法律
	使用する材料	
	備考	
6	項目	アロマテラピー⑥
	学習目標・ポイント	アロマテラピーと環境香りテストと濃度計算
	使用する材料	
	備考	
7	項目	アロマテラピー⑦
	学習目標・ポイント	実習(吸入、バスソルト)
	使用する材料	
	備考	
8	項目	アロマテラピー⑧
	学習目標・ポイント	実習(ルームスプレー、マッサージオイル)
	使用する材料	
	備考	
9	項目	系統的な痛み教育①
	学習目標・ポイント	痛みのメカニズム、病態時の痛みの機序
	使用する材料	
	備考	
10	項目	系統的な痛み教育②
	学習目標・ポイント	各組織の痛み、その他の痛みと要因
	使用する材料	
	備考	
11	項目	系統的な痛み教育③
	学習目標・ポイント	鎮痛機序
	使用する材料	
	備考	
12	項目	系統的な痛み教育④
	学習目標・ポイント	問診と検査
	使用する材料	
	備考	
13	項目	系統的な痛み教育⑤
	学習目標・ポイント	各部位の診断
	使用する材料	
	備考	
14	項目	医療面接①
	学習目標・ポイント	医療面接とは(コミュニケーション、身だしなみ、技法、質問法)
	使用する材料	
	備考	
15	項目	医療面接②
	学習目標・ポイント	カルテの書き方(S.O.A.P形式を用いて)
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡD
担 当 教 員	西浦絵美 / 佐原俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要・目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	肝の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
2	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	胆の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
3	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	心の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
4	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	小腸の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
5	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	脾の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
6	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	胃の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
7	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	肺の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
8	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	大腸の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
9	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	腎の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
10	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	膀胱の生理と病理、病証
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
11	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	心・脾・肝の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
12	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	心・肺・脾の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
13	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	肺・脾・腎の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
14	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	脾・肝・腎の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書
	備考	
15	項目	東洋医学演習
	学習目標・ポイント	肺・脾・肝の相互関係
	使用する材料	東洋医学概論・東洋医学臨床論 教科書

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅡE
担 当 教 員	西浦絵美 / 佐原俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	1年生、2年生で習った内容の復習を中心に行う。 来年度の国家試験に向けて基礎的な内容の理解を深める。
到 達 目 標	国家試験問題を参考に演習を行い、基礎的な内容の確認を行う。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	西浦絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講 佐原俊作 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術 2021年4月～現在 : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項目	阪大解剖見学実習①
	学習目標・ポイント	実習を通して人体の構造を理解する。
	使用する材料	
	備考	
2	項目	阪大解剖見学実習②
	学習目標・ポイント	実習を通して人体の構造を理解する。
	使用する材料	
	備考	
3	項目	阪大解剖見学実習③
	学習目標・ポイント	実習を通して人体の構造を理解する。
	使用する材料	
	備考	
4	項目	第1回実力試験(前半)
	学習目標・ポイント	現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
	使用する材料	
	備考	
5	項目	第1回実力試験(後半)
	学習目標・ポイント	現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
	使用する材料	
	備考	
6	項目	解剖学演習①
	学習目標・ポイント	解剖学(筋・骨)
	使用する材料	
	備考	
7	項目	解剖学演習②
	学習目標・ポイント	解剖学(内臓)
	使用する材料	
	備考	
8	項目	解剖学演習③
	学習目標・ポイント	解剖学(内臓)
	使用する材料	
	備考	
9	項目	解剖学演習④
	学習目標・ポイント	解剖学(脈管・神経)
	使用する材料	
	備考	
10	項目	生理学演習①
	学習目標・ポイント	生理学の基礎、血液の組成と働き
	使用する材料	
	備考	
11	項目	生理学演習②
	学習目標・ポイント	呼吸、消化と吸収
	使用する材料	
	備考	
12	項目	生理学演習③
	学習目標・ポイント	代謝、神経
	使用する材料	
	備考	
13	項目	生理学演習④
	学習目標・ポイント	神経、筋
	使用する材料	
	備考	
14	項目	第2回実力試験(前半)
	学習目標・ポイント	現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
	使用する材料	
	備考	
15	項目	第2回実力試験(後半)
	学習目標・ポイント	現在までの各科目の習熟度を測るとともに、今後の勉強方法について考え、計画を立てる。
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢA
担 当 教 員	迫 宏典
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	単元ごとに主要な疾患の病理・症状・診断・治療について、要点をまとめて解説する。国家試験問題で問われやすいポイント、症例問題の出題傾向を理解する。
到 達 目 標	臨床的に重要な疾患の概要を理解する。その病理、症状、診断方法、治療法がわかる。鍼灸・あんま・柔整・看護師などの国家試験過去問題を重点的に学習し、解くことができる。
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期単位認定試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期単位認定再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期単位認定追試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	外科学・整形外科学は国家試験科目の臨床医学各論に含まれる内容である。国家試験科目の配点割合も大きく、重要な科目となる。また、東洋医学臨床論の運動器系疾患に関する問題と関わる部分も出てくるため、理解を深めておく必要がある。 外科学・整形外科学では運動器系疾患を対象とする科目であるため、解剖学(特に、筋学・骨学・脈管学・神経学)については予習および復習を行い、理解をした上で講義に挑むことを薦める。 本科目では、麻酔科学(総論)に関する内容も含むため、生理学についても予習・復習を行うことを
教育・実務業績	[職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰

1 項 目	内分泌疾患①
学習目標・ポイント	内分泌の作用機序について生理学的に確認し、内分泌疾患の発生と病態を理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
2 項 目	内分泌疾患②
学習目標・ポイント	各種内分泌疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
3 項 目	代謝性疾患
学習目標・ポイント	糖尿病、高尿酸血症などの各種代謝性疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
4 項 目	循環器疾患①
学習目標・ポイント	心不全、先天性心奇形、心弁膜障害などの循環器疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
5 項 目	循環器疾患②
学習目標・ポイント	冠動脈疾患、大動脈解離、各種血管炎などの循環器疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
6 項 目	血液疾患①
学習目標・ポイント	各種貧血、紫斑病、血友病などの血液疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
7 項 目	血液疾患②
学習目標・ポイント	白血病その他のリンパ系疾患について理解する。
使用する材料	教科書、プリント
備考	
8 項 目	その他の領域(耳鼻科疾患・眼科疾患)
学習目標・ポイント	耳鼻科疾患(前庭神経障害など)、眼科疾患(白内障、緑内障など)
使用する材料	教科書、プリント
備考	
9 項 目	その他の領域(婦人科疾患・精神疾患)
学習目標・ポイント	婦人科疾患(乳癌、子宮癌など)、精神疾患(統合失調症、双極性障害、適応障害など)
使用する材料	教科書、プリント
備考	
10 項 目	総復習および評価
学習目標・ポイント	授業内試験
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢB
担 当 教 員	増崎 太希
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験対策として、国家試験に多く出題される東臨の基礎知識や理論に関して、過去問題によく出題される内容を過去問を中心に解説していく。
到 達 目 標	国試対策授業のため、国試によく出題される問題を中心に8～9割を取れるようにする。
成績評価方法及び基準	授業内評価で行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	前期の科目で行えなかった分野を中心に、講義、問題解説を行う。 【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	増崎 太希 2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。

1	項目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
2	項目	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
3	項目	上肢痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	上肢痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
4	項目	上肢痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	上肢痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
5	項目	腰下肢痛、膝痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	腰下肢痛、膝痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
6	項目	腰下肢痛、膝痛(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	腰下肢痛、膝痛についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
7	項目	運動麻痺(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	運動麻痺についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
8	項目	運動麻痺(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	運動麻痺についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
9	項目	スポーツ障害、老年医学(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	スポーツ障害、老年医学についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
10	項目	スポーツ障害、老年医学(西洋医学中心)
	学習目標・ポイント	スポーツ障害、老年医学についての病態把握、弁証論治、治療法を国家試験問題を用いながら復習
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢC
担 当 教 員	上野 暁生 / 西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験対策として、国家試験に出題される東洋医学概論・臨床医学総論の基礎知識や理論に関して、過去問題によく出題される内容を過去問を中心に解説していく。
到 達 目 標	国試対策授業のため、国試によく出題される問題を中心に8～9割を取れるようにする。
成績評価方法及び基準	授業内評価で行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	前期の科目で行えなかった分野を中心に、講義、問題解説を行う。 【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習 西浦 絵美 2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講

1 項	目	臓腑経絡論, 経脈病証, 奇形八脈病証, 六経病証
学習目標・ポイント		経絡の流れを考えながら、どのような症状がでるかを理解。臓腑経絡論, 経脈病証, 奇形八脈病証, 六経病証の問題演習・解説、気血津液の病証を覚える。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	病因論(内因、外因、不内外因)
学習目標・ポイント		内因、外因、不内外因の特徴を理解。内因、外因、不内外因の問題演習・解説。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	病理と病証(八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①)
学習目標・ポイント		八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	病理と病証(八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証①)
学習目標・ポイント		八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証を覚える。八綱病証、気血津液の病理病証、五臓六腑の病理病証の問題演習・解説。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	病理と病証(五臓六腑の病理病証②)、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証)
学習目標・ポイント		五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証を覚える。五臓六腑の病理病証、経脈病証、奇形八脈病証、六経病証の問題演習・解説。
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	第6章 神経系の診察
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
7 項	目	第6章 神経系の診察 第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
8 項	目	第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
9 項	目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		
10 項	目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント		国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料		配布プリント
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢD
担 当 教 員	増崎 太希/濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	現場での実際の保険請求の方法や医療制度について学ぶ。
到 達 目 標	卒業後に現場に出た際に、自ら行えるように知識を深める。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>増崎 太希 2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施)</p> <p>2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。</p> <p>濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍</p> <p>【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。</p>

1	項目	医療制度について
	学習目標・ポイント	現在の医療制度について過去の成り立ちから学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
2	項目	医療制度について
	学習目標・ポイント	現在の医療制度について過去の成り立ちから学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
3	項目	保険制度について(全体)
	学習目標・ポイント	医療全般の保険制度について学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
4	項目	保険制度について(全体)
	学習目標・ポイント	医療全般の保険制度について学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
5	項目	保険制度について(柔道整復師・鍼灸師)
	学習目標・ポイント	柔道整復師・鍼灸師の保険制度について学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
6	項目	鍼灸師の療養費について
	学習目標・ポイント	鍼灸師での療養費の内容や適応疾患について学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
7	項目	鍼灸師の療養費について(Q&Aについて)
	学習目標・ポイント	鍼灸師での療養費について一般的なQ&Aについて学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
8	項目	鍼灸師の療養費の申請方法について
	学習目標・ポイント	実際に鍼灸の申請方法について学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	
9	項目	鍼灸師の療養費の申請方法について(実践)
	学習目標・ポイント	パソコンを使用し、実際にどのように申請を行うのかを行う
	使用する材料	テキスト、パソコン
	備考	
10	項目	これまでの症例について
	学習目標・ポイント	これまで行われた、不正の例を中心に学ぶ
	使用する材料	プリント
	備考	

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	統合教育科目ⅢE
担 当 教 員	増崎 太希/濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	5(100)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	本校で作成したオリジナル問題を中心に問題演習を行う。
到 達 目 標	他の授業では過去問を中心に行っているが、国家試験では新しい問題も出題されるため応用力を養うためにオリジナルの問題に取り組み実力を測る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 授業内評価を100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>増崎 太希 2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施)</p> <p>2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。</p> <p>濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍</p> <p>【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。</p>

1 項 目	第1回 オリジナル国家試験(前半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
2 項 目	第1回 オリジナル国家試験(後半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
3 項 目	第2回 オリジナル国家試験(前半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
4 項 目	第2回 オリジナル国家試験(後半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
5 項 目	第3回 オリジナル国家試験(前半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
6 項 目	第3回 オリジナル国家試験(後半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
7 項 目	第4回 オリジナル国家試験(前半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
8 項 目	第4回 オリジナル国家試験(後半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
9 項 目	第5回 オリジナル国家試験(前半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	
10 項 目	第5回 オリジナル国家試験(後半)
学習目標・ポイント	オリジナル問題を解くことで自らの理解度を確認する。
使用する材料	プリント、解説用の資料
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(解剖)
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験に向けて、解剖学の知識の再確認、知識の定着をおこなう。
到 達 目 標	解剖学を理解し、問題を解くことができるようになる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当</p> <p>実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術</p>

1 項	目	循環器系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	循環器系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	呼吸器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	消化器系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	消化器系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	泌尿器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	生殖器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	内分泌系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	神経系(1)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	神経系(2)
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	感覚器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	感覚器系
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	総合問題演習
学習目標・ポイント		知識の確認と問題演習
使用する材料		教科書、プリント
備考		

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(各論)
担 当 教 員	井田 直子
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	臨床的に重要な疾患の概要を理解する。その病理、症状、診断方法、治療法がわかる。鍼灸・あんま・柔整・看護師などの国家試験過去問題を重点的に学習し、解くことができる。
到 達 目 標	臨床的に重要な疾患の概要を理解する。その病理、症状、診断方法、治療法がわかる。鍼灸・あんま・柔整・看護師などの国家試験過去問題を重点的に学習し、解くことができる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>1、担当科目における教育上の業績 平成26(2014)年度～令和3(2021)年度 平成医療学園専門学校にて 臨床医学各論(内科)講義担当</p>

1 項	目	消化器疾患1
学習目標・ポイント		食道・胃・腸疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
2 項	目	消化器疾患2
学習目標・ポイント		食道・胃・腸疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
3 項	目	肝臓疾患
学習目標・ポイント		ウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓がんの概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
4 項	目	胆道・膵臓疾患
学習目標・ポイント		胆石、胆のう炎、胆管がん、膵炎、膵臓がんの概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
5 項	目	呼吸器疾患1
学習目標・ポイント		肺炎、肺結核、喘息、COPDの概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
6 項	目	呼吸器疾患2
学習目標・ポイント		間質性肺炎、肺がん、肺梗塞の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
7 項	目	腎・泌尿器疾患1
学習目標・ポイント		急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ、腎不全の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
8 項	目	腎・泌尿器疾患2
学習目標・ポイント		尿路障害、膀胱がん、腎臓がん、泌尿器感染症の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
9 項	目	感染症1
学習目標・ポイント		ウイルス性感染症の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
10 項	目	感染症2
学習目標・ポイント		細菌性感染症、STDの概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
11 項	目	膠原病・自己免疫疾患1
学習目標・ポイント		膠原病全般の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
12 項	目	膠原病・自己免疫疾患2
学習目標・ポイント		膠原病全般の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
13 項	目	神経疾患1
学習目標・ポイント		脳血管障害・脳腫瘍・脊髄腫瘍の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
14 項	目	神経疾患2
学習目標・ポイント		認知症、大脳基底核変性症の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		
15 項	目	神経疾患3
学習目標・ポイント		神経変性疾患(ALS・脱髄疾患)、筋疾患の概要と理解
使用する材料		教科書、プリント
備考		

平成医療学園専門学校 令和4年度シラバス

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	国対(総論)
担 当 教 員	西浦 絵美
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要・目 的	国家試験に向けての臨床医学総論の知識を深め、重要なポイントを復習する。
到 達 目 標	臨床医学総論における各症状の理解と検査法を解説することができる。学生に対して国家試験の対策とサポートをすることができる。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>授業内で小テスト3回(60%)、授業内試験40%の合わせて100%で評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務</p> <p>2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務</p> <p>2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う。</p>

1 項 目	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
2 項 目	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察 第4章 全身の診察
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
3 項 目	第5章 局所の診察
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
4 項 目	小テスト①
学習目標・ポイント	
使用する材料	配布プリント
備考	
5 項 目	第6章 神経系の診察
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
6 項 目	第6章 神経系の診察 第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
7 項 目	第7章 運動機能検査
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
8 項 目	小テスト②
学習目標・ポイント	
使用する材料	配布プリント
備考	
9 項 目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
10 項 目	第9章 臨床検査法
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
11 項 目	第10章 主な症状の診察法
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
12 項 目	第10章 主な症状の診察法
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
13 項 目	小テスト③
学習目標・ポイント	
使用する材料	配布プリント
備考	
14 項 目	第11章 治療学 第12章 臨床心理
学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
使用する材料	配布プリント
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	過去問演習
担 当 教 員	上野 暁生・迫 宏典 他
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	国家試験の主要科目の過去問、本校独自作成問題など、様々な問題の演習を行う。
到 達 目 標	各科目毎、8割以上の正答率をとれるようにする。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>授業内で小テスト3回(60%)、授業内試験40%の合わせて100%で評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>上野 暁生 平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職</p> <p>入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習</p> <p>迫 宏典 [職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、応用実技Ⅲなど)</p> <p>[学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。-無刺激、偽円皮鍼刺激との比較-」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 - 」</p> <p>[研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年)</p> <p>[業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰</p>

1	項目	解剖学の問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
2	項目	解剖学の問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
3	項目	生理学の問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
4	項目	生理学の問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
5	項目	病理学の問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
6	項目	病理学の問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
7	項目	リハビリテーションの問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
8	項目	リハビリテーションの問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
9	項目	東洋医学概論の問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
10	項目	東洋医学概論の問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
11	項目	症例問題の演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
12	項目	症例問題の解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
13	項目	はりきゅう理論の問題演習
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
14	項目	はりきゅう理論の問題解説
	学習目標・ポイント	国家試験出題範囲の確認と解説
	使用する材料	配布プリント
	備考	
15	項目	評価
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	実力試験
担 当 教 員	増崎 太希／濱田 さとみ
科 目 名 (中 項 目)	統合教育科目Ⅳ
単 位 数 (時 間 数)	5(150)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	問題演習を中心に行う。また、答案用紙を提出後に各自で問題の解説を行う。
到 達 目 標	過去問を中心に問題演習と解説を行い。最低限、過去問では8割以上取れるように習熟度を高める。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	<p>増崎 太希 2016年6月11日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施) 2017年6月11日(全日本鍼灸学会にて口演発表を実施) 2017年10月14日(日本線維筋痛症学会 学術集会にてポスター発表を実施) 2018年2月17日(日本慢性疼痛学会にて口演発表を実施) 2018年5月20日(阪大解剖見学実習の引率) 2018年6月2日(全日本鍼灸学会にてポスター発表を実施)</p> <p>2016年4月から2018年3月まで明治国際医療大学 大学院 臨床鍼灸学専攻に在学し、 在学中は週に4日、治療院での臨床を行っていた。 2018年4月から現在は平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院にて臨床を行っている。</p> <p>濱田 さとみ 【教育実績】 2011年9月～2012年2月 株式会社英伸塾にて講師として在籍 2012年4月～2016年3月まで 河原医療福祉専門学校鍼灸師科教員として在籍 2016年4月～2021年3月まで 国際東洋医療学院鍼灸学科教員として在籍</p> <p>【実務実績】 2015年 全日本鍼灸学会にてポスター発表 2020年 ラウンドフラット社よりはり師きゅう師国家試験対策参考書 共著出版 各専門学校在籍中は週1～2日付属治療院にて臨床を行う。</p>

